

養生関連 仮設資材 総合カタログ

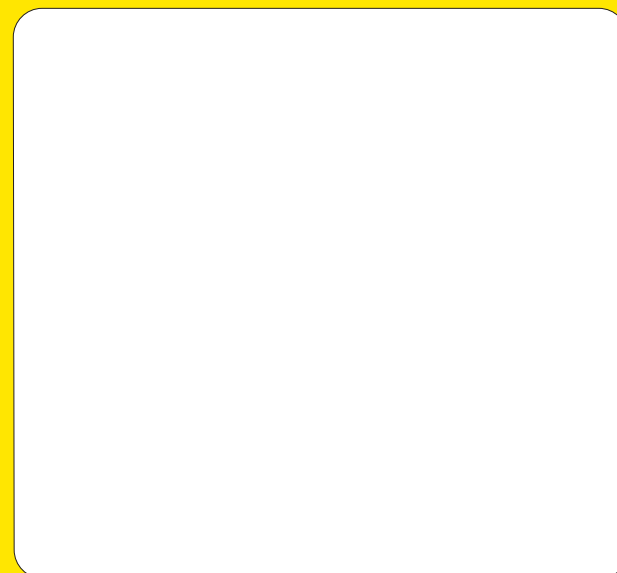


■ レンタル・販売



本 社	〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F 東日本第1営業部 TEL.03-6369-2221 FAX.03-6369-2220 東日本第2営業部 TEL.03-6369-2222 FAX.03-6369-2230 ラップホン事業部 TEL.03-6369-2223 FAX.03-6369-2228
大 阪 支 店	〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目5-16 本町スクエアビルII 営 業 部 TEL.06-6260-1122 FAX.06-6260-1123
東 北 支 店	〒989-1503 宮城県柴田郡川崎町川内北川原山228-5 TEL.0224-85-2331 FAX.0224-84-2333
名古屋支店	〒496-0026 愛知県津島市唐臼町二ツ池60番地 TEL.0567-33-0077 FAX.0567-33-0078
広 島 支 店	〒731-0223 広島県広島市安佐北区可部南5丁目6番1号 TEL.082-819-1877 FAX.082-819-1878
四 国 支 店	〒761-8031 香川県高松市郷東町577番地5 TEL.087-832-8181 FAX.087-832-8180
九 州 支 店	〒811-2104 福岡県糟屋郡宇美町井野316番地585 TEL.092-957-6812 FAX.092-957-6813
札幌営業所	〒001-0915 札幌市北区新琴似町574-2 TEL.011-769-7631 FAX.011-769-7630
静岡営業所	〒421-0303 静岡県榛原郡吉田町片岡8番2 TEL.0548-32-6661 FAX.0548-32-3456

■ 取扱い店



◆ カタログ掲載商品について
このカタログの掲載内容は、2024年1月1日現在のものです。製品改良のため、仕様及び
外観の一部を予告なく変更する場合があります。

◆ 地域により取り扱いのない商品や色、サイズ、仕様が異なる場合がありますので、詳細は各担当にお問い合わせ下さい。◆





世の中になかったものを創造し、
社会をより安全に、より快適にしていけることが
私たちの会社の使命です。
夢を描き、夢を抱き、夢を実現する！
今までも、これからも。

目次

工事現場仮設設置イメージ INDEX

親網関連

- P01・・・親網・親網緊張器
- P02・・・親網斜め支柱 SK-920 直交・平行兼用(鉄骨用)・安全にご利用いただくために
- P03・・・親網斜め支柱 ディンプルポスト 平行専用
- P04・・・安全ブロック吊下げ金具・装着方法・寸法図
- P05・・・小梁用キャッチプレート(100巾用・125巾用)・寸法図
- P06・・・先行親網支柱・キャッチベルト
- P07・・・折板屋根用親網支柱・設置手順・寸法図
- P08・・・折板屋根用親網支柱 設置条件
- P09・・・鉄筋フック(32型・41型)・規格・使用目的・取付け方法
- P10・・・マルチ H 鋼クランプ・寸法図・規格・取付け方・設置例

ネット関連

- P11・・・防災ラッセルネット・シングルネット・ジョイントロープ・用いてる用語の意味
- P12・・・垂直養生ネット(グリーン・ブルー・グレー)・使用の手引き・シートロープ
- P13・・・被覆ワイヤー緊張器・取付け方法
- P14・・・ネットハンガー・ネットハンガー L・ネットブラケット・防災ラッセルネット小巾・使用の手引き

昇降関連

- P15・・・セフティブロック U 型・使用上の注意事項
- P16・・・ベルブロック 6m/10m(ベルト巻取り式墜落防止器具)
- P17・・・アルミ梯子 1 連・イーजीクライマー(はしご取付金具)
- P18・・・安全作業のために、必ず守っていただきたいこと(アルミ梯子 1 連)
- P19・・・安全作業のために、必ず守っていただきたいこと(イーजीクライマー)
- P20・・・アルミ梯子連結金具の取付け方
- P21・・・梯子用安全ブロック取付枠・部材構成・寸法図・取付けに必要な部品
- P22・・・取付枠の取付け方・鉄骨柱への取付け方
- P23・・・ブラウンジョイント(梯子連結金具)・取付け方法・スカイハンガー
- P24・・・RC 用階段金具・寸法図
- P25・・・デスリーナ(ストッパー付)
- P26・・・ステップスルー

シート関連

- P27・・・養生メッシュシート(防災メッシュシート 1 類)・幅広メッシュシート(1 類)・シートロープ・シートクランプ
- P28・・・次世代シートクランプ・設置手順
- P29・・・塗装シート(防災メッシュシート 2 類)・シートロープ・防音シート・ジョイントロープ・採光防音シート・ジョイントロープ
- P30・・・白メッシュシート 2 類・シートロープ・透過メッシュシート 2 類・シートロープ
- P31・・・認定防音シート縦横兼用・仕様図・ジョイントロープ・仮囲い上部防音シート設置のご提案
- P32・・・防音仮設資材・音響透過損失比較データ・音響試験実証テスト比較データ・建設機械騒音と環境騒音の比較
- P33・・・防災シート(2 類)・シートロープ・イメージシート・設置イメージ
- P34・・・ヒルラッピング(改修工事向け景観対策養生シート)・景観対策・おもてなし(サービス)・制作の流れ・実績

台車・パレット関連

- P35・・・吊りパレット キャスター付・製品図(L)・製品図(S)・製品図(コンボキシー)
- P36・・・平パレット用吊り枠・設置方法
- P37・・・アルロックキャリー・寸法図
- P38・・・自動ストッパー付きアルミ台車・寸法図

足場関連

- P39・・・アルミ合金製スロープ かるスロ・寸法図
- P40・・・段差解消スロープ 段乗・寸法図
- P41・・・バルコニーラダー・寸法図
- P42・・・クラレスドア W600・W900・扉の開閉方法・寸法図
- P43・・・タラップボード・寸法図
- P44・・・型枠伸縮ブラケット 丸型・設置例
- P45・・・マルチ GRID・寸法図・カラーバリエーション・コーナー部の作り方・比較(金網とマルチ GRID)
- P46・・・マルチ GRID 連結方法(結束バンド使用例)・足場設置方法(次世代シートクランプ使用例)

安全設備関連

- P47・・・ルーフキャッチャー・活用方法・寸法図・使用方向
- P48・・・ルーフキャッチャー 使用条件
- P49・・・パラベットポスト V3(+アタッチメント金具)・寸法図
- P50・・・トラック昇降階段トラッキング・寸法図

内部

- P51・・・ステップキューブ・凹凸連結装置・高低組み換え
- P52・・・ステップキューブ 連結システム
- P53・・・SG メッシュウォーク・スパイダー(W ローラー式)
- P54・・・風防ユニット・寸法図・資材返却時のお願い

工事現場仮設設置イメージINDEX

親網関連

ネット関連

昇降関連

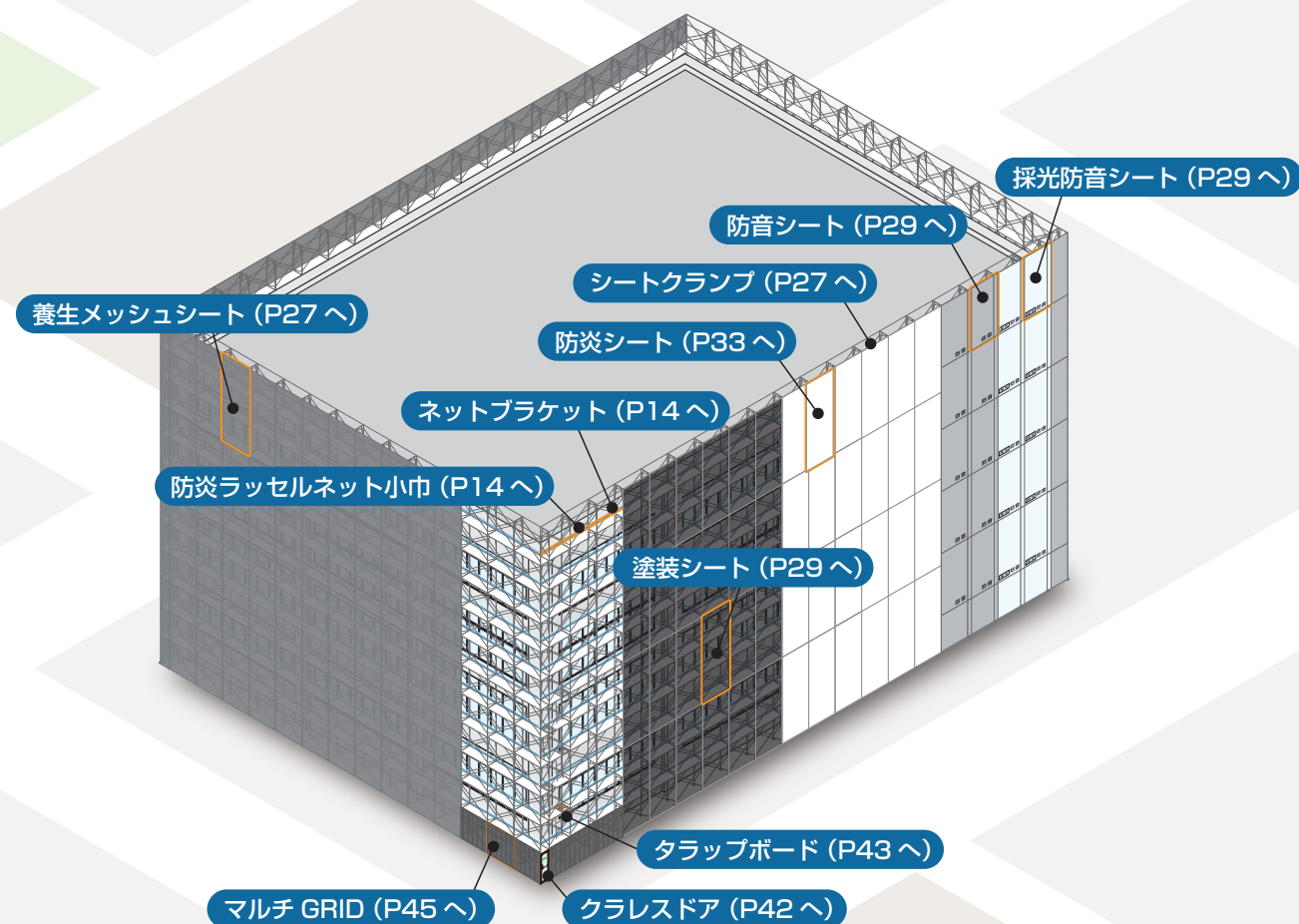
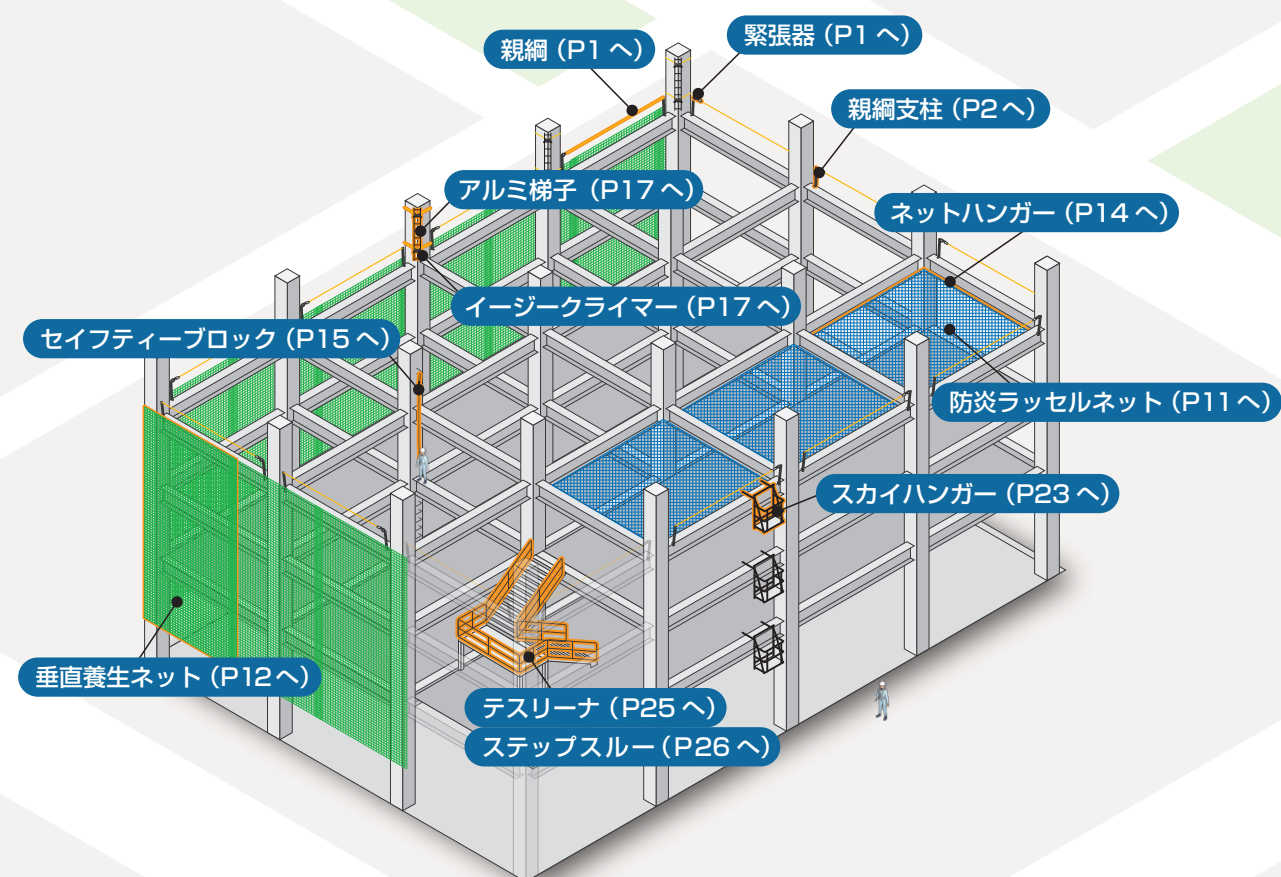
シート関連

台車・
パレット関連

足場関連

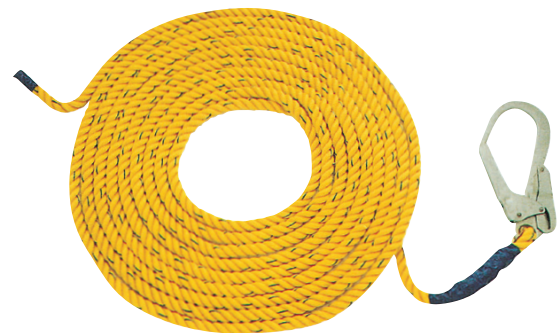
安全設備関連

内部



親綱 仮設工業会認定品

スレに強く、耐候性にきわめて優れ、いつまでも柔軟です。端部が色分けされており、長さが一目で分かります。



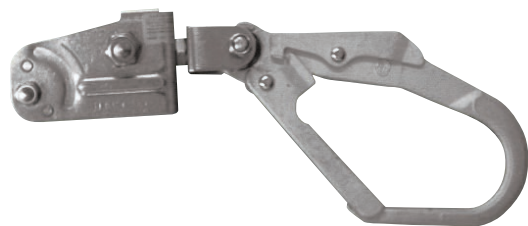
■ 規格物性

長さ(m)	太さ(mm)	サイズ記号の色	重量(kg)
6	16	黒	1.4
8		緑	1.6
10		青	1.9
12		白	2.2
15		黄	2.6
20		赤	3.3

材質	ポリエステル
----	--------

親綱緊張器 仮設工業会認定品

親綱を簡単に強く張るための緊張器です。ロープの長さの調節もワンタッチです。



■ 規格物性

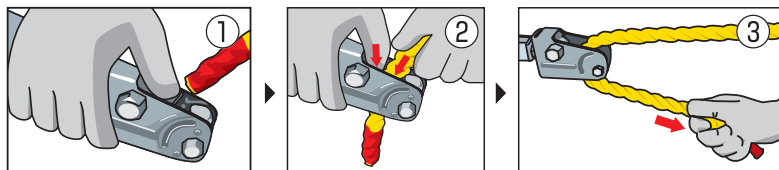
重量(kg)	1.10
--------	------

ご使用前には
記載のQRコード
を読み取り必ず
取扱説明書
をご確認ください。



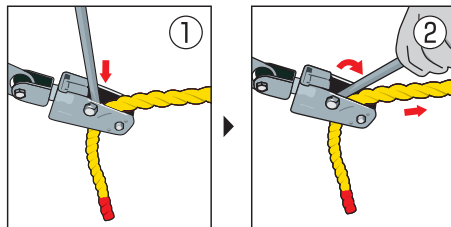
親綱の張設方法

親綱の端部を緊張器の矢印方向に入れて、親綱を引っ張ります。

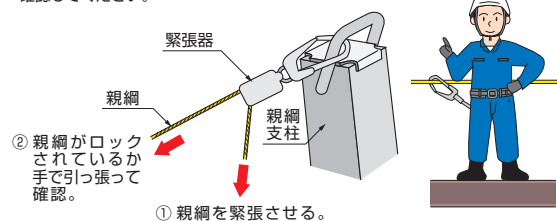


親綱の張解除方法

ラチェットの先端部分を歯形の凹部に差し込み、下に押します。



■ 親綱とセットした場合、必ず使用前に安全な場所で緊張器と親綱のロック状態を確認してください。

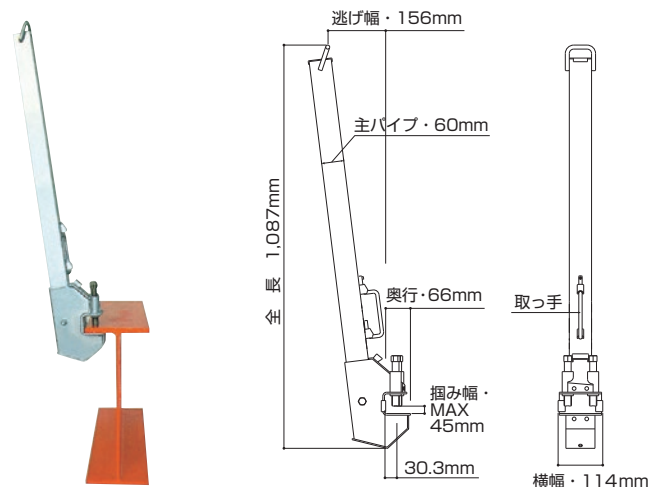


【使用上の注意】

- 1) 墜落制止用具の安全な使用に関するガイドラインに従って使用してください。(厚生労働省2018/06/22公表)
- 2) 必ず、仮設工業会の認定基準に準じた16ミリ合成繊維三打ロープを使用してください。
- 3) 必ず使用前に安全な場所で緊張器と親綱のロック状態を確認してください。
- 4) 親綱は目で見てたわんでないか、わずかにたわむ程度に、人力で0.3kN (約30kgf) 程度で張ってください。
- 5) 親綱を張る前に、作業者は安全確保をしてから親綱を張ってください。
- 6) 安全帯は、安全性の確認されたものを用いて、安全帯のランヤードの長さを1.7m以内に使用してください。

親綱斜め支柱 (仮設工業会・新基準適合品) SK-920 直交・平行兼用 (鉄骨用)

仮設工業会 落下阻止性能100kg対応 2019年使用基準適合品



■ 規格物性

寸法	1087.4mm(全長) 114mm(横幅) 60mm×60mm(支柱)
重量	8.7kg
使用方向	直交・平行兼用型
材質	スチール製角材(本体) 溶融亜鉛メッキ(表面処理)
逃げ幅	156mm
握み部有効寸法	フランジ厚 最大45mm フランジ奥行 67mm以上 ウェブ高 93mm以上

ご使用前には
記載のQRコード
を読み取り必ず
取扱説明書
をご確認ください。



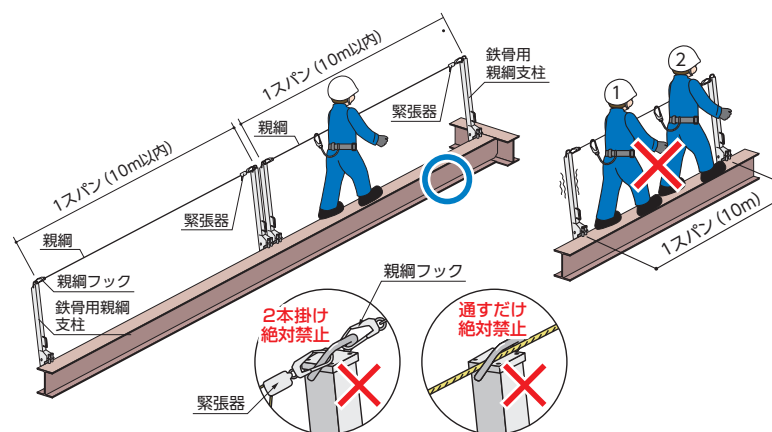
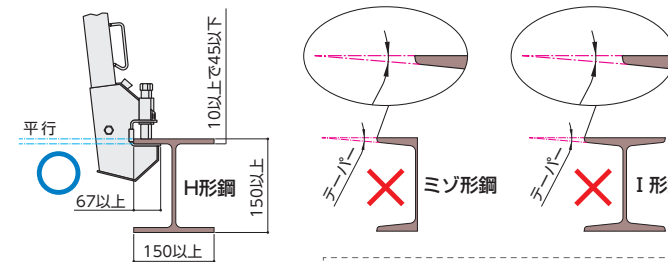
親綱斜め支柱 安全にご利用いただくために

■ 取付可能なもの

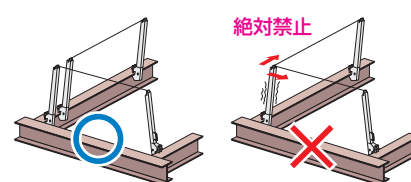
指定用途以外の使用禁止・許された方法以外の使用禁止。
親綱支柱は、墜落災害防止のために、墜落制止用具を
取付ける親綱を張る用途で使用します。
この用途以外での使用は、危険ですので、絶対にしないで
ください。
テーパー断面の鋼材には、取付けできません。

【使用上の注意】

- ① ボルトはラチェット等で均等に6kN・cm以上、9kN・cm以下で締め込んでください。
- ② H鋼のフランジ部分は、確実に支柱ボックスの奥まで差し込んでください。
- ③ 取付ボルトで、直接H形鋼梁を押さえてください。取付ボルトとH形鋼梁の間に物をはさまないでください。
- ④ 親綱1本に対して親綱支柱を2本使用してください。
- ⑤ 鉄骨用親綱支柱は10m以内で設置してください。垂直距離Hが6.75m以上確保してください。
- ⑥ 親綱1スパンに立ち入りするのは、1人までにしてください。



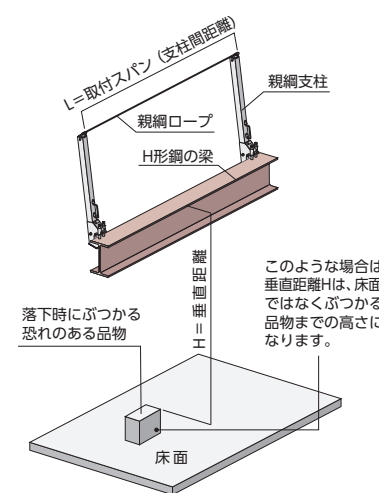
- ⑦ コーナー部分などで2方向に親綱を張らないでください。



- ⑧ 使用する親綱は、仮設工業会認定品と同等の性能をもつ合成繊維ロープを使用してください。(ワイヤーロープ不可)
- ⑨ 親綱が水平になるように使用してください。親綱を傾けて使用することはできません。
- ⑩ 親綱・親綱支柱は、墜落防止効果を高めるため、水平ネットと併せて使用してください。

■ 取付スパン・設置高さ

取付スパンは、どのような場合でも10m以下にしてください。
取付スパンは、 $L = \frac{40}{11}(H-4)$ [m] の値以下にしてください。(計算単位はm)

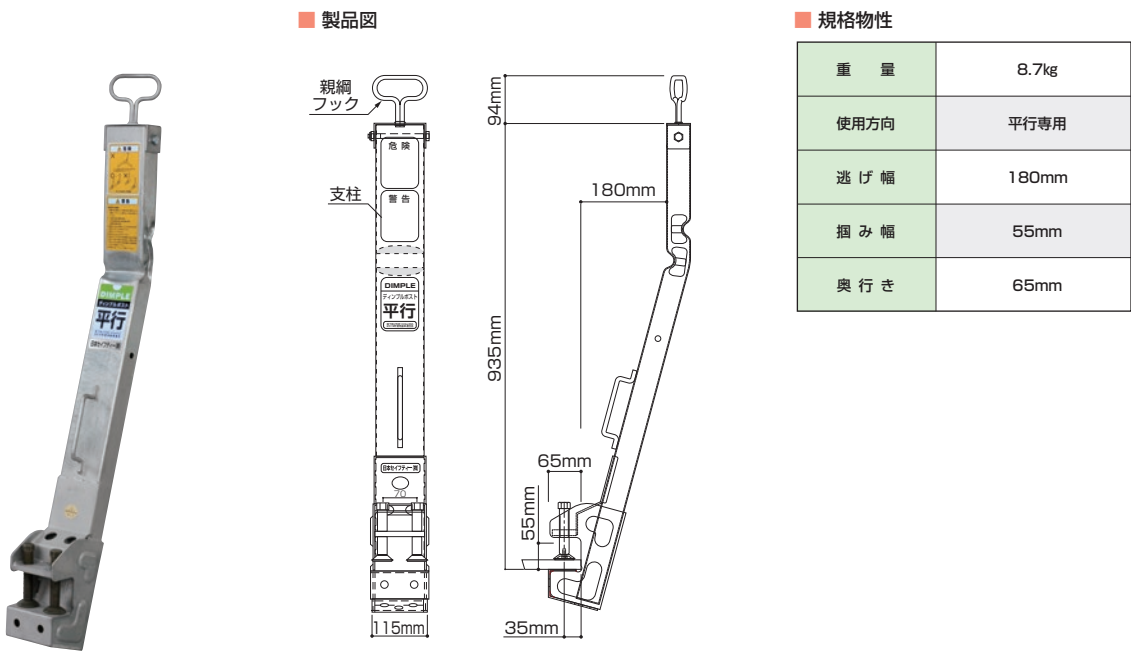


H (垂直距離)	L (取付スパン)
4.83m未満	使用不可
4.83m	3m以下
5.1m	4m以下
5.38m	5m以下
5.65m	6m以下
5.93m	7m以下
6.2m	8m以下
6.48m	9m以下
6.75m以上	10m以下

※垂直距離が算出した値を確保できない場合「墜落制止用具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 2018/06/22 公表)に記載された「作業場所の構造上、低い位置に親綱を設置する場合には、短いランヤード又はロック機能付き巻取り式ランヤードを用いる等、落下距離を小さくする措置を講じること。」に準じること。

親綱斜め支柱 ディンプルポスト 平行専用

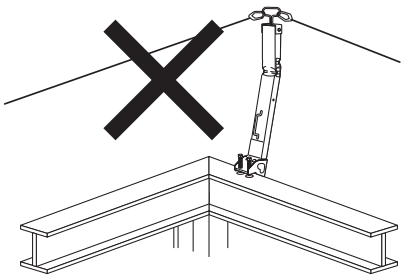
仮設工業会 落下阻止性能100kg対応 2019年使用基準適合品



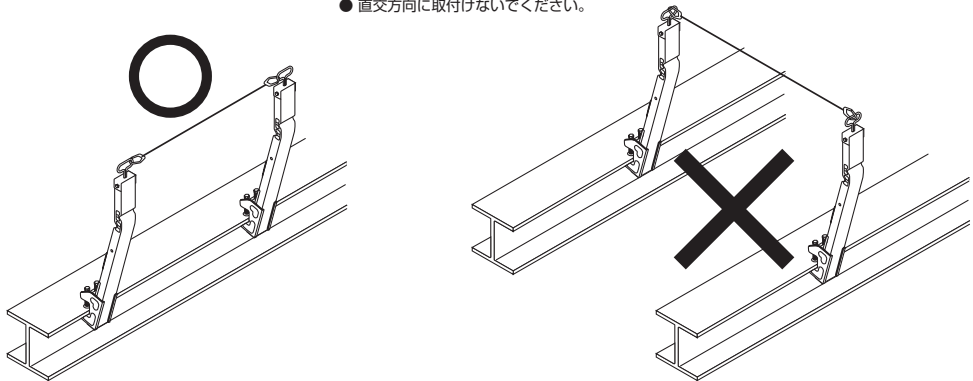
【使用上の注意】

- 設置取付け前の確認。以下の事項を点検し異常のないことを確認してください。
もし異常があった場合は使用しないでください。
① 各部材の変形、磨耗等の有無
② 取付け金具等取付け部の作動の異常の有無
③ 緊張器の機能の異常の有無
- 隙間がなくなるまで鉄骨フランジに支柱取付け部を差込み、固定ボルトを
しっかり締付けてください。
[締付けトルク：6.0kN・cm(612kgf・cm)]
- 支柱のスパンは10m以下にしてください。
- 支柱のスパンが10mで、支柱用親綱に認定品の合成繊維ロープを用いた場合、
支柱を設置した作業床と衝突のおそれがある床面又は、機器設備等との
垂直距離を6.75m以上確保してください。
- 取付けスパンLは、 $L = \frac{40}{11} (H-4) [m]$ の値以下にしてください。(計算単位はm)
- 必ず1スパン1人で使用してください。

- コーナーに使用する支柱には平行方向と直交方向の
2本の親綱を同時に取付けないでください。

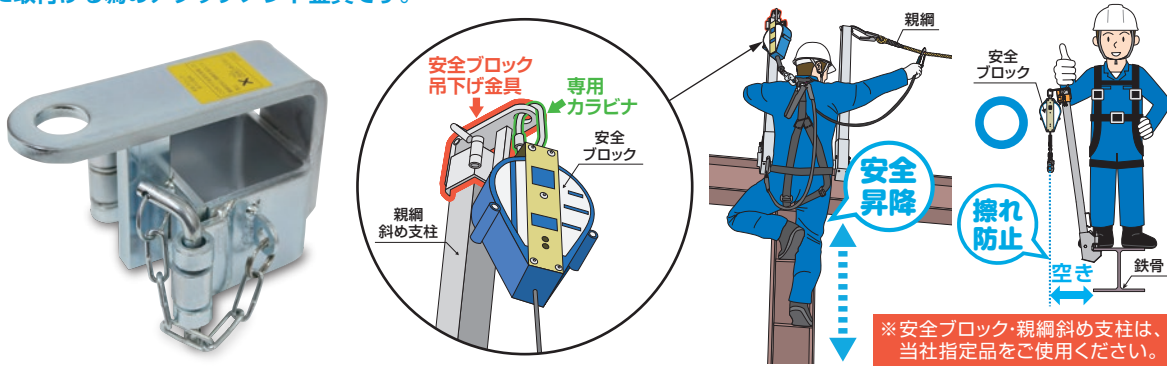


- 直交方向に取付けないでください。



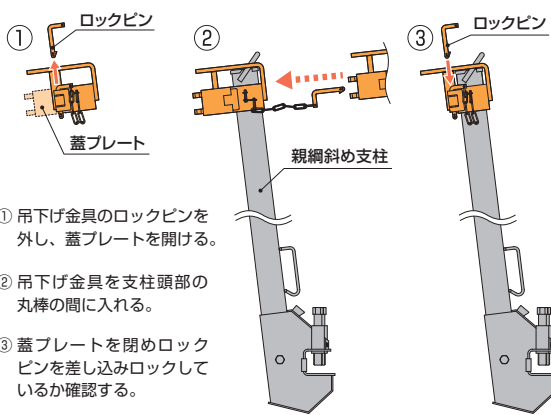
安全ブロック吊下げ金具

鉄骨建て方時、橋梁工事などで柱の昇降時に使用する落下防止器具（安全ブロック）を親綱斜め支柱（当社指定品）に取付ける為のアタッチメント金具です。

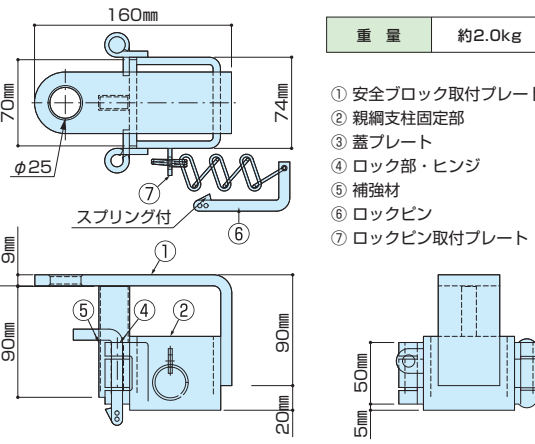


※安全ブロック・親綱斜め支柱は、
当社指定品をご使用ください。

装着方法



寸法図



【使用上の危険・注意・重要】

危険

- 組合わせる安全ブロックはセーフティーブロックU型を使用してください。その他の製品は安全確認
が取れていません。
- 組合わせる親綱斜め支柱はSK-920を使用してください。
- 吊下げ金具を親綱斜め支柱に装着後、ロックピンで固定してピンが抜けないか確認してください。
- セーフティーブロックU型は吊下げ金具にカラビナを直接装着してください。ロープ等で垂れ下がった
状態ではセーフティーブロックU型が下に位置し作業者のフック掛け替え作業が困難になります。
- 作業床に移る際はセーフティーブロックU型のワイヤーが弛む前に墜落制止器具のフックを下から
安全確保可能なもの（親綱等）に固定し上がってください。ワイヤーが弛んだ状態では墜落した場合
垂下量も増え地上に激突する可能性があります。
- 親綱斜め支柱に墜落制止器具を固定して登らないでください。親綱等に固定してください。
- 吊下げ金具を装着した親綱斜め支柱に親綱を張らないでください。（親綱取付禁止）
- 親綱斜め支柱のボルト締付トルク6kN・cm（60N・m）以上で締めこんでください。
- 荷揚げ等に使用しないでください。支柱及び吊下げ金具が破壊する恐れがあります。
- その他セーフティーブロックU型・親綱斜め支柱（SK-920）の使用基準を必ず守ってください。

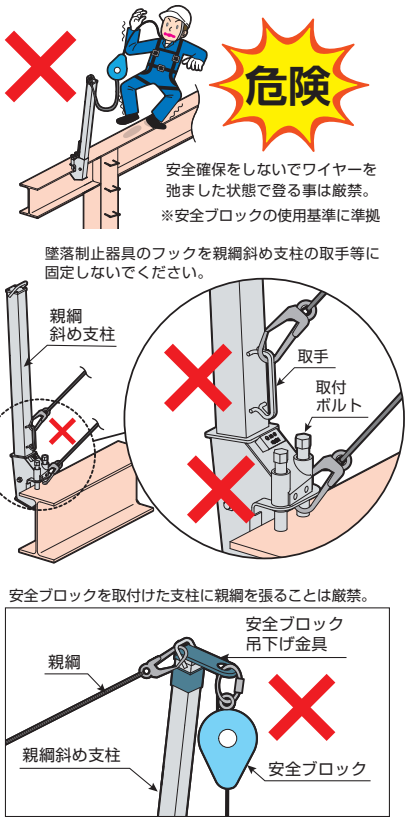
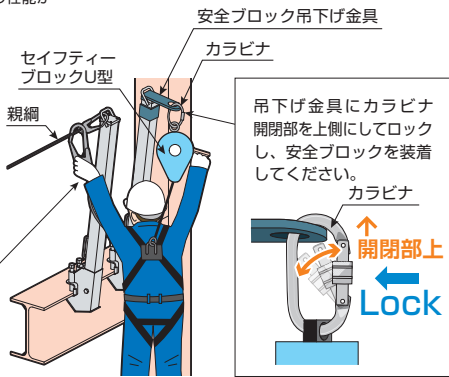
注意

- ・本体を改造しないでください。本来の性能が
損なわれる可能性があります。

重要

吊下げ金具に装着する安全ブロック
はセーフティーブロックU型で確認
しています。他の安全ブロックを
装着した場合の確認試験は行っ
ておりませんので、セーフティ
ブロックU型と組合わせてご使用
してください。

安全ブロックのワイヤーロープ
が張った状態でハーネスのフック
を他の支柱に張っている親綱に
掛けて登ってください。



小梁用キャッチプレート（100巾用・125巾用）平行専用（鉄骨用）

掴む奥行が足りず親網支柱を使用できなかった小梁（フランジ幅100/125）に取付けでき墜落防止の措置を行えます。

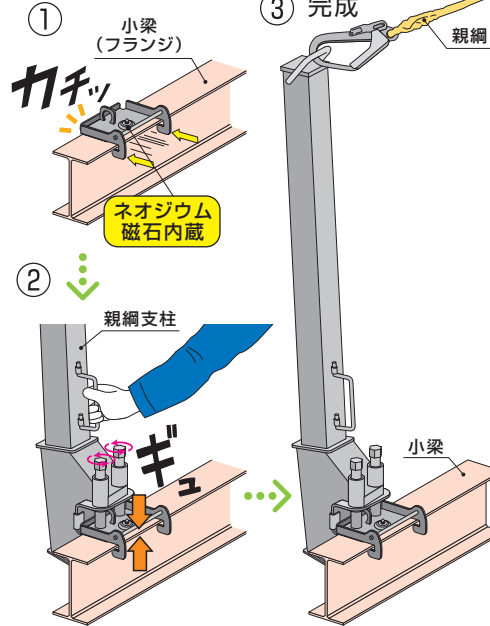
125巾用



規格

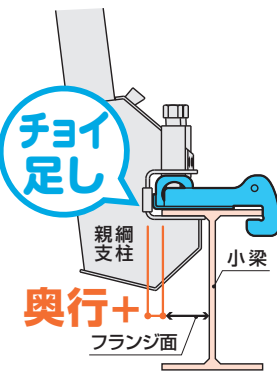
型 式	100巾用	125巾用
幅	142mm	
奥 行	145mm	156mm
高 さ	75mm	
重 さ	0.82kg	0.78kg

取付手順



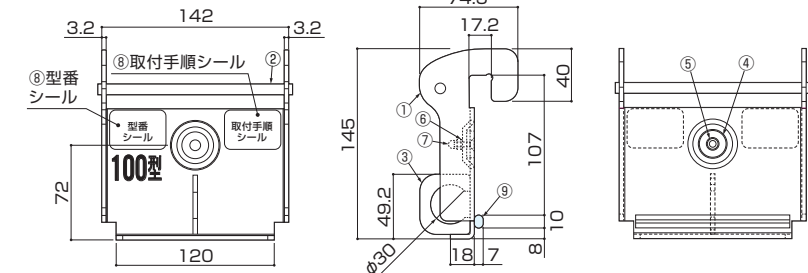
- ① 小梁フランジ部にキャッチプレートを設置します。
- ② 小梁とキャッチプレートと一緒に挟み親網支柱のボルトを締めて固定します。
- ③ 親網を設置して完成です。

※ 親網支柱は、当社取扱品親網斜め支柱（SK-920）とディンプルポスト専用になります。



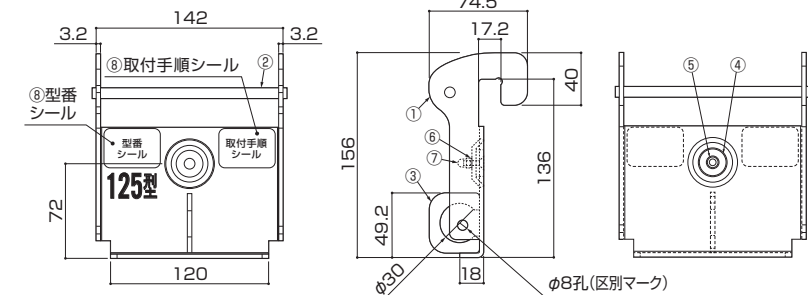
寸法図

100巾用



① 100巾用 本体	1
② 丸棒	1
③ バンカーリング	1
④ ネオジウム磁石	1
⑤ 十字穴付皿小ネジ M4×14	1
⑥ スプリングワッシャー M4	1
⑦ 袋ナットM4 1種	1
⑧ 型番シール・取付手順シール	各1
⑨ ライナー	1

125巾用



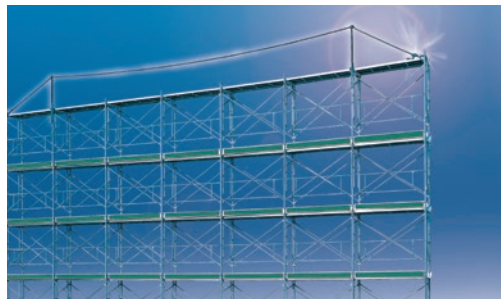
① 125巾用 本体	1
② 丸棒	1
③ バンカーリング	1
④ ネオジウム磁石	1
⑤ 十字穴付皿小ネジ M4×14	1
⑥ スプリングワッシャー M4	1
⑦ 袋ナットM4 1種	1
⑧ 型番シール・取付手順シール	各1

【使用上の注意】

- 1) 小梁用キャッチプレートは、小梁用H鋼に対して親網支柱を設置するための補助金具です。使用用途以外の使い方をしないでください。
- 2) 小梁用キャッチプレートに追加加工や改造をしないでください。
- 3) 小梁用キャッチプレートを使用する際は、必ず指定の親網支柱（SK920、ディンプルポスト）をご使用ください。またそれぞれの取扱説明書を必ずご確認ください、内容を遵守してください。
- 4) ご使用前に必ず点検を行い、異常のない事を確認してください。
- 5) 変形や異常などある場合は使用しないでください。
- 6) 一度でも大きな衝撃を受けた場合は使用しないでください。
- 7) 小梁用キャッチプレートをご使用の際は、それぞれのサイズに適合したものをご使用ください。※100巾の小梁に125型の小梁用キャッチプレートを使用するのは禁止です。
- 8) 小梁用キャッチプレートにフックなどを直接取り付けるとはしないでください。
- 9) 小梁用キャッチプレートを取り付ける際は、小梁フランジ部に付着した油、泥、コンクリートなどを除去してから使用してください。
- 10) 小梁H鋼は肉厚が薄いため落下事故が発生した場合、フランジやウェブが変形しますがH鋼の変形に関する責任は負いかねますので、予めご了承ください。※ウェブやフランジは変形しますが、金具が脱落することはありません。

先行親網支柱 (仮設工業会認定品)

仮設工業会 落下阻止性能100kg対応 2019年使用基準適合品

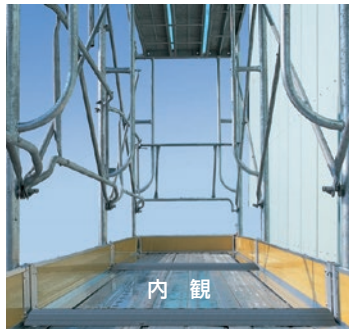
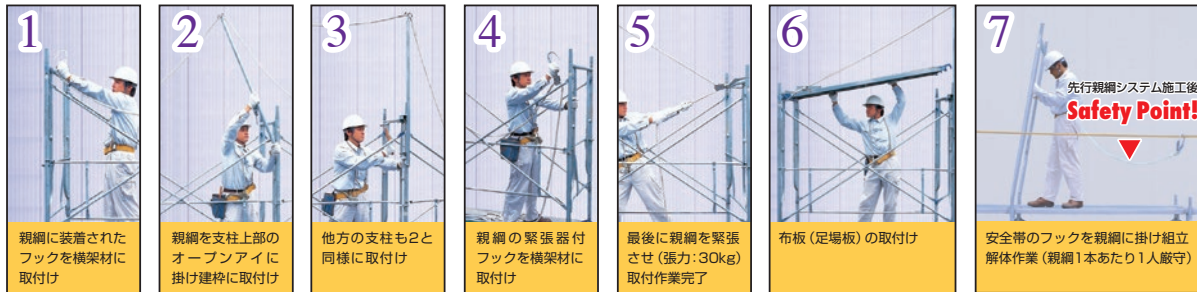


支柱に装備された2箇所のクサビ（安全ロック付）で簡単に取付け、取外しができ作業効率UPできます。控え網方式のため4.6kg以下と軽量（一般枠組足場用）



寸法・形状	ロープガイド φ42.7 1,392mm 930mm 355mm
重量N (kg)	45 (4.6)

組立て手順



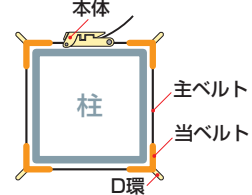
【使用上の注意】

- 1) 親網支柱が足場に固定されているか確認した上、ご使用ください。
- 2) 親網の先端は支柱頂部のロープガイドを通して、控え部の親網と水平面との角度が45度以下となる位置で、支柱取付床面と同じレベルの堅固な足場横架材に取付けてください。親網支柱に直接留めないでください。
- 3) 親網は、たるまない程度に緊張（20～30kg）させてください。
- 4) 親網（ポリエステル製）の外径は16mm以上のものをご使用ください。（仮設工業会認定品及び同等品）
- 5) 親網1本あたり、1人の使用としてください。
- 6) 安全帯は、ロープ長さが1.7 m以内のものを使用してください。
- 7) 使用中に落下衝撃を受けたもの、変形や著しい磨耗または損傷のあるもの、作動や機能に異常が認められるものは、使用しないでください。
- 8) 製品を改造したり、本来の目的以外に使用しないでください。
- 9) ご使用にあたっては、「取扱説明書」をご覧ください。

キャッチベルト

鉄骨柱に親網用ピースを溶接しなくても、『キャッチベルト』なら取付ピースの付け忘れの心配がなく、仕上げ時の切断およびその後の処理が不要です。丸柱・角柱兼用で、PC柱にも取付可能でマグネット付なのでズレにくいです。スライド式で長さ調整が簡単です

部材構成



品 名	柱 形 状	サ イ ズ
3.7M 主ベルト付き本体	角 柱	250mm
	丸 柱	~
	H 鋼	850mm

取付手順（鉄製角柱の場合）



取付例



【使用上の注意】

- 1) 溶接伝導熱がキャッチベルト装着面で、300℃以下の条件でご使用ください。
- 2) 溶接、溶断時にはキャッチベルト全体（本体・ベルト）を必ず保護してください。
- 3) 各コーナーには、必ず当ベルトを装着ください。
- 4) 親網の設置に際し、（社）仮設工業会の「親網支柱システムの使用基準」に従って安全にお取付けください。

折板屋根用親綱支柱

ショッピングセンター、倉庫など大空間建築物に多く採用されるハゼ締めタイプの金属製長尺折板屋根、その屋根の軒先、ケラバ、開口部へ親綱支柱を設置し、墜落・転落を防ぐことが出来ます。



安全帯取付け設備としての性能・強度を持ち、屋根での作業を安全に行えます。屋根面への負荷が少なく、インパクトレンチで簡単に固定出来ます。さらに支柱を単管パイプ・幅木に取付けることで防護工用支柱となります。

ご使用前には記載のQRコードを読み取り必ず取扱説明書をご確認ください。



設置手順（解体は逆の手順をお願いします。）



① 支柱ベースを仮置きしてください。その時にハゼ金具のナットをインパクトレンチで緩めておいてください。



② 設置箇所は、親綱システム用支柱の使用基準（次ページ表1及び図1）に従って計測し位置決めをしてください。



③ ハゼ金具の口を広げて、ハゼ部に咬ませるようにしてください。（ハゼ金具4ヶ所）



④ ハゼ金具のナットをインパクトレンチで締め込み固定してください。（ハゼ金具4ヶ所）



⑤ 支柱を支柱ベースの中央ソケット部に差し込んでください。



⑥ 支柱ベースソケット部と支柱の穴にトルグピンを貫通させて固定してください。



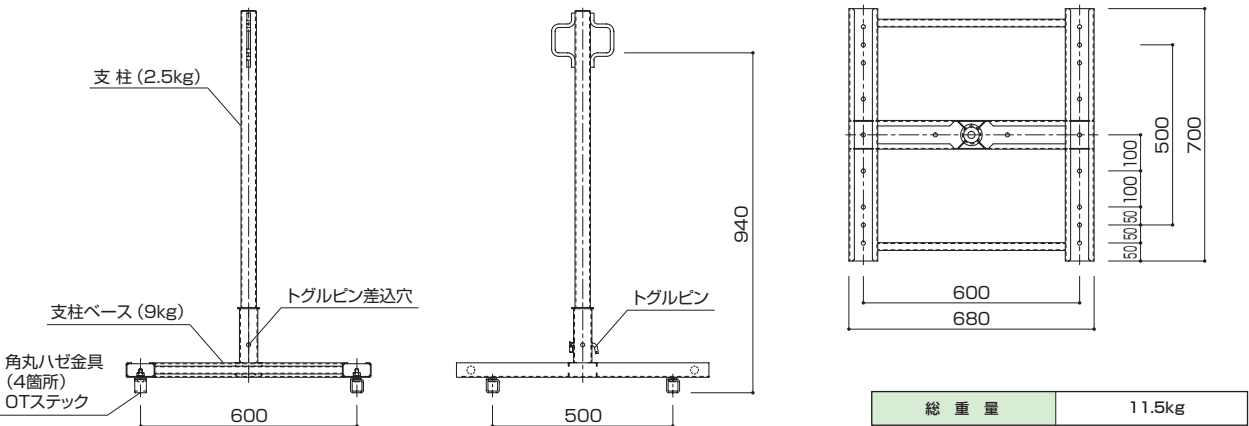
⑦ 親綱のフックを支柱の取付ベースに掛けてください。



⑧ 親綱を取付け、緊張器を用いて、概ね水平になるように緊張して完成です。

寸法図

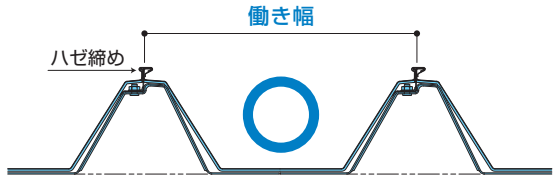
単位(mm)



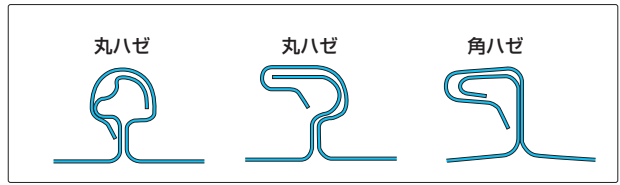
設置条件

折板本体の接合部分に「馳（ハゼ）」と呼ばれる加工を施したタイプです。角ハゼ・丸ハゼ共、設置可能です。

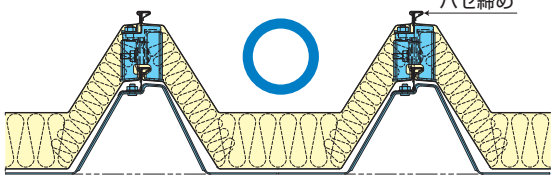
■ ハゼ締めタイプ（設置できる）



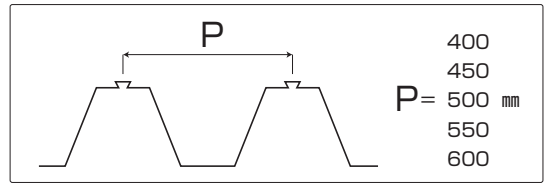
設置できるハゼ締めの種類



■ ハゼ締め2重置きタイプ（設置できる）



使用できるハゼ間ピッチ



1.馳（ハゼ）締めタイプ

- ・働き幅 400mm、450mm、500mm、550mm、600mm
- ・板厚 0.6mm～1.2mm

2.当製品を設置する金属折板屋根材の強度については、当社責任の範囲外となります。強度確認の上、ご使用ください。

※参考値一ハゼ金具1か所当たり引張許容荷重250kg

I. 親綱システムの使用基準

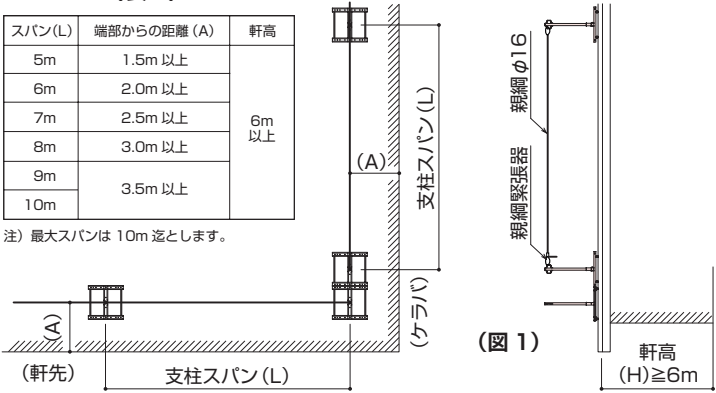
屋根材の先端部（切断箇所）が鋭利で万が一落下した場合、親綱が切れる危険性がある為、親綱が先端部に接触出来ない距離（A）を設定しています。

支柱の取付スパン（L）と軒先及びケラバの各々の端部から距離（A）を（表1）に示します。

（表1）

スパン(L)	端部からの距離 (A)	軒高
5m	1.5m 以上	6m 以上
6m	2.0m 以上	
7m	2.5m 以上	
8m	3.0m 以上	
9m	3.5m 以上	
10m	3.5m 以上	

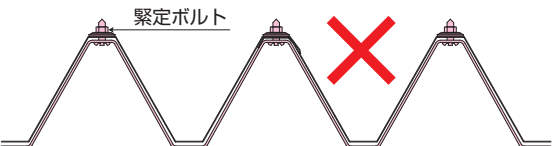
注）最大スパンは 10m 迄とします。



■ 嵌合（かんごう）タイプ（設置できない）



■ 重ねタイプ（設置できない）



【使用上の注意】

I. 親綱支柱の使用基準（安全帯取付設備として）

- 1) 親綱システムは、1スパン1人でご使用ください。
- 2) 墜落防止用器具のランヤードは織ロープ式とし、安全性の確認されたものを用いてランヤードの長さは1.7m以内のものをご使用ください。
- 3) ショックアブソーバーは、伸びの最大値1.2mのものをご使用ください。
- 4) 親綱（ポリエステル製）の外径は16mm以上のものをご使用ください。（仮設工業会認定品及び同等品）
- 5) 親綱に緊張を与えるために親綱緊張器をご使用ください。（仮設工業会認定品）
- 6) 親綱システムとして使用する場合、安全ネットの取付けは禁止します。
- 7) 支柱にランヤードのフックを掛けたり安全ブロックを取付けての使用はしないでください。
- 8) コーナーに使用する支柱には、平行、直交の2方向同時に親綱ロープを取付けしないでください。

II. 防護工（第2種）用支柱の使用基準

- 1) 手すり支柱の間隔（スパン）は2m以内とします。
- 2) 手すり（上さん）及び中さんは単管パイプ（φ48.6）を使用し兼用クランプにて固定してください。
- 3) 墜落防止用器具の取付整備としては使用しないでください。
- 4) 墜落防護工として使用する（支柱間隔2m以内）、安全ネットを取付ける事が出来ますが風速35m/s以上と予想される時は、安全ネットを取り外してください。

● 金属屋根の条件

- 1) キズ、へこみ及び赤さびによる腐食等、強度の劣化が見込まれる屋根材には、設置する事は出来ません。
- 2) 馳（ハゼ）締め加工が終了していない屋根材には使用出来ません。
- 3) 傾斜が10%より大きい屋根での使用は出来ません。
- 4) 設置できる金属屋根の種類は、馳（ハゼ）締めタイプの折板屋根です。
 - 馳（ハゼ）ピッチ：400mm、450mm、500mm、550mm、600mm
 - 板厚：0.6mm～1.2mm
- 5) 金属製折板屋根材の強度については、当社責任の範囲外となります。強度確認の上、ご使用ください。※参考値一馳（ハゼ）金具1か所当たり引張許容荷重：250kg

● 禁止事項

- 1) 墜落等により一度衝撃を受けた部材は再使用しないでください。

● 使用前点検事項

- 1) 馳（ハゼ）締め加工は完成しているか。
- 2) 支柱のスパン及び端部からの距離は、使用基準の（表1）を満たしているか。
- 3) 馳（ハゼ）金具のボルトナットにゆるみはないか。
- 4) 親綱ロープは緊張されているか。
- 5) 緊張器は緊張した後、ゆるまない機能を備えているか。

● 取扱い上の注意事項

- 1) ハゼ金具のボルトナットは、ゆるみの無いよう固定してください。ナットをねじ込む際は、手で仮締め後、ボルトを垂直に立てレンチ等でゆっくりと締めこんでください。また、使用後は、同様に支柱ベースに固定してください。
- 2) ハゼ金具の六角ナットのサイズはM10ですので、レンチのソケットは17をご使用ください。

（関連商品：ルーフキャッチャーがP47～48にございます。）

鉄筋フック（32型・41型）

柱・梁筋から親網ロープを取る為の墜落災害防止用金物

柱筋フープや梁筋スターラップの間からも取付けられます。
先端に皿バネ付きで鉄筋に対し安定した締付け固定ができ安心です。
しかも鉄筋フック本体はサビにくく、見た目にも良いです。
32型は、従来タイプの鞘管式（パイプ式）と比べ重量（630g）が軽く1人で持ち歩く事も可能です。

■ 32型（D22～32適応）



■ 41型（D35～41適応）



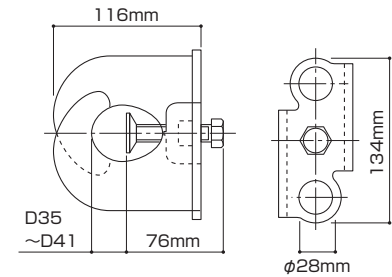
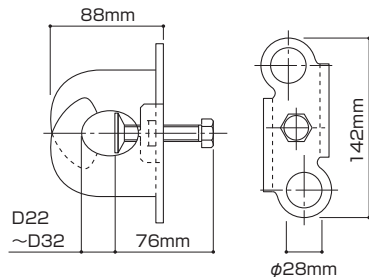
規格

■ 32型（D22～32適応）

適応鉄筋径	重量
D22 ～ D32	630g

■ 41型（D35～41適応）

適応鉄筋径	重量
D35 ～ D41	920g



使用目的

1. 柱筋フープ巻作業

柱筋（主筋）に取付けた鉄筋フックに直接安全帯を掛けフープ巻作業を行います。

2. 壁筋組作業

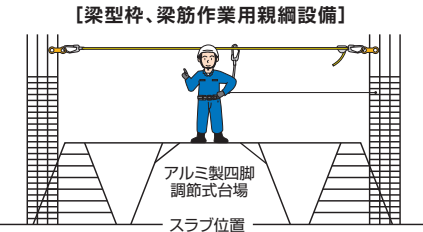
柱筋（主筋）に取付けた鉄筋フック間に親網を設置し安全帯を掛け壁筋組作業を行います。

3. 梁筋組作業

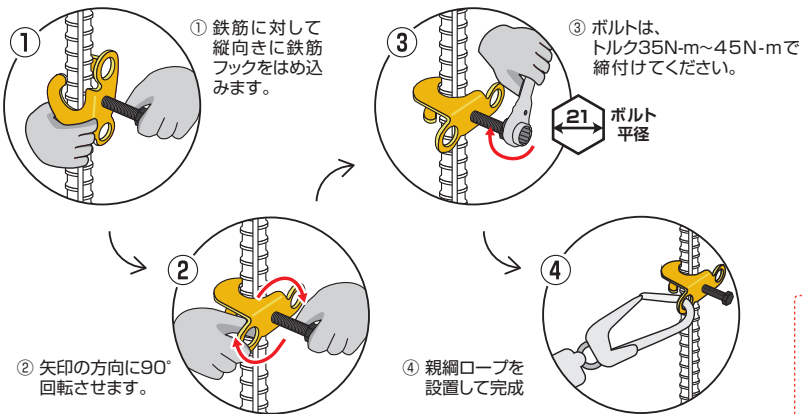
柱筋（主筋）に取付けた鉄筋フック間に親網を設置し安全帯を掛け梁筋組作業を行います。

4. 駆体端部・開口部墜落防止親網設備

柱筋（主筋）最上部に取付けた鉄筋フック間に親網を設置し危険・立入禁止等の標識を設置し駆体端部・開口部からの墜落防止親網設備とします。



取付け方法



【使用上の注意】

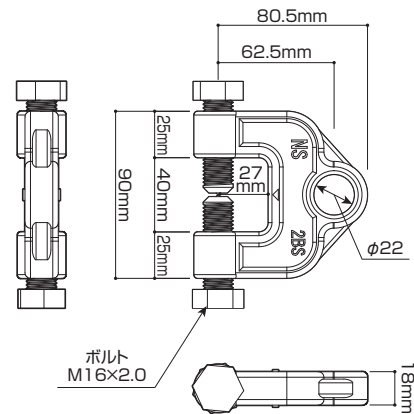
- 柱筋（主筋）や梁筋に鉄筋フックを取付ける時フープやスターラップをまだ取付けて無い場合は、親網設備を使用されてもあまり効果がありません。
- その他、鉄筋フックを取付ける相手に強度が無い場合は、使用しないでください。
- 鉄筋フックの使用目的以外の使用は避けてください。

マルチH鋼クランプ

H鋼に「被覆ワイヤ」「安全帯のフック」「安全ブロック」「親網」を取付けるためのクランプです。穴あけは、不要。垂直ネットを張るための被覆ワイヤ取付けクランプとしても使用できます。



寸法図



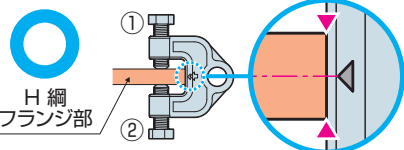
規格

掴み幅	ボルト対辺	ボルトの規定締付トルク	重量
8 ～ 35mm	21mm	80 ～ 90N・m	780g

（検証荷重100kg—般社団法人 仮設工業会にて試験済み）

取付け方

H鋼が奥まで入り、中心になるよう2本のボルトで締め付けてください。

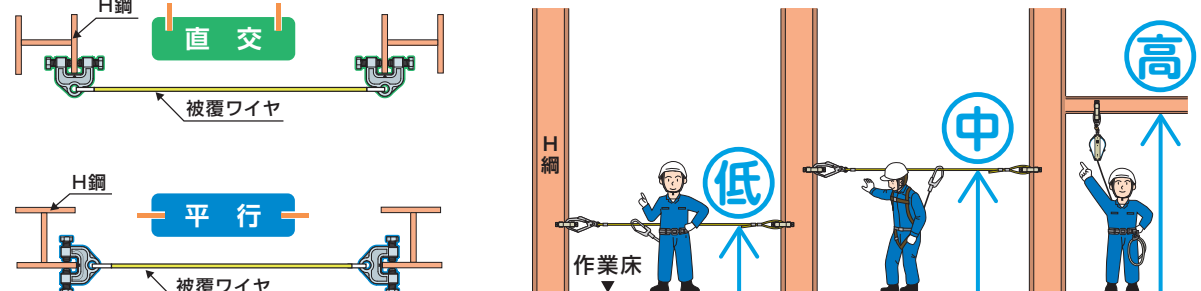


ご使用前には記載のQRコードを読み取り必ず取扱説明書をご確認ください。



〈ボルトは2本ともトルクレンチを使用し、規定締付トルク（80～90N・m）で締め付けてください。〉
〈総重量（体重+装備質量）100kg以下でご使用ください。〉

設置例



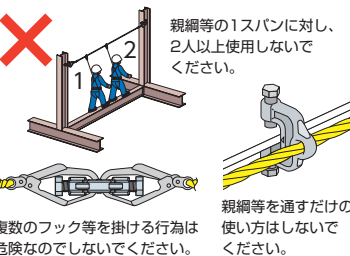
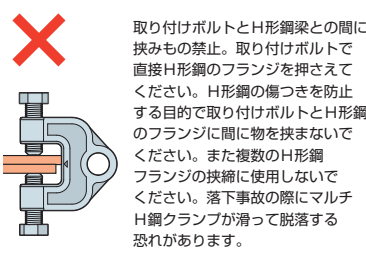
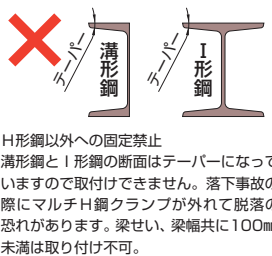
注意

【使用上の注意・禁止】

- 強い衝撃を与えないでください。破損やクランプが外れる原因となります。
- 一つのクランプに複数のフック等を掛けしないでください。クランプが外れる原因となります。
- クランプ及びボルトや取り付ける鉄骨フランジ部に付着した油、泥、コンクリート等は除去してから使用してください。クランプが外れる原因となります。
- 長期間設置する際は定期的な緩みがないか、ズレていないか点検を行ってください。緩み等があるとクランプが外れる原因となります。
- 総重量（体重+装備質量）100kg以下でご使用ください。



禁止



防災ラッセルネット

人体、資材の落下の危険性を回避する為の水平安全ネットです。ショックに強い高強糸を使用しています。



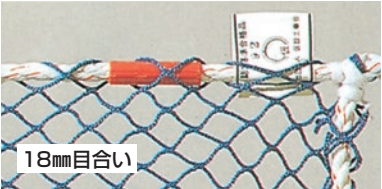
規格寸法

規格サイズ(m)	サイズプレート色	重量(kg)
0.5×6	青	2.8
1×6	赤	3.3
2×6	ピンク	5.0
3×6	緑	7.0
4×6	黒	8.6
4×7	ピンク	9.0
5×5	赤	8.8
6×6	黄	12.5
6×12	緑	25.0
7×7	青	18.3
8×8	緑	23.0
5×10	赤	17.7
7×10	ピンク	25.2
8×10	黒	26.1
10×10	黄	33.0

規格物性

項目	防災ラッセルネット
結節方法	ラッセル網
網地の素材	防災加工ポリエステル糸
網地の太さ	280T/46本
編糸(新品)強力	0.42kN以上
縁吊ロープの太さ	ポリエステル9φ
縁吊ロープの強力	14.7kN以上

※ご希望のサイズにジョイントも可能です。



【使用上の注意】 防災ラッセルネットは墜落防止効果を高めるため、親網・親網支柱と併せて使用してください。

シングルネット

● 編目が大きく降雪時に雪が溜まらず、寒冷地での作業現場に最適です。



規格寸法

規格サイズ(m)	サイズプレート色	重量(kg)
3×6	緑	6.3
5×5	赤	8.2
6×6	黄	11.4
5×10	赤	15.5

規格物性

項目	シングルネット ブルー
結節方法	ラッセル網
網地の素材	ポリエステル糸
網地の太さ	280T/270本
編糸(新品)強力	1.87kN以上
縁吊ロープの太さ	ポリエステル9φ
縁吊ロープの強力	14.7kN以上

ジョイントロープ

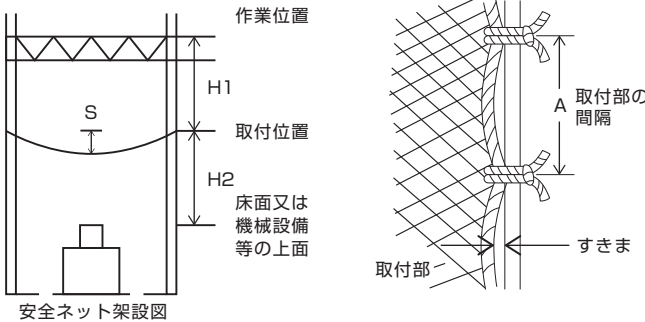


規格物性

材質	ポリエステル
寸法	600mm
数量	1束100本
色	白

用いている用語の意味

単体ネット：1枚の網地に仕立てられたネット
複合ネット：単体ネットをつなぎ合わせて形成されたネット
取付点：ネットを取付ける点
取付位置：取付点を連ねる面
ネットの垂れ：ネットを架設したさいの網地の最低部と取付位置との垂直距離
S (単位 m)
落下高さ：墜落のおそれのある作業床と取付位置との垂直距離
H1 (単位 m)
ネット部のあき：ネットの取付面とネット下部において衝突の恐れのある床面または機械設備等との垂直距離
H2 (単位 m)
取付間隔：ネット周辺の取付部の間かく
A (単位 m)
L：単体ネットにあってはその短辺の長さ、複合ネットにあってはそれを構成するネットの長さの最小のもの (単位 m)

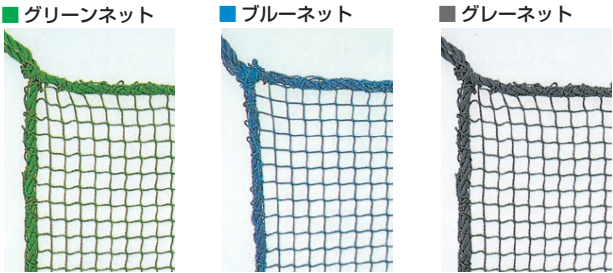
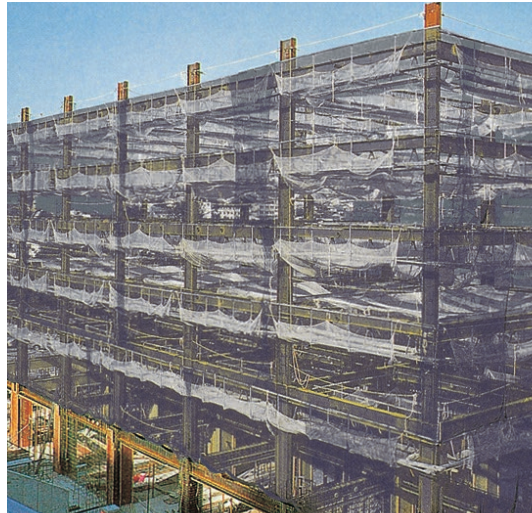


【使用上の注意】

- 1) ネット取付部の間隔は3m以内とネット周辺と取付場所とのすきまは15cm以内になるように取付けてください。
- 2) 安全ネットを複合し、複合ネットとするときはネット相互の平行する縁綱を30cm以下の間隔で合成繊維ロープ用結合してください。番線は使用しないでください。
- 3) 吊綱は必ず使用してください。
- 4) 安全ネットは溶接、溶断作業等の火花等により損傷しますのでネットに火花等がかからないようにしてください。
- 5) 人体の落下衝撃時にネットが下方に大きくたわむことを考慮して下部の空間には十分な余裕を取ってください
ネット下部の空き (H2：単位m)は、次の式より計算して得た値以上としてください。
 $L < A$ のとき $H2 = 0.85 (L + 3A) / 4$ $L \geq A$ のとき $H2 = 0.85L$

垂直養生ネット（グリーン・ブルー・グレー）

資材の飛来落下の危険性を回避する為の垂直養生ネットです。ショックに強い高強力糸を使用しています。



規格物性

項目	内容
結節方法	ラッセル網
網地素材	防災加工ポリエステル糸
網地太さ	280T/34本
網目	15mm
網糸(新品)強力	0.27kN以上
縁吊ロープ太さ	ポリエチレン8φ
縁吊ロープ強力	3kN以上

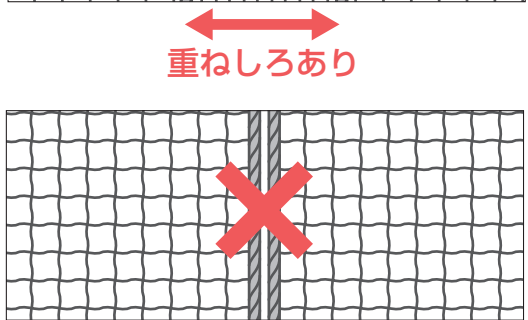
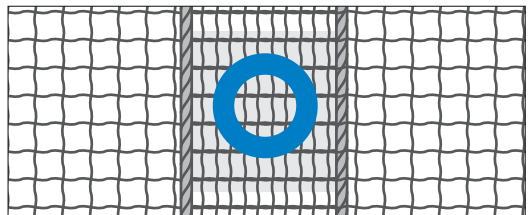
規格寸法

規格サイズ(m)	サイズプレート色	重量(kg)
1×10	青	3.2
4×12	ピンク	10.7
6×6	黄	8.2
6×10	赤	12.9
6×12	緑	15.4

※地域により取り扱いのサイズ、色、仕様が異なる場合がありますので詳細は、各担当へお問い合わせください。

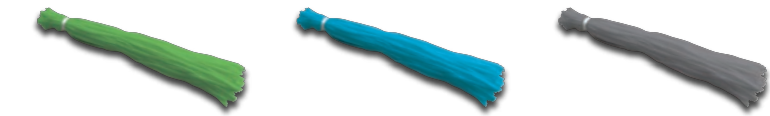
垂直養生ネット使用の手引き

設置の際は、ネット同士、左右の相互部分に隙間ができないよう、重ねしろをとってください。



注) 垂直養生ネットは、墜落防止用の安全ネットとして使用しないでください。

シートロープ



規格物性

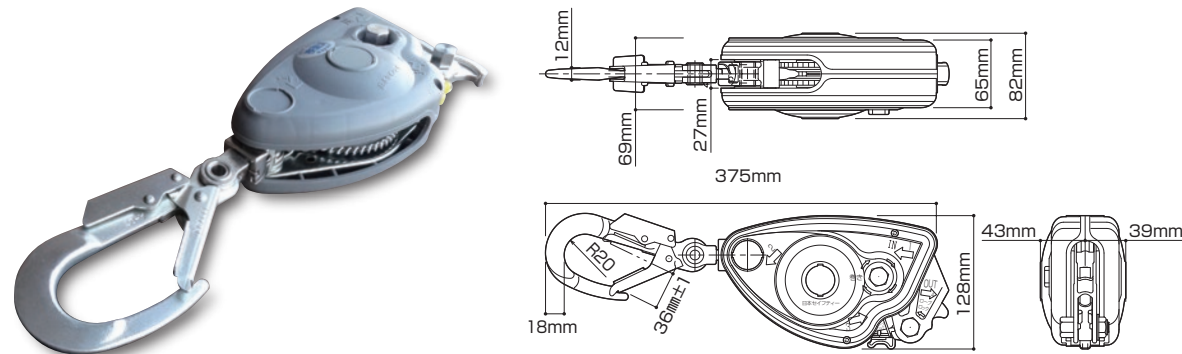
材質	ポリエチレン
寸法	600mm
数量	1束100本
色	グリーン・ブルー・グレー

【使用上の注意】

- 1) 緊結材は、引張強さが0.98kN以上の合成繊維ロープを使用してください。
- 2) 垂直ネットと垂直ネットの間は、隙間がないように適切な重なりをもって取付けてください。
- 3) 垂直ネットは水平に張って使用する墜落防止用の安全ネットとして使用しないでください。

被覆ワイヤー緊張器

簡単操作で被覆ワイヤーを緊張、固定し、緩まない機能も充実。また解体時には容易に被覆ワイヤーを解除できます。



■ 規格物性

寸 法	387mm(L) × 128mm(H) × 82mm(W)
本 体 重 量	2.52kg
※ 被覆ワイヤー	9φ × 11φ専用
最大 張 力	200kg(被覆ワイヤー長 10m時)
最大トルク	55N・m

■ 被覆ワイヤー

(緑テープ・長さ8m)

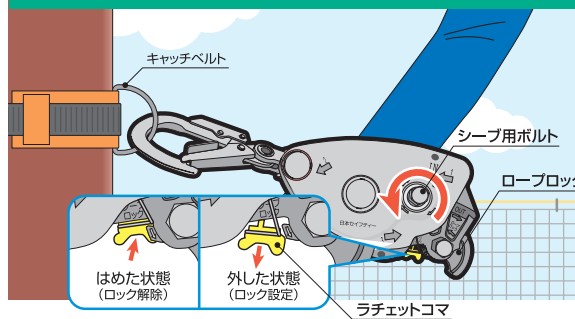
(オレンジテープ・長さ12m)



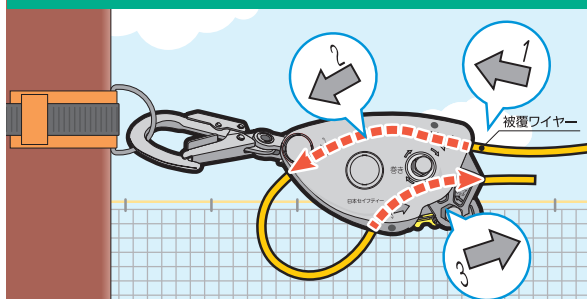
※被覆ワイヤーは、オプションになります。

取付け方法

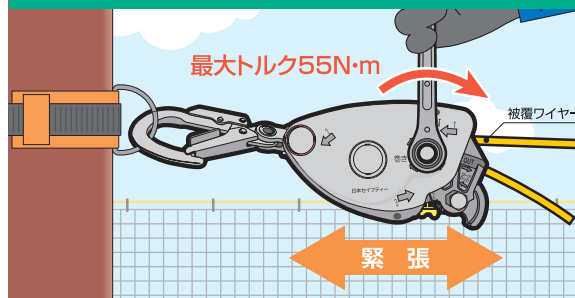
① ラチェットコマを外し、シープ用ボルトを止まるまで反時計回しする。



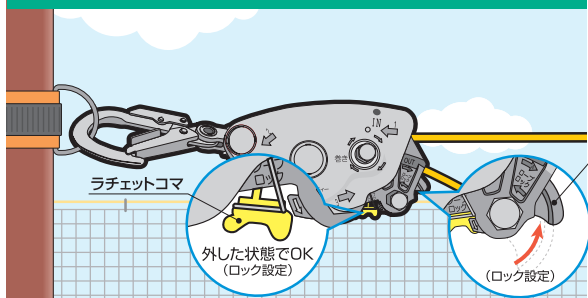
② 被覆ワイヤーを[←1][←2][3→]の方向に通す。



③ ラチェットにて増締めし、被覆ワイヤーを緊張させる。



④ ロープロックを確実にロックし取付完了。



【取外しの際は、ラチェットコマをはめて(ロック解除)、ロープロックのロックを解除して被覆ワイヤーを外してください。】

【使用上の注意】

- 被覆ワイヤー（φ9×φ11）の緊張以外の用途で使用しないでください。
- 両端が固定支持されていない状態での使用は絶対にしないでください。
- 荷吊り・倒れ・滑り防止等での使用は絶対にしないでください。
- ラチェットレンチトルク55N・m以上を掛けしないでください。
- 落としたり、放り投げたりしないでください。
- 被覆ワイヤーの長さは、14m以下で使用してください。

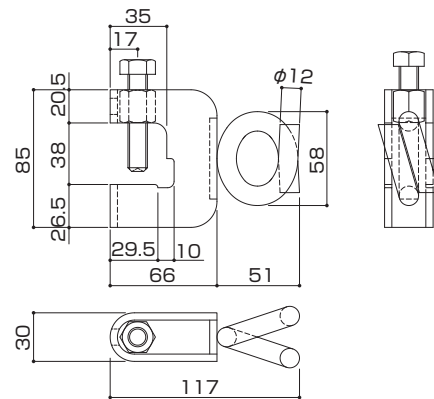
ネットハンガー

ワンタッチでネットを張り、強靱な熱間圧延材を使った安全ネットの吊金具です。



■ 規格物性

つかみ幅	6～38mm
重 量	0.5kg



■ ネット伸縮ボール

安全にネットの取付け取外し作業が行えます。(オプション品) →

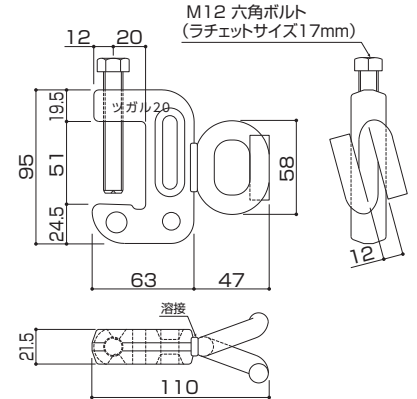
ネットハンガーL

安全ネットの取付けをワンタッチでできる金具。



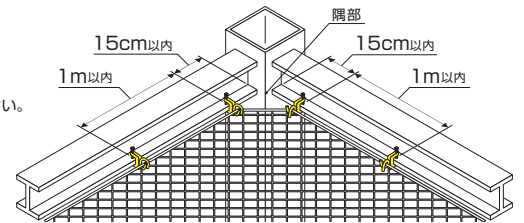
■ 規格物性

つかみ幅	6～50mm
重 量	0.77kg



【使用上の注意】

- 滑り又は脱着等の恐れがある取付け方はしないでください。
- ボルトの締付けは、3.43kN・cm以上4.41kN・cm以下で締付けてください。
- 板厚6mm以上の構造物に取付けてください。
- 取付け間隔は1m以内にしてください。
- 緑網を2本のフックに必ず通し、緩みの無いようしっかりと張った状態で使用してください。
- 緑網をボルトに掛けたり、フックに巻き付けしないでください。
- 隅部は必ず2個使いしてください。
- 落下衝撃が加わったものは使用しないでください。
- 隅部で吊網を結ぶ場合は必ず2個使用し、柱から15cm以内に取付けてください。
- 水平方向での使用は避けてください。

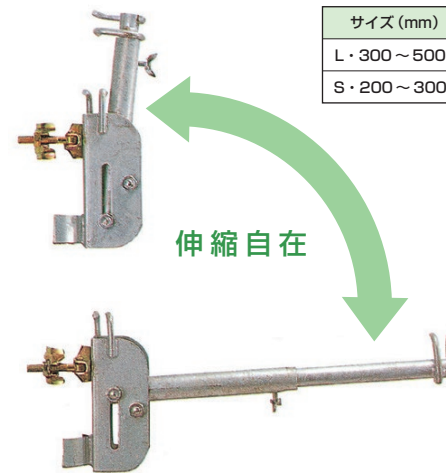


ネットブラケット

躯体と足場の間の養生に使用します。
起立水平、伸縮自在の便利金具です。

■ 規格寸法

サイズ (mm)	重量 (kg)
L・300～500	2.5
S・200～300	2.1



防災ラッセルネット 小巾

仮設工業会認定品

ネットブラケットと併せて躯体と足場間の
落下防止養生として使用します。

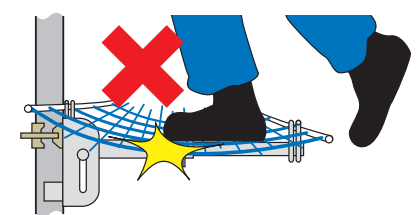


■ 規格寸法

サイズ (m)	重量 (kg)
0.5×6	2.8

ネットブラケット使用の手引き

ネットブラケットの上に乗ることはできません。



セフティーブロックU型（ワイヤロープ巻取り式墜落防止器具）

高所昇降作業用の墜落防止安全器具です。車のシートベルトと同じ原理でワイヤロープが自由に繰り出され、巻き込まれるため、柔軟な作業性が確保されます。両手を使って昇り降りができるため、作業性・安全性が格段にアップします。

衝撃、熱、化学物質に強い

剛性が高く丈夫で熱や化学物質にも強い本体ケースです。
（10～20mタイプ：サーモプラスチック製ケース
+ 補強アルミプレート
25mタイプ：アルミダイキャスト）

ワイヤの引き出し
巻き込み時に音で確認

正常な引き出し・巻き込み時には「カタカタ」と爪の動作音が鳴り、使用時に異常の有無を確認できます。

付属品



規格物性

長さ (m)	使用荷重 (kg)	最大 衝撃荷重 (kN)	使用 ロープ (φ)	重量 (kg)
10	120	4.0	4.3	4.9
15	120	4.0	4.3	6.3
20	120	4.0	4.3	6.7
25	120	4.0	4.3	13.1

ご使用前には
記載のQRコード
を読み取り必ず
取扱説明書
をご確認ください。



セフティーブロック 使用上の注意事項

■使用前にワイヤロープのロック機能の確認をしてください。
■一度でも大きな荷重が加わったものは使用しないでください。

警告

■安全ブロックのフックは墜落制止用器具のD環に直接連結してください。
■他の作業者のじゃまにならないところに取付けてください。

警告

■安全ブロックは腰より高い位置に取付けてください。また設置場所にエッジがある場合はパッド等で保護してください。
■ワイヤロープを構造物に何度も接触させたり巻き付けたりしないでください。

警告

■火気に近い場所や薬品・水・油等が付着する場所では使用しないでください。
■墜落災害の防止用ですので、他の用途には使用しないでください。

警告

■緩斜面での使用しないでください。
■使用中に凍結するおそれのある場合も使用しないでください。

警告

■安全ブロックの取付点から30°以下の範囲内で使用してください。

警告

■ワイヤロープにたるみが生じたり、障害物に引っ掛かる場所では使用しないでください。
■しっかりとした構造物に取付けてください。

危険

■ワイヤロープにさびや素線切れまたはキンクが発生しているものは使用しないでください。
■分解・組立または改造はしないでください。

危険

■電線等に触れる場所で使用しないでください。

危険

■移動中または作業中にワイヤロープを腕や足の下に通さないでください。

注意

■引き出したワイヤロープはゆっくりと巻き取ってください。

注意

上記内容は取扱説明書も内容を一部抜粋したものです。

注) 一度でも大きな荷重が加わったものは使用しないでください。内部に亀裂や変形が生じているおそれがあります。弊社の検査を受けるまでは使用しないでください。

ベルブロック 6m/10m（ベルト巻取り式墜落防止器具）

建設工事現場・梯子での昇降中の墜落事故を防止します。

軽量・コンパクトタイプで持ち運びに大変便利です。ベルトは超強力繊維とポリエステル製の2重構造で、周囲の設備・構造物に触れてもワイヤロープのように傷をつける心配がありません。ケースは衝撃に強く、割れにくいように鉄板で補強したグラスファイバー入り樹脂を使用しています。

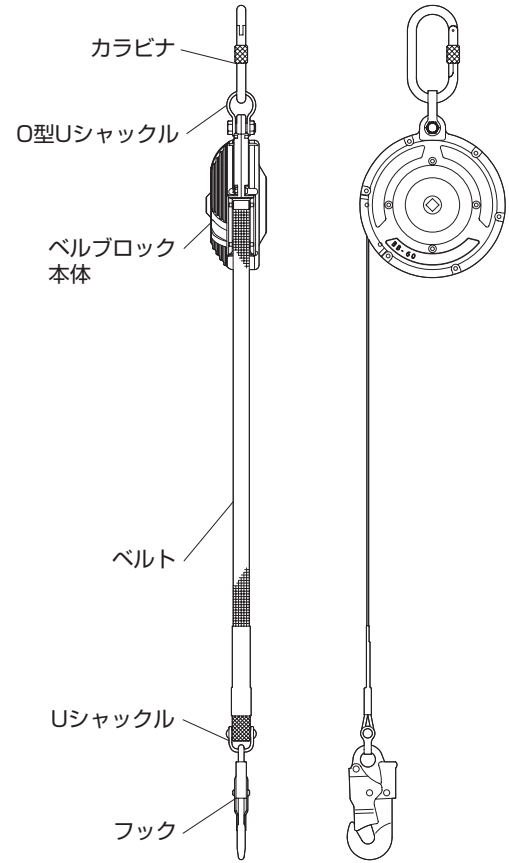


注：火気、薬品が触れる場所では使用しないでください。

ご使用前には
記載のQRコード
を読み取り必ず
取扱説明書
をご確認ください。



各部の名称（BB-60-SN参照）



規格物性

品 番	BB-60-SN	BB-100-SN
本 体 寸 法	縦182mm 横162mm 厚さ67mm	縦224mm 横206mm 厚さ82mm
ベ ル ト	幅18mm 長さ約5.7m	幅25mm 長さ約10m
落下衝撃荷重	5.7kN	5.2kN
重 さ	約1.4kg	約2.8kg
最大使用質量	120kg	

※ ベルトの長さは、ベルブロック中心からフックがき部までの長さを表します。

【使用上の注意】

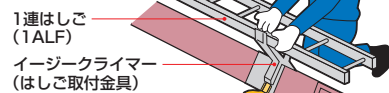
- 火気、薬品が触れる場所では使用しないでください。
- 総重量120kg以下でご使用ください。
- 台付けロープやベルト接触部に鋭いエッジがある場合は、パッド等で保護してください。
- しっかりとした構造物に取り付けてください。
- 分解・組立・改造は行わないでください。
- 使用範囲に障害物がないか確認してください。
- 取付けは作業者の腰より高い位置に取付けてください。
- 凍結時は使用しないでください。
- ベルトにたるみが生じたまま使用しないでください。
- 一度大きな荷重が加わった物は使用しないでください。
- 取付点から30度の範囲で使用してください。
- 移動速度は縦横斜め方向とも1.5M/sec以内としてください。
- ショックアブソーバ・ベルト・ロープに損傷のあるものは使用しないでください。
- フックは墜落制止用器具のD環に直接取付けてください。
- 作業前に必ず点検を行ってください。
- 使用後は必ずベルトを巻き取ってください。
- 引き出したベルトはゆっくりと巻き取ってください。
- 水・油等は避けて使用してください。
- 傾斜地での使用は落下速度が遅く、ロックが効かない場合があります。
- ベルトの異物は取り除いて使用してください。
- ベルトの引き出しはマーキング位置までとってください。
- 移動中、使用中はベルトを体に巻きつけたり、またいだりしないでください。
- 体重をかけたり、ぶら下がったりしないでください。
- 取付点より、上には上がらないでください。
- 移動速度は縦横斜め方向とも1.5M/sec以内としてください。
- 他の作業者のじゃまにならないところに取付けてください。

アルミ梯子1連



- ・最大使用重量150kgの業務用1連はしごです。
- ・ねじれやたわみに強く、耐久性に優れています。
- ・苛酷な条件下でより優れた総合性能を発揮します。

- ・1連はしご(1ALF)は、イーザークライマー LH、LHS、LHAに適応しています。



1連はしご (1ALF)

型 式	全 長 (m)	重 量 (kg)
1ALF-31	3.07	7.2
1ALF-41	4.09	9.0
1ALF-51	5.11	11.1
1ALF-61	6.13	13.3

【はしご各部名称】



ご使用前には記載のQRコードを読み取り必ず取扱説明書をご確認ください。

イーザークライマー（はしご取付金具）

- ・はしご取付金具イーザークライマーは、建築現場の梁などの組立作業時に仮設の昇降用通路となるはしご（1ALF）を鉄骨柱に取付ける装置です。（はしご上下3ステップ以内に取付け・右図参照→）
- ・鉄骨柱への脱着はベルトで行います。また、はしご取付バーではしごだけの着脱も可能なので、鉄骨柱を傷つけることなく素早く作業が行えます。
- ・従来のステップ取付けの溶接や、溶接されたステップの取外し、鉄骨柱の補修といった面倒な作業が不要になります。

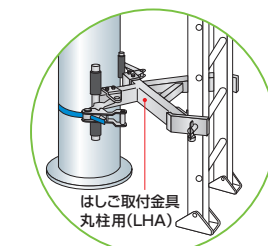
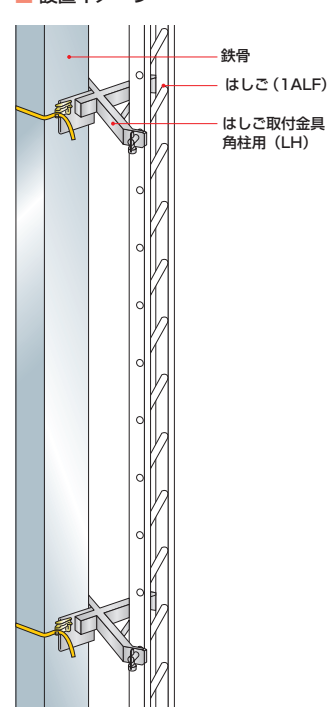


	角・H柱用	丸柱用
型 式	LH-36A	LHS-36
重 量	4.3kg	4.1kg
指定鉄骨柱	角・H柱用	角柱用
鉄骨柱形状	コラム型 300mm~650mm 300mm~650mm H型 300mm~650mm 300mm~650mm I型 300mm~650mm 300mm~650mm	コラム型 150mm~300mm 150mm~300mm 丸柱用 300mm~1020mm 300mm~1020mm

※角柱用は、300mm～1000mm対応のロングベルト仕様も取扱いがございます。

設置できる鉄骨柱は、LHは1辺が300～650mmのコラム・H・I型、LHAは直径300～1020mmの鉄骨丸柱です。指定以外の鉄骨柱に設置しないでください。 ※発注単位:2個 ※1ALFにて使用できます。

■設置イメージ



ご使用前には記載のQRコードを読み取り必ず取扱説明書をご確認ください。

安全作業のために、必ず守っていただきたいこと（アルミ梯子1連）

【アルミ梯子・使用上の注意】

⚠ 危険

- ❗ はしごの立て掛け角度は、約75度にしてください。
- ❗ 安全帯や安全ブロックを取付けて使用しないでください。

⚠ 警告

- ❗ 使う前には、必ず「ご使用前の点検」を行い、異常のないことを確認してください。
- ❗ 体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。
- ❗ はしごを単体で使用する場合は、必ず補助者がはしごを支えてください。
- ❗ はしごが安定しない場所には、設置しないでください。
- ❗ はしごを水平にして使わないでください。
- ❗ 同時に2人以上乗らないでください。
- ❗ はしごとしての用途以外の使いかたをしないでください。
- ❗ はしごを加工や改造しないでください。
- ❗ はしごを長くするために、別のはしごやパイプ・木などをつないだり、台や箱の上に寄せたりしないでください。
- ❗ はしごと建物の接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。
- ❗ 建物の壁に立て掛けた場合は、はしごの上から3段目以上の踏ざんには乗らないでください。



⚠ 注意

- ❗ はしごは慎重に昇り降りし、はしごの途中から、飛び降りたりしないでください。

【その他の注意事項につきましては、メーカー発行の取扱説明書をご参照ください。】

【アルミ梯子・ご使用前の点検】

はしごをお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1.目で見て、下記の点検をしてください。

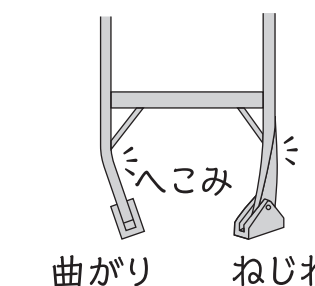
- ①踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ベンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。
- ②支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。

2.下記の箇所を触って点検をしてください。

- ①各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は絶対に使わないでください。



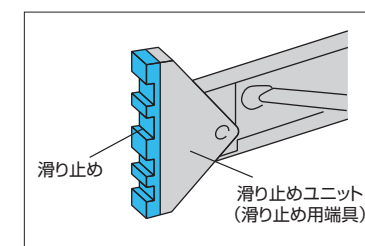
- ②滑り止めユニット（滑り止め用端具）がスムーズに動きますか。スムーズに動かない時は、泥やセメント・ごみの噛み込みがないか点検し、あれば取り除いてください。



- ③踏ざんに曲がり・へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。



- ④各部の接合に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。
- ⑤リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。
- ⑥滑り止めが外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、絶対に使わないでください。



ご使用前には記載のQRコードを読み取り必ず取扱説明書をご確認ください。



安全作業のために、必ず守っていただきたいこと（イーザークライマー）

【イーザークライマー・使用上の注意】

⚠ 危険

- ⚠ 強制 ベルトを巻き付け、作動レバーがロックされていることを確認してください。
- ⚠ 強制 はしご取付バーの爪が確実にロックされているか確認してください。
- ⚠ 禁止 イーザークライマーを用いて2連梯子を柱に設置することは出来ません。

⚠ 警告

- ⚠ 強制 体重と荷物の合計重量が最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。
- ⚠ 強制 取り外し作業は、必ず2人以上で行ってください。
- ⚠ 強制 使う前には、必ず「ご使用前の点検」を行い、異常のないことを確認してください。
- ⚠ 禁止 はしご取付金具としての用途以外の使用かたをしないでください。
- ⚠ 禁止 LH-36Aが設置できる鉄骨柱は、一辺が300mm～650mmのコラム・H型です。指定以外の鉄骨柱に設置しないでください。
- ⚠ 禁止 LHS-36が設置できる鉄骨柱は、一辺が150mm～300mmです。指定以外の鉄骨柱に設置しないでください。
- ⚠ 禁止 LHA-36が設置できる鉄骨丸柱は、直径300mm～1020mmです。指定以外の鉄骨丸柱に設置しないでください。
- ⚠ 禁止 はしご及びはしご取付金具を水平にして使わないでください。
- ⚠ 禁止 同時に2人以上乗らないでください。
- ⚠ 禁止 指定以外のはしごは、使わないでください。
- ⚠ 禁止 はしご取付金具を加工や改造しないでください。
- ⚠ 禁止 ベルトがねじれた状態で設置しないでください。
- ⚠ 禁止 指定のベルト以外は使用しないでください。
- ⚠ 禁止 鉄骨柱以外使わないでください。

⚠ 注意

- ⚠ 禁止 はしごは慎重に昇り降りし、はしごの途中から、飛び降りたりしないでください。

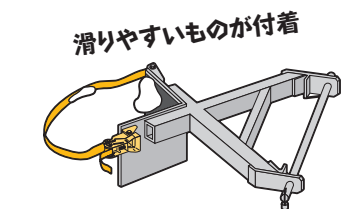
【その他の注意事項につきましては、メーカー発行の取扱説明書をご参照ください。】

【イーザークライマー・ご使用前の点検】

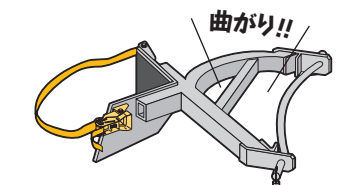
イーザークライマーをお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1.目で見て、下記の点検をしてください。

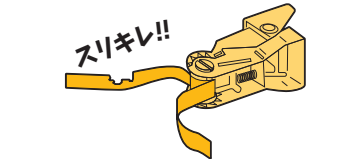
①イーザークライマーのクランプ板・ベルトにグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合は、きれいに拭き取ってください。



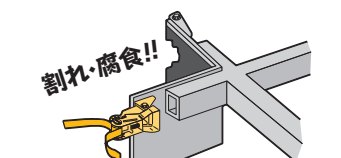
②イーザークライマーのクランプ板・アームに曲がり・ネジレ・ヘコミがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。



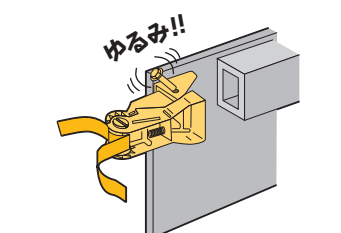
③ベルトが摩耗していませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。



④各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。

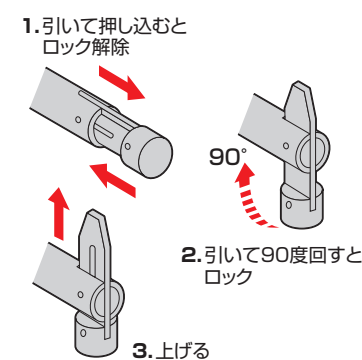


⑤リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないでください。



2.可動部を動かして下記の点検をしてください。

①はしご取付バーの爪は、確実にロックできますか。ロックできないときは、絶対に使わないでください。

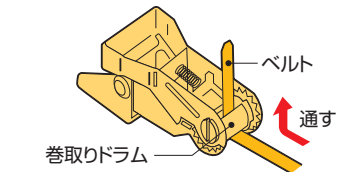


②ファスナーはスムーズにベルトを巻取りますか。巻取れないときは、絶対に使わないでください。

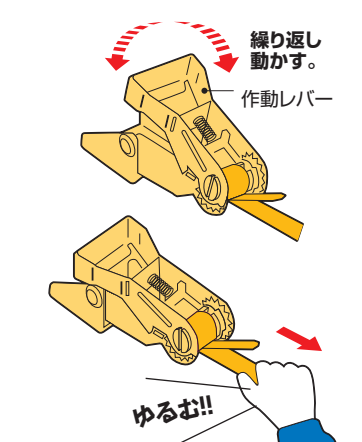
③ファスナーにベルトを巻取った状態でベルトがゆるみませんか。ゆるみがあるときは、可動部に泥やセメント・ゴミなどの噛込みが無い点検し、ある場合は、取り除いてください。取り除けないときは、絶対に使わないでください。

※ファスナーには、逆転防止用ラチェットが付いています。巻取ったベルトがゆるむ場合は、絶対に使わないでください。

1. ベルトを巻取りドラムに通します。



2. 作動レバーを前後に繰り返し動かします。



ご使用前には記載のQRコードを読み取り必ず取扱説明書をご確認ください。



アルミ梯子連結金具の取付け方

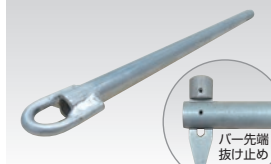
■ アルミ梯子連結金具セット

アルミ梯子連結金具 一連用 サイドプレート



必要数2ヶ／箇所

アルミ梯子連結金具 一連用 取付けバー



必要数1本／箇所

（イーザークライマー用のバーと別に必要）

取付け可能製品

イーザークライマー（角・H柱用）



（当社取扱製品に限る）
※丸柱用イーザークライマーも連結可能です。

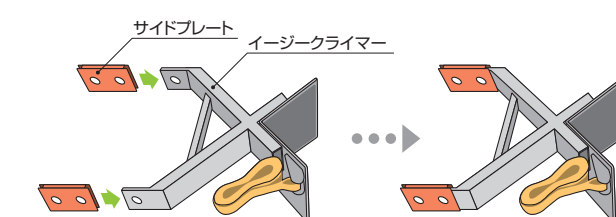
アルミ一連梯子



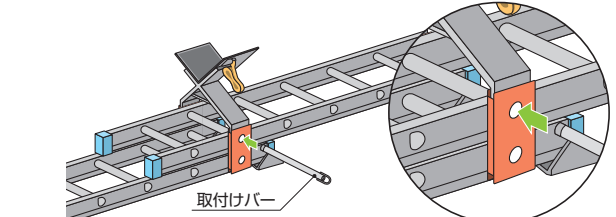
（当社取扱製品に限る）

■ 連結金具セットの取付け方

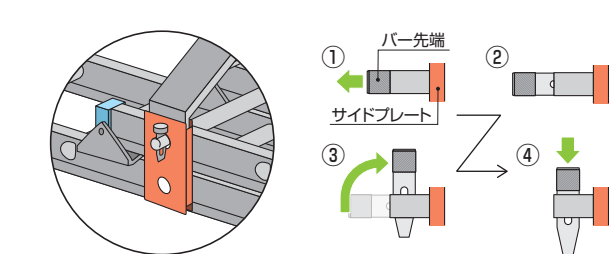
① イーザークライマーの両腕にサイドプレートをそれぞれ挿入する。



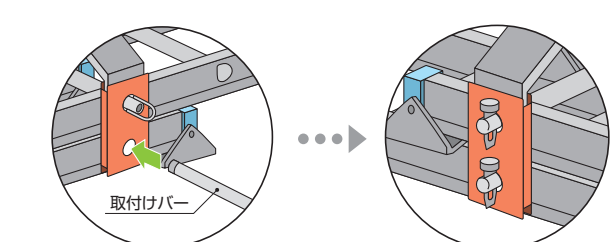
② 使用する長さに合わせて梯子を重ね、梯子とサイドプレートの穴を合わせ取付けバーを差し込みます。



③ 差し込み後、取付けバーの先端を折り、抜け止めをする。

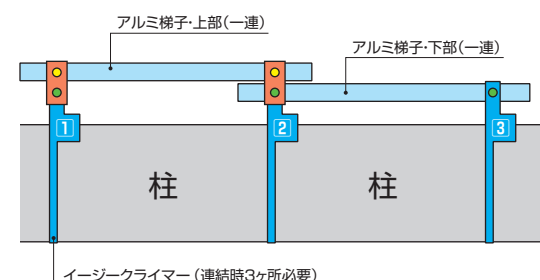


④ 同じ手順でもう一つの穴に取付けバーを差し込み、抜け止めをする。



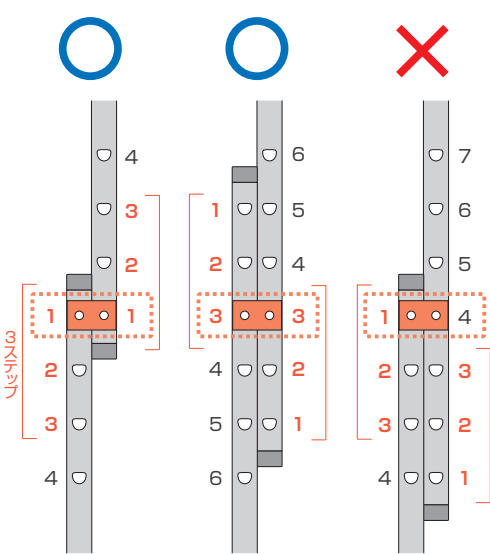
■ 柱への取付け方法

- …アルミ梯子連結金具セット サイドプレート
- …アルミ梯子連結金具セット 取付けバー
- …イーザークライマー付属 取付けバー



【使用上の注意】

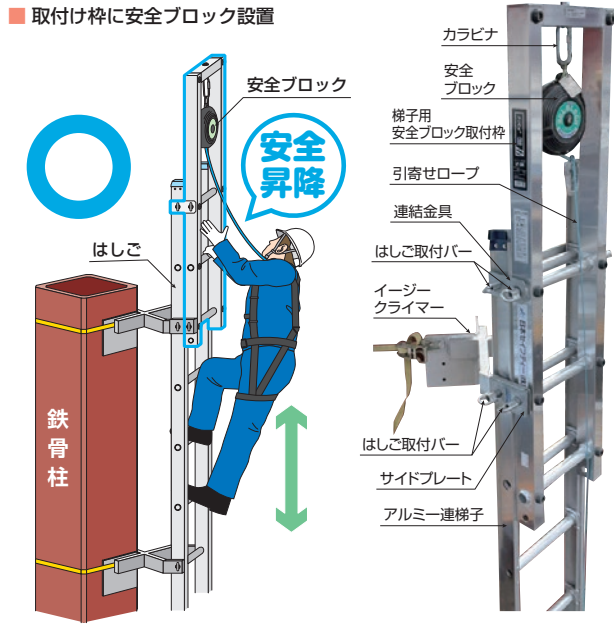
- 作業環境上、一連梯子を並べて設置できない場合に限りこの取付け方法を行ってください。
- 使用時はサイドプレートに、イーザークライマー付属の取付けバーと合わせて2本を必ず取付けしてください。
- 取付けバーの抜け止めを確実に行ってください。
- 2連梯子には使用できません。
- イーザークライマー／連結金具は、それぞれの梯子の端部から3ステップ以内に取付けてください。



梯子用安全ブロック取付枠

昇降ははしごへ梯子用安全ブロック取付枠を取付けることで墜落の際、安全ブロックにかかる衝撃を受け止め墜落事故を防止します。

■ 取付け枠に安全ブロック設置



部材構成 (梯子用安全ブロック取付枠)

■ 取付枠：1台



■ アルミ梯子
連結金具 一連用
サイドプレート：2枚



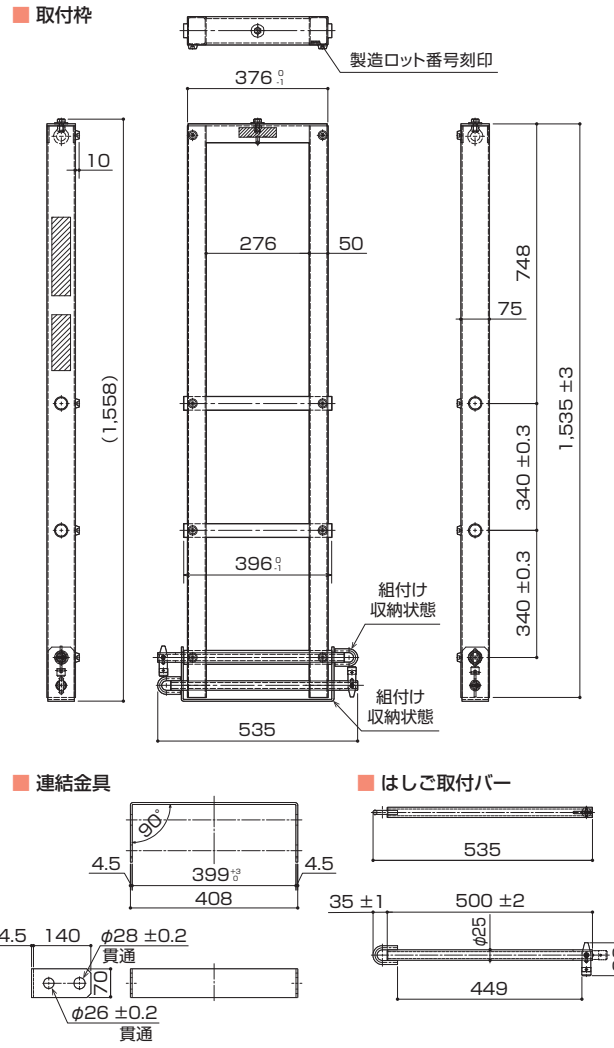
■ 連結金具：1ヶ



■ はしご取付バー：3本



寸法図



取付けに必要な部品

梯子用安全ブロック取付枠をご使用いただくには、以下に指定するアルミ連梯子、安全ブロック、引寄せロープ、イージークライマー(はしご取付金具)、安全ブロック専用カラビナが必要です。

■ アルミ連梯子
(1ALF型・LLS型)



■ カラビナ
口開き20mm



■ 安全ブロック
使用可能質量
120kg以下の製品



■ イージークライマー



■ 引寄せロープ
直径5mm
×ベルト長さ+0.5m

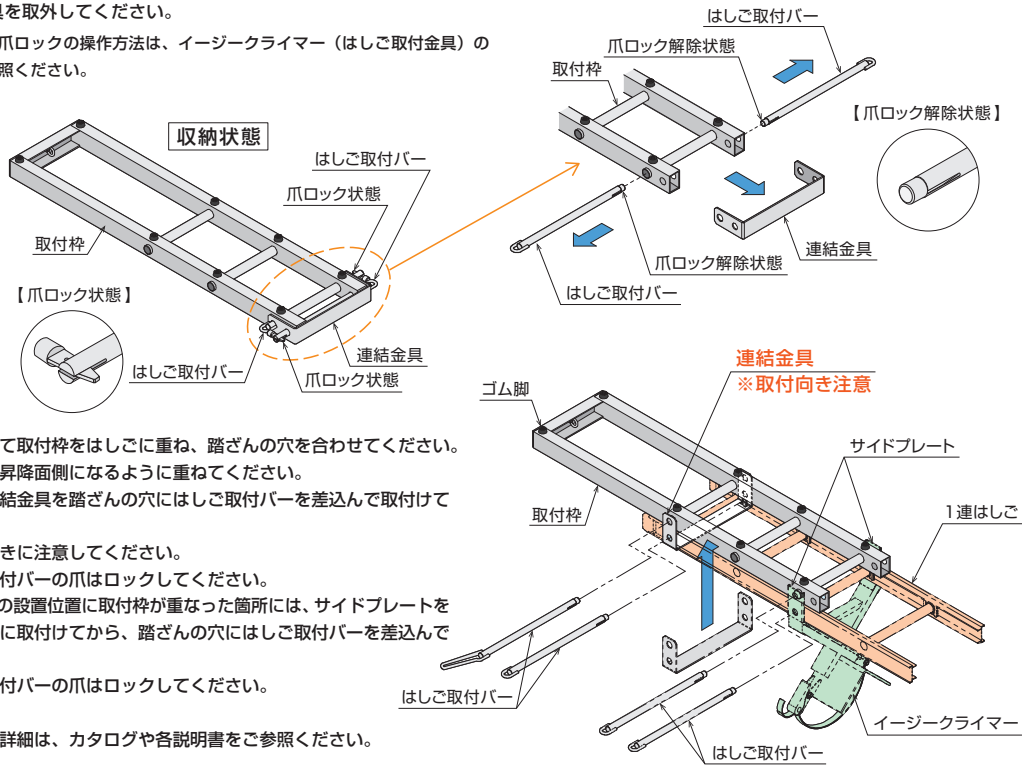


■ 規格物性

使用材料	製品質量
アルミニウム合金、鉄、ステンレス	約9kg
最大使用質量	
120kg(使用可能質量120kg以下の安全ブロックを使用すること。)	

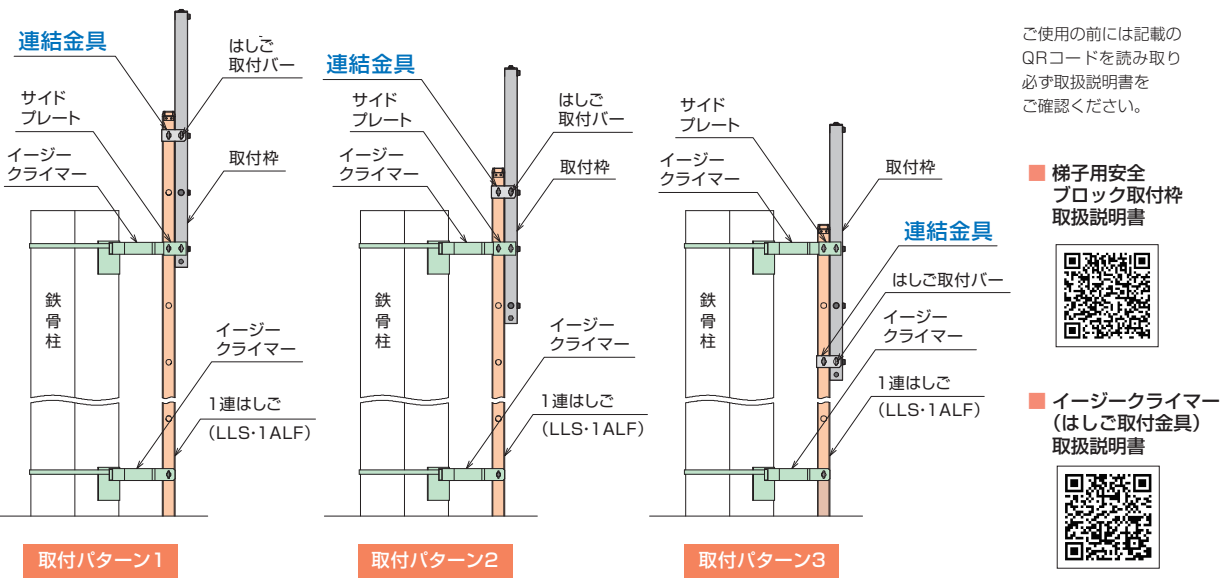
取付枠の取付け方

- ① 収納状態からはしご取付バーの爪をロック解除して、はしご取付バーを抜いてください。
 - ② 取付枠から連結金具を取外してください。
- ※はしご取付バーの爪ロックの操作方法是、イージークライマー(はしご取付金具)の取扱説明書をご参照ください。



- ③ 使用する長さに応じて取付枠をはしごに重ね、踏ざんの穴を合わせてください。
 - ※取付枠のゴム脚が昇降面側になるように重ねてください。
 - ④ はしご背面側から連結金具を踏ざんの穴にはしご取付バーを差込んで取付けてください。
 - ※連結金具の取付向きに注意してください。
 - ※差込んだはしご取付バーの爪はロックしてください。
 - ⑤ イージークライマーの設置位置に取付枠が重なった箇所には、サイドプレートをイージークライマーに取付けてから、踏ざんの穴にはしご取付バーを差込んで取付けてください。
 - ※差込んだはしご取付バーの爪はロックしてください。
- ※各部品の取付方法詳細は、カタログや各説明書をご参照ください。

鉄骨柱への取付け方



※鉄骨柱への取付方法は、はしご取付金具の説明書をご参照ください。※各パターンの連結金具の取付位置に注意してください。

ご使用前には記載のQRコードを読み取り必ず取扱説明書を確認ください。

■ 梯子用安全
ブロック取付枠
取扱説明書



■ イージークライマー
(はしご取付金具)
取扱説明書



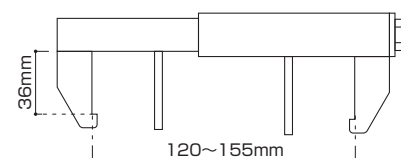
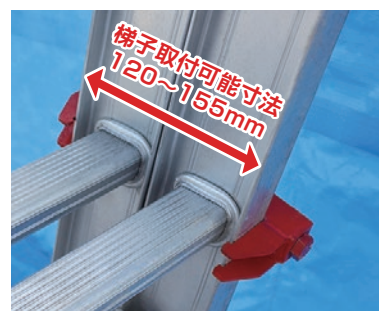
【使用上の注意】

- 1) 使用用途以外の使い方をしないでください。
- 2) 梯子用安全ブロック取付枠に追加工や改造をしないでください。
- 3) 指定のはしご、イージークライマー、はしご連結金具セット、安全ブロックをご使用ください。またそれぞれの取扱説明書も必ずご確認ください、内容を守ってください。
- 4) 梯子用安全ブロック取付枠は2連はしごには使用できません。
- 5) ご使用前に必ず点検を行い、異常のないことを確認してください。
- 6) 変形など異常のある場合は使用しないでください。
- 7) 梯子用安全ブロック取付枠の取付け向きに注意してください。
- 8) 連結金具の向きに注意してください。
- 9) イージークライマーは、はしごの端から3ステップ以内に取付けてください。
- 10) はしご取付バーを挿し込んだ後に、爪を確実にロックしてください。
- 11) はしご1本に対して梯子用安全ブロック取付枠を2か所以上取付けないでください。
- 12) 安全ブロックは必ず梯子用安全ブロック取付枠のアイナット部に取付けてください。踏板や枠などに取付けないでください。
- 13) 梯子用安全ブロック取付枠を背にしたり、手放して昇り降りをしてしないでください。
- 14) 梯子用安全ブロック取付枠の支柱から身体を乗り出さないでください。
- 15) 同時に2人以上乗らないでください。
- 16) 最大使用質量を超えての使用はしないでください。
- 17) 1度でも大きな衝撃を受けた場合は、使用しないでください。

プラワンジョイント（梯子連結金具）

梯子と梯子を連結できるワンタッチ取付型の金具。

梯子と梯子の連結も簡単固定。踏棧の穴に差込み、インパクトレンチで締めるだけです。



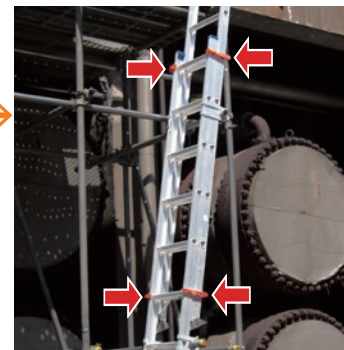
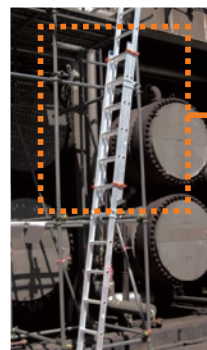
梯子取付可能寸法	質量
120~155mm	0.5kg

取付け方法

① 梯子の長さを調整し、踏棧の穴にプラワンジョイントを差し込みます。



② 反対側にも取付け、4カ所に取付けて完了です。

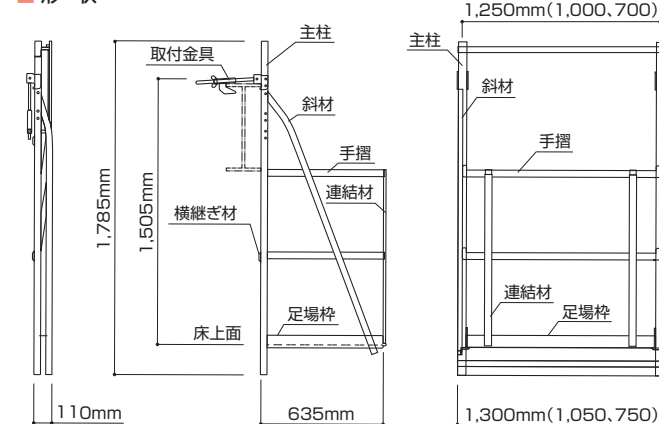


スカイハンガー

簡単に折りたたみ、コンパクトに収納。移動も取付けも1人でできるため、作業効率が大幅にアップします。



■ 形状

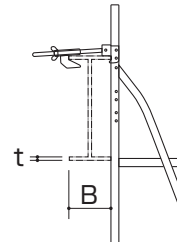


■ 規格物性

項目	内容		
横幅サイズ (mm/W)	750	1,050	1,300
重量 (kg)	14.5	16.7	19.2
取付金具 (kg)	4.0	4.0	4.0
積載荷重 (kg)	200	200	200

■ 取付金具の規格（鉄製）

B寸法 (mm)
120~490
t寸法 (mm)
7~32

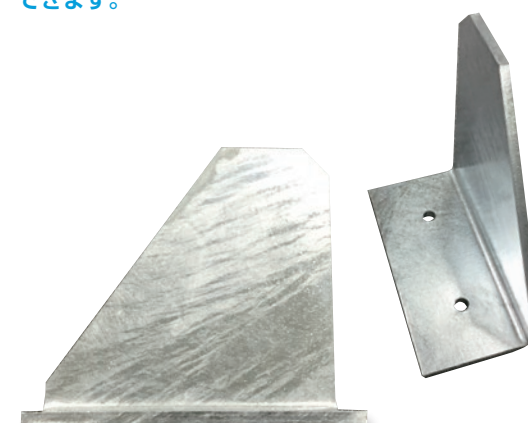


【使用上の注意】

- 1) 手すり部分には足をかけないでください。
- 2) 斜めの梁には取付けないでください。
- 3) 主材は鉄骨の上下フランジに確実にあててください。
- 4) 取付金具は必ず上フランジに挟んでください。
- 5) 本体に安全帯をつけないでください。
- 6) 許容荷重(200kg)以上荷重をかけないでください。
- 7) 本体からネットの取付けをしないでください。
- 8) 乗り降りは、衝撃がかからない様にしてください。

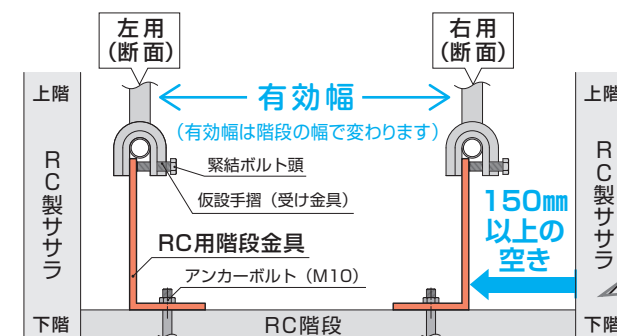
RC用階段金具

RC階段にアンカーボルト（M10）を2カ所取付けるだけで簡単に仮設鉄骨用階段手摺取付けられます。階段金具のスパンが多少ズレても支障なく取付けができます。



■ 設置時の注意（RCササラ又は、立ち上がりがある場合）

手すりを取付けるボルトを締める際、RC製のササラに干渉し設置できない場合があります。ササラより離してRC用階段金具傾斜用Rを設置してください。



※ケミカルアンカー R-10（ボルトM10）推奨

寸法図

RC用階段金具傾斜用L	RC用階段金具傾斜用R	RC用階段金具水平用
左 重量: 3.24kg	右 重量: 3.24kg	重量: 3.96kg

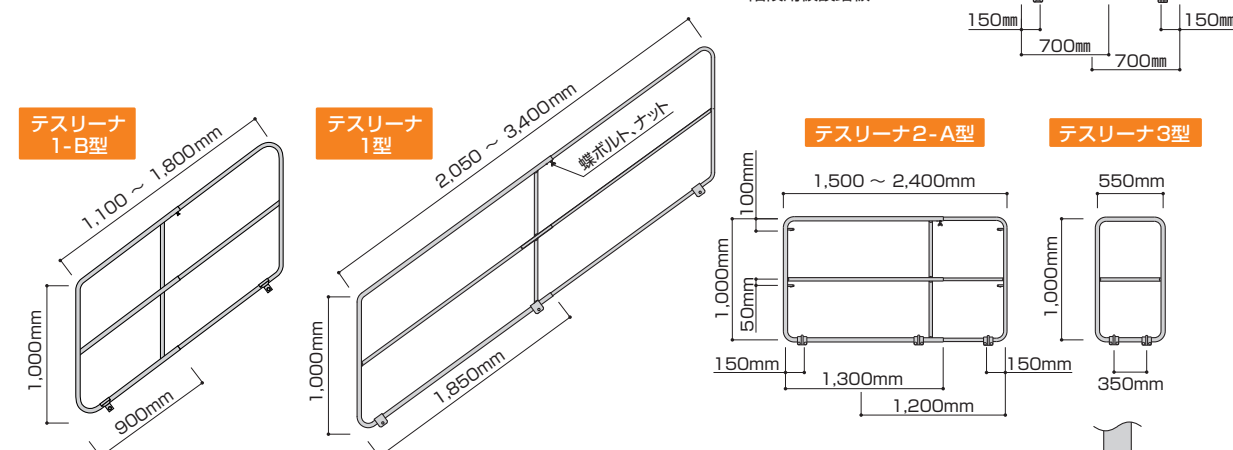
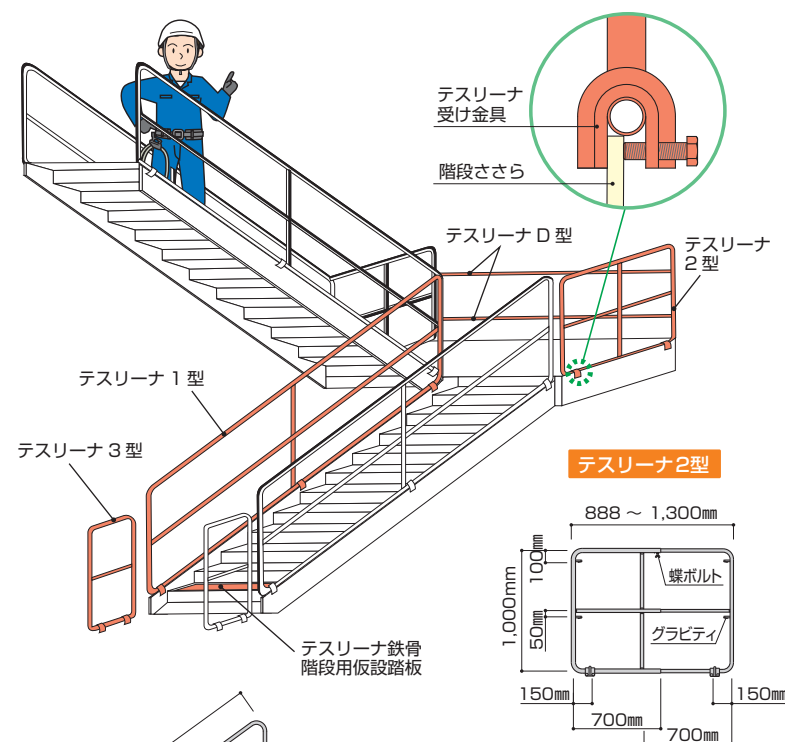
【使用上の注意】

- 1) アンカーボルトをしっかりと締め付けてください。
- 2) 用途以外での使用はしないでください。
- 3) 変形などの異常のある場合は使用をしないでください。
- 4) 基礎面に水平に取付けてください。
- 5) アンカーボルトはM10をご使用ください。
- 6) ボルトは確実に締めてください。
- 7) アンカーボルトは必ず2カ所に打ち込んでください。
- 8) 長期間設置する際は定期的に点検を行い、ボルト・ナットの緩みなどが確認してください。
- 9) 改造をしないでください。
- 10) 鉄骨用階段手摺をご使用の際は取扱説明書をご確認いただき、内容を遵守してください。

テスリーナ（ストッパー付）

安全性抜群の鉄骨階段用仮設手摺り

ささら部分にはめ込み、付属のボルトで締め付けるだけで、取付け、取外しが簡単に出来、しかも誤って手摺りが落下する事故を未然に防止するストッパー付で安全です。伸縮調整が可能で、取付け・解体が容易に行えます。



テスリーナ鉄骨階段用仮設踏板

水がたまる、つまづく、歩きにくい等の問題を一挙に解決する専用踏板です。

テスリーナ D 型

D型は踊り場1ヶ所につき2本使用が通常です。

テスリーナ用コ型金具

規格物性

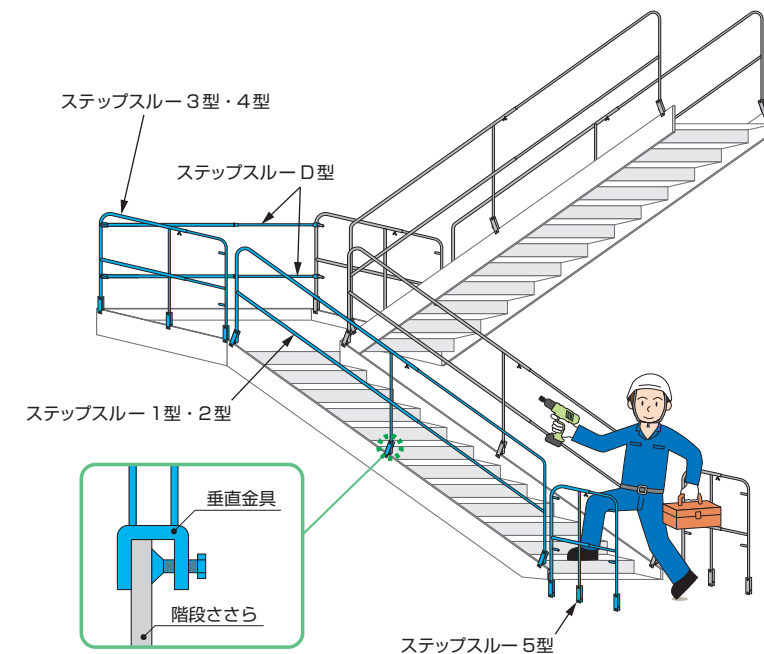
名 称	寸法(mm)	用 途	重量(kg)
テスリーナ 1 型	H1,000 × 2,050 ~ 3,400	斜 面 用	22
テスリーナ 1-B型	H1,000 × 1,100 ~ 1,800	斜 面 用	13
テスリーナ 2 型	H1,000 × 888 ~ 1,300	水 平 用	12
テスリーナ 2-A型	H1,000 × 1,500 ~ 2,400	水 平 用	19
テスリーナ 3 型	H1,000 × H1,000 × 550	水 平 用	7
テスリーナ D 型	W1,600 ~ 3,000	水 平 用	3
テスリーナ用コ型金具	—	水平部取付け用	1.4
テスリーナ鉄骨階段用仮設踏板	H230 × W800 × D40	水 平 用	3

- 【使用上の注意】
- 1) 手摺の上横、中横の上に乗ったり、足場板等を敷かないでください。特に、D型に足をかけたりしないでください。
 - 2) 安全帯ロープや親綱の支持にしないでください。
 - 3) 規格の寸法を超えて使用しないでください。
 - 4) 階段の手摺以外で、使用しないでください。

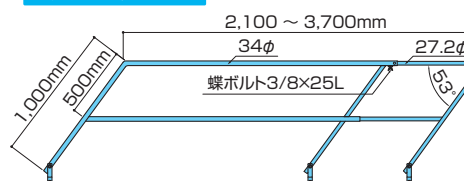
ステップスルー

鉄骨階段用仮設手摺

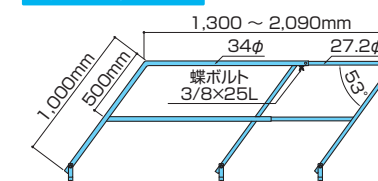
ささら部分にはめ込み、付属のボルトで締め付けるだけで、取付け、取外しが簡単にできます。斜面の角度に自在に対応し、鉄骨階段まわりの安全性を大幅に向上させます。伸縮調整が可能で、状況に合わせて取付け・解体が容易に行えます。



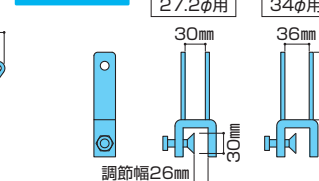
ステップスルー 1 型



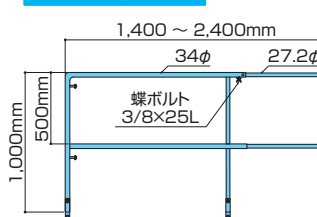
ステップスルー 2 型



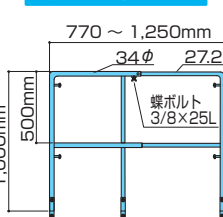
垂直金具



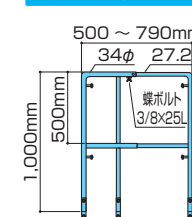
ステップスルー 3 型



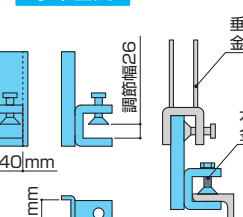
ステップスルー 4 型



ステップスルー 5 型



水平金具



ステップスルー D 型



D型は踊り場1ヶ所につき2本使用が通常です。

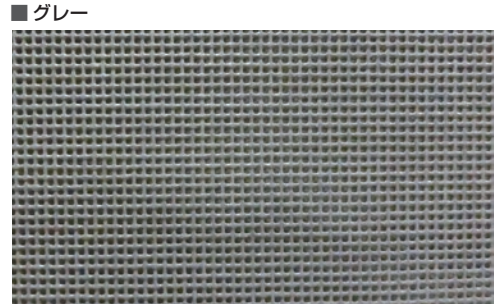
規格物性

品 名	寸法(mm)	用 途	重量(kg)
ステップスルー 1 型	H1,000 × W2,100 ~ 3,700	斜 面 用	15.0
ステップスルー 2 型	H1,000 × W1,300 ~ 2,090	斜 面 用	13.5
ステップスルー 3 型	H1,000 × W1,400 ~ 2,400	水 平 用	12.0
ステップスルー 4 型	H1,000 × W 770 ~ 1,250	水 平 用	10.5
ステップスルー 5 型	H1,000 × W 500 ~ 790	水 平 用	9.5
ステップスルー D 型	W1,700 ~ 3,000	水 平 用	2.5
垂直金具	—	垂直部取付け用	1.0
水平金具	—	水平部取付け用	1.0

- 【使用上の注意】
- 1) 手摺の上横、中横の上に乗ったり、足場板等を敷かないでください。特に、D型に足をかけたりしないでください。
 - 2) 安全帯ロープや親綱の支持にしないでください。
 - 3) 規格の寸法を超えて使用しないでください。
 - 4) 階段の手摺以外で、使用しないでください。

養生メッシュシート（防災メッシュシート1類）
（仮設工業会認定品）

採光性・強度に優れ、現場外への飛散を防止するシートです。塩化ビニル樹脂で防災加工しています。



規格寸法（グレー）

項目	規格サイズ(m)	重量(kg)	
		1004	1034
インチサイズ	1.83 × 5.1	5.0	5.5
メートルサイズ	1.8 × 5.1	5.0	5.5
インチサイズ メートルサイズ	1.5 × 5.1	4.3	4.6
	1.2 × 5.1	3.4	3.6
	0.9 × 5.1	2.6	2.7
	0.6 × 5.1	1.8	1.8

※地域により取扱っていない規格があります。

規格物性1004

項目	内容	項目	内容
重量 (g/m ²)	455	風力係数	1.56
引張強度 (N/3cm)	タテ2,058 ヨコ1,960	充実率	0.700
引張強度×伸び (kN/mm)	タテ113.1 ヨコ117.6	風速10m/s	9.8
		風速20m/s	39.0
		風速30m/s	87.8
		風速40m/s	156.0

※風がシートの正面からあたる時の計算値（気温15℃で気圧1013hpaの場合）

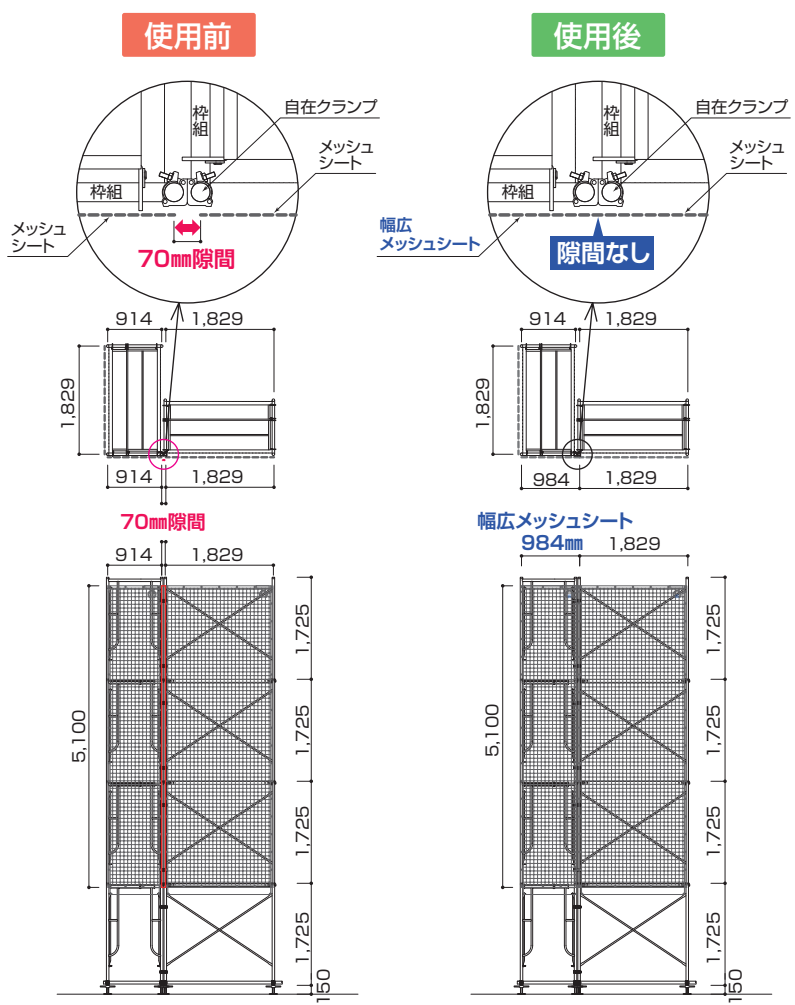
規格物性1034

項目	内容	項目	内容
重量 (g/m ²)	470	風力係数	1.87
引張強度 (N/3cm)	タテ2,156 ヨコ2,156	充実率	0.900
引張強度×伸び (kN/mm)	タテ90.6 ヨコ101.3	風速10m/s	11.7
		風速20m/s	46.8
		風速30m/s	105.2
		風速40m/s	187.0

※風がシートの正面からあたる時の計算値（気温15℃で気圧1013hpaの場合）

幅広メッシュシート・1034専用（1類）

ビティ枠の妻側部分の抱き合わせ箇所などの隙間を無くすメッシュシート。



規格寸法1034専用（グレー）

項目	規格サイズ(m)	重量(kg)
インチ サイズ	1.899 × 5.1	5.7
	1.594 × 5.1	4.8
	1.289 × 5.1	3.8
	0.984 × 5.1	2.9
	0.680 × 5.1	2.0
メートル サイズ	1.870 × 5.1	5.7
	1.570 × 5.1	4.8
	1.270 × 5.1	3.8
	0.970 × 5.1	2.9
	0.670 × 5.1	2.0

※地域により取扱っていない規格があります。
※シートの色はグレーです。

シートロープ

規格物性

材質	ポリエチレン
寸法	600mm
数量	1束100本
色	グレー

- 【使用上の注意】
- 1) 緊結には、すべてのハトメを使用して緊結してください。
 - 2) 緊結材は、引張強度が0.98kN以上の合成繊維ロープを使用してください。
 - 3) 緊結材は、長期の使用や強風等で劣化する事があるため点検してください。
 - 4) メッシュシートは、水平に張って墜落防止用の安全ネットとして使用しないでください。

シートクランプ

図 1 標準品

図 2 標準品

図 3 標準品

図 4 標準品

図 5 標準品

図 6 標準品

図 7 標準品

図 8 標準品

図 9 標準品

図 10 標準品

図 11 標準品

図 12 標準品

図 13 標準品

図 14 標準品

図 15 標準品

図 16 標準品

図 17 標準品

図 18 標準品

図 19 標準品

図 20 標準品

図 21 標準品

図 22 標準品

図 23 標準品

図 24 標準品

図 25 標準品

図 26 標準品

図 27 標準品

図 28 標準品

図 29 標準品

図 30 標準品

図 31 標準品

図 32 標準品

図 33 標準品

図 34 標準品

図 35 標準品

図 36 標準品

図 37 標準品

図 38 標準品

図 39 標準品

図 40 標準品

図 41 標準品

図 42 標準品

図 43 標準品

図 44 標準品

図 45 標準品

図 46 標準品

図 47 標準品

図 48 標準品

図 49 標準品

図 50 標準品

図 51 標準品

図 52 標準品

図 53 標準品

図 54 標準品

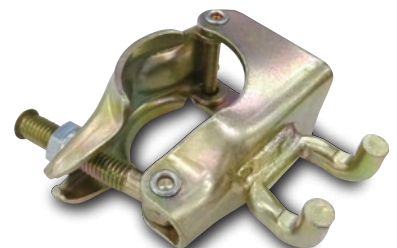
規格物性

重量(kg)	0.4
--------	-----

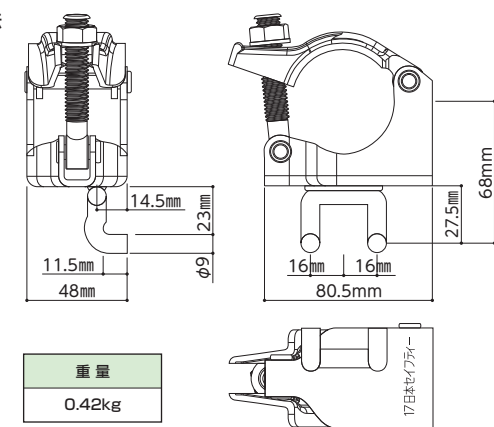
次世代シートクランプ
（意匠登録 第1583192号）

次世代足場の出っ張りにシートが干渉しないで容易に取付け出来ます。

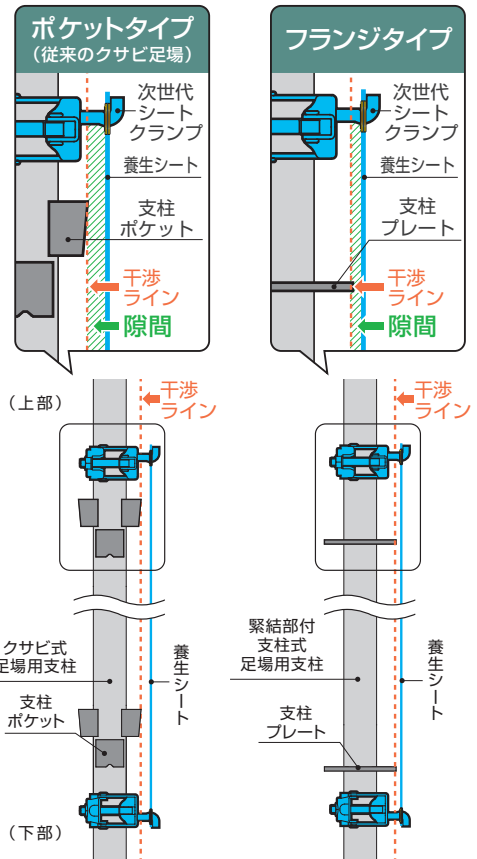
次世代足場支柱各種対応のφ48.6・φ42.7兼用クランプです。緊結部のポケットやフランジに干渉しないでシート類を容易に取付けできます。従来の枠組足場にも使用する事ができます。クランプ爪部に凹があり、シートのハトメが掛かり易く、ポケット・フランジからシートの擦れを軽減します。抜け止めボルト仕様なのでナットの脱落を防止します。



規格寸法



〈横断面図〉



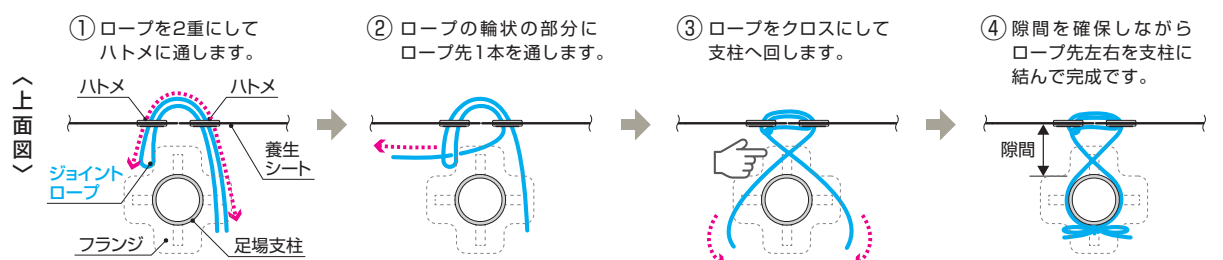
設置手順

シートを取付ける手順

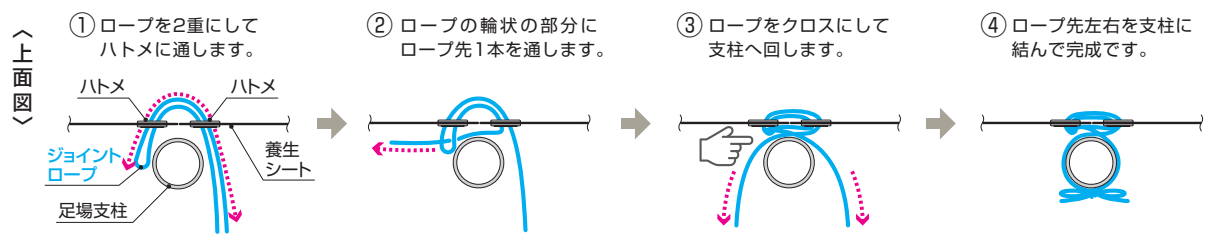
- ① 上部に次世代足場用シートクランプを支柱に取付けてください。
- ② 取付けたシートクランプにシートのハトメを引っ掛けてください。
- ③ 下部の次世代シートクランプにシートのハトメを掛けた状態で支柱に仮固定してください。ハンマー等でクランプを叩きシートを緊張させ、クランプを本締め固定してください。
- ④ シートをジョイントロープで結び、クロスにして支柱へ結んで固定してください。（以下、ジョイントロープの結び方参照）



ジョイントロープの結び方・次世代足場（例）

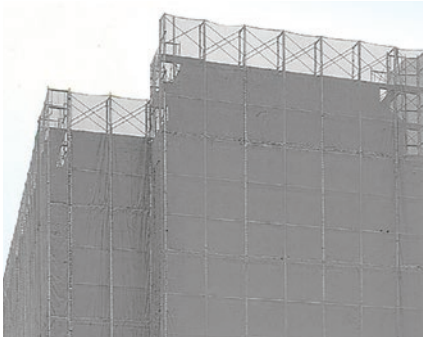


ジョイントロープの結び方・枠組足場（例）



塗装シート（防災メッシュシート2類）

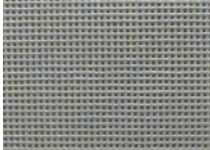
外部への塗料等の飛び散りを防ぎ、主に改修工事等で使用します。



■ ブラック



■ グレー



■ 規格寸法

規格サイズ(m)	重量(kg)
1.82 × 5.1	1.5
1.5 × 5.1	1.2
1.2 × 5.1	1.0
0.9 × 5.1	0.7
0.6 × 5.1	0.5

■ 規格物性

項 目	内 容
引張強さ	タテ509 × ヨコ509
風力係数	1.58
充実率	0.71
風速抵抗(kg/m ²)*	風速10m/s 9.9
	風速20m/s 39.5
	風速30m/s 88.9
	風速40m/s 158

* 風がシートの正面からあたる時の計算値(気温15℃で気圧1013hpaの場合)

シートロープ



■ 規格物性

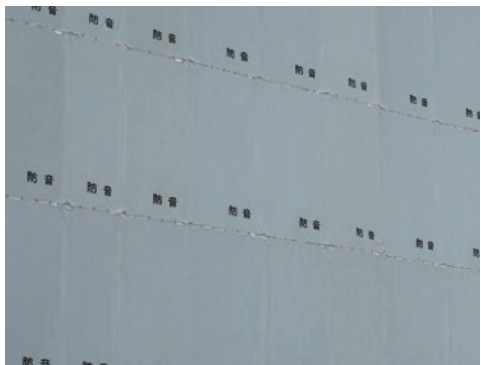
材 質	ポリエチレン
寸 法	600mm
数 量	1束100本
色	グレー・ブラック

【使用上の注意】

- 1) 飛来落下防止の目的以外の用途には使用しないでください。
- 2) 台風、大雨、強風（風速15m/sec.以上）等が予想される場合には、撤去や巻き上げる等の措置を施してください。またその後にはシートの異常の有無について点検を実施してください。
- 3) 1ヶ月以内ごとに緊結部の取付状態の定期点検を実施してください。
- 4) シートが破損した際は正常品と交換してください。
- 5) ハトメの破損しているものは使用しないでください。

防音シート

解体・改築・建設等・各種工事現場にて騒音の漏れを防ぎます。防災加工が施してあり耐久性に優れています。



■ 規格寸法

規格サイズ(m)	重量(kg)
1.8 × 3.4	9.8
1.5 × 3.4	8.2
1.2 × 3.4	6.6
0.9 × 3.4	5.0
0.6 × 3.4	3.4

ジョイントロープ

■ 規格物性

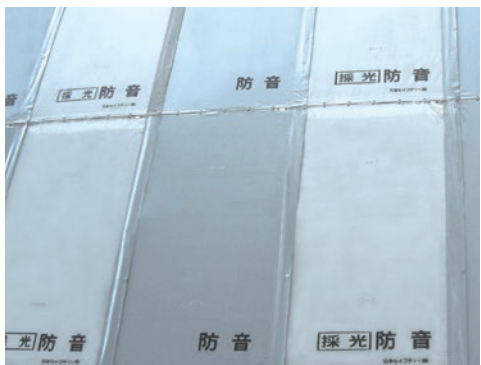
材 質	ポリエステル	数 量	1束100本
寸 法	600mm	色	白

■ 規格物性

項 目	内 容
規 格	厚さ(mm) 1.0
物 性	(kg/3cm) 引張強力(N/3cm) 190 × 180
	1860 × 1770
	引張伸度(%) 20 × 23
	(kg) 引裂強力(N) 40 × 40
	392 × 392
防炎性	消防法施行令第4条の3第4項の基準に適合

採光防音シート

防音効果を発揮しながら現場内に光を取り入れることで照明・節電の補助として使用できます。



■ 規格寸法

規格サイズ(m)	重量(kg)
1.8 × 3.4	9.8

ジョイントロープ



■ 規格物性

材 質	ポリエステル	数 量	1束100本
寸 法	600mm	色	白

■ 規格物性

項 目	内 容
規 格	厚さ(mm) 1.1
物 性	(kg/3cm) 引張強力(N/3cm) 204 × 204
	2000 × 2000
	引張伸度(%) 26 × 28
	(kg) 引裂強力(N) 40 × 40
	394 × 394
防炎性	消防法施行令第4条の3第4項の基準に適合

【使用上の注意】

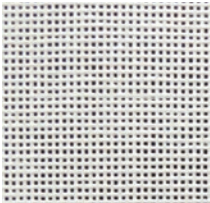
- 1) 緊結には、すべてのハトメ を使用して緊結してください。
- 2) 緊結材は、引張強度が0.98kN以上の合成繊維ロープを使用してください。
- 3) 緊結材は、長期の使用や強風等で劣化する事があるため点検してください。
- 4) 防音シートは、水平に張って墜落防止用の安全ネットとして使用しないでください。

白メッシュシート2類

グレーのメッシュシートと比較して作業場内に、より光を取り込みます。素材は高強力ポリエステル糸を使用し、製織後に樹脂加工を施し、強度、耐久性、防炎性があります。

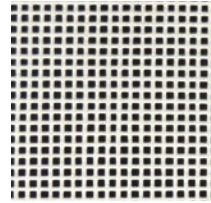


■ 高さ10200mmタイプ



日本防災協会認定
防炎性能試験合格品
NO.CT920016

■ 高さ5100mmタイプ



日本防災協会認定
防炎性能試験合格品
NO.C2130012

シートロープ



■ 規格物性

材 質	ポリエチレン
寸 法	600mm
数 量	1束100本
色	白

高さ10200mmタイプ・塗装シート2類(白)

■ 規格寸法

サイズ(mm)	重量(kg)
1820×10200	3.0
1520×10200	2.5
1210×10200	2.0
910×10200	1.5
610×10200	1.0

■ 性能

試験項目	試験方法	単 位	方 向	数 値
質 量	JIS-L-1096	g/m ²		135.8
引張強力	JIS-L-1096	N/3cm	タテ	539.4
			ヨコ	500.1
伸 度	JIS-L-1096	mm	タテ	36.0
			ヨコ	40.0
充 実 率				0.71

高さ5100mmタイプ・塗装シート2類(白)

■ 規格寸法

サイズ(mm)	重量(kg)
1820×5100	1.4
1520×5100	1.2
1210×5100	0.9
910×5100	0.7
610×5100	0.5

■ 性能

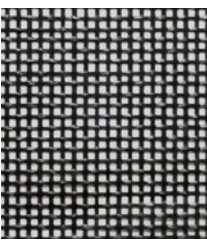
試験項目	試験方法	単 位	方 向	数 値
質 量	JIS-L-1096	g/m ²		115.9
引張強力	JIS-L-1096	N/3cm	タテ	551.0
			ヨコ	524.0
伸 度	JIS-L-1096	mm	タテ	42.0
			ヨコ	41.0
充 実 率				0.60

* 性能データは測定値であり保証値ではありません。* 地域によって、取り扱いのないサイズがありますので、各担当へお問い合わせください。

【使用上のご注意】

- 1) 飛来落下防止の目的以外の用途には使用しないでください。
- 2) 台風、大雨、強風（風速15m/sec.以上）等が予想される場合には、撤去や巻き上げる等の措置を施してください。またその後にはシートの異常の有無について点検を実施してください。
- 3) 1ヶ月以内ごとに緊結部の取付状態の定期点検を実施してください。
- 4) シートが破損した際は正常品と交換してください。
- 5) ハトメの破損しているものは使用しないでください。

透過メッシュシート2類 特許第6856949号



日本防災協会認定
防炎性能試験合格品
NO.C2130012

■ 性能

試験項目	試験方法	単 位	方 向	新タイプ	従来タイプ
質 量	JIS-L-1096	g/m ²		115.9	130.0
引張強力	JIS-L-1096	N/3cm	タ テ	551.0	509.0
			ヨ コ	524.0	509.0
伸 度	JIS-L-1096	mm	タ テ	42.0	30.0
			ヨ コ	41.0	36.0
充 実 率				0.60	0.71
透 過 率	JIS-Z-8722	%	黒	36.0	26.7

* 上記データは測定値であり保証値ではありません。

■ H5100タイプ

サイズ(mm)	重量(kg)
1820×5100	1.4
1520×5100	1.2
1210×5100	0.9
910×5100	0.7
610×5100	0.5

■ H5400タイプ

サイズ(mm)	重量(kg)
1800×5400	1.5
1500×5400	1.2
1200×5400	1.0
900×5400	0.7
600×5400	0.5

【使用上のご注意】

- 1) 飛来落下防止の目的以外の用途には使用しないでください。
- 2) 台風、大雨、強風（風速15m/sec.以上）等が予想される場合には、撤去や巻き上げる等の措置を施してください。またその後にはシートの異常の有無について点検を実施してください。
- 3) 1ヶ月以内ごとに緊結部の取付状態の定期点検を実施してください。
- 4) シートが破損した際は正常品と交換してください。
- 5) ハトメの破損しているものは使用しないでください。

シートロープ



■ 規格物性

材 質	ポリエチレン
寸 法	600mm
数 量	1束100本
色	ブラック

認定防音シート縦横兼用

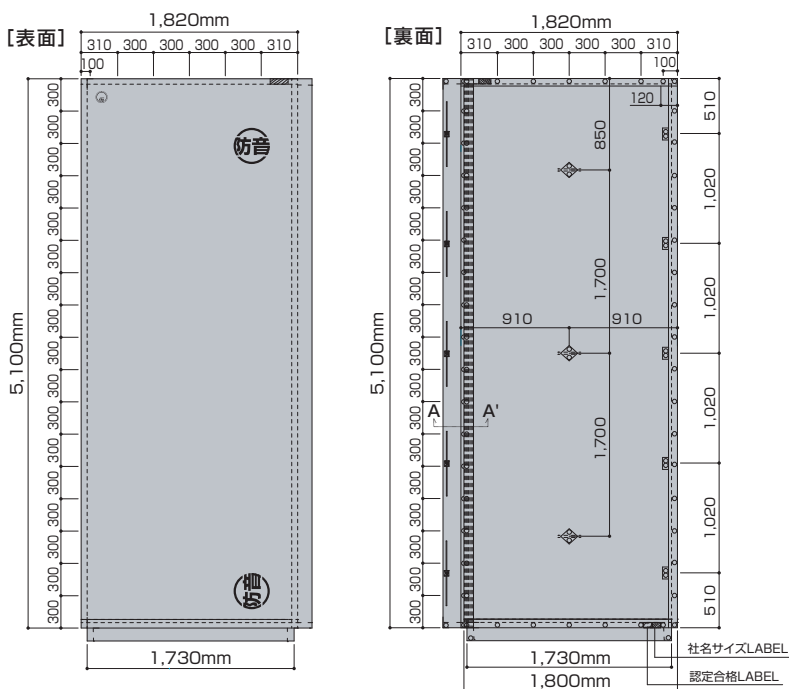


密閉性に優れたシートが、建築・解体・土木・橋梁などの工事に発生する騒音・塵を防ぎます。

シート1枚（1820mm×5100mm）の重量が10.1kgと軽く、取り扱いが簡単なので現場作業の効率をアップさせます。1枚のシートで枠組み足場のメーター・インチサイズに合わせて使用でき（1820×5100サイズのみ）しかも縦横使いも自在です。素材は高強度ポリエステル糸を使用し、製織後に樹脂加工を施していることにより、強度、耐久性、防炎性があります。



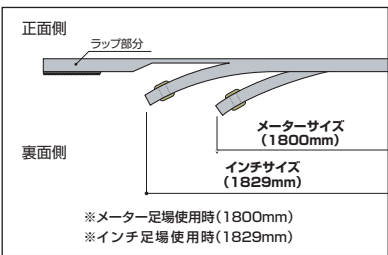
仕様図



サイズ(mm)	重量(kg)
1,820 × 5,100	10.1
1,500 × 5,100	8.0
1,200 × 5,100	6.7
900 × 5,100	5.4
600 × 5,100	4.1

※枠組足場のメーターサイズ及びインチサイズ兼用（1800×5100サイズのみ）

A-A'断面図（1800×5100サイズ）



ジョイントロープ



規格物性

厚さ (mm)	重量 (g/m ²)	引張強度※ (N/3cm)		タフネス※ (KN/mm)		防炎性能
		タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	
0.67	800	1470以上	1470以上	68.6以上	68.6以上	適合

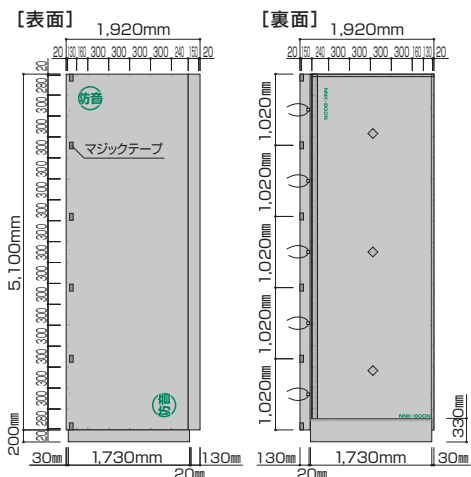
※仮設工業会認定基準値

規格物性

材質	ポリエステル	数量	1束100本
寸法	600mm	色	白

防音シート縦横兼用

1,800×5,100サイズの軽量防音シートです。



サイズ(mm)	重量(kg)
1,800 × 5,100	9.4
1,500 × 5,100	7.2
1,200 × 5,100	6.0
900 × 5,100	4.7
600 × 5,100	3.5

※枠組足場のメーターサイズ及びインチサイズ兼用（1800×5100サイズのみ）

規格物性

引張強度 (mm)		伸度 (%)		引張強度 (N)		厚さ (mm)
タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	
1440	1500	21.0	19.3	345	285	0.56

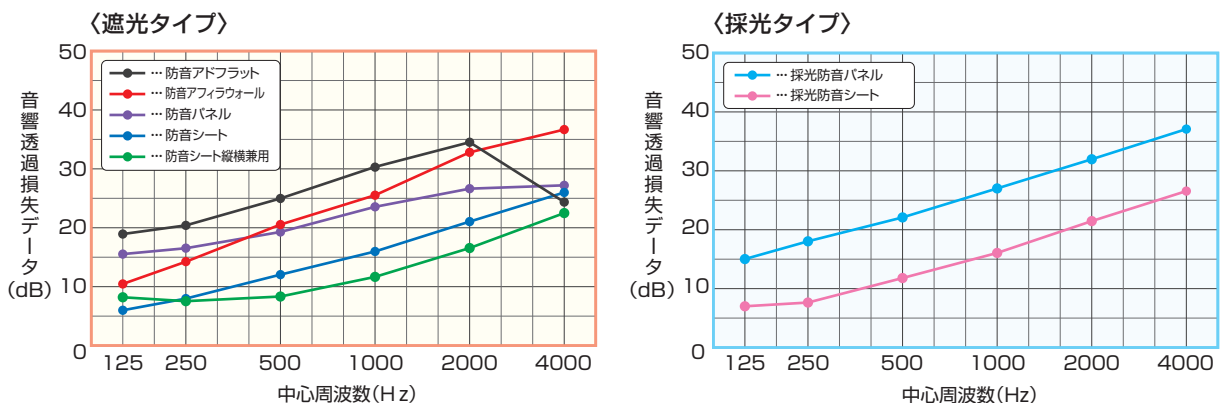
※上記数値は測定値の平均値であり、保証値ではありません。



【使用上の注意】

- 1) 飛来落下防止の目的以外の用途には使用しないでください。
- 2) 台風、大雨、強風（風速15m/sec.以上）等が予想される場合には、撤去や巻き上げる等の措置を施してください。またその後はシートの異常の有無について点検を実施してください。
- 3) 1ヶ月以内ごとに繋結部の取付状態の定期点検を実施してください。
- 4) シートが破損した際は正常品と交換してください。
- 5) ハトメの破損しているものは使用しないでください。

防音仮設資材・音響透過損失比較データ



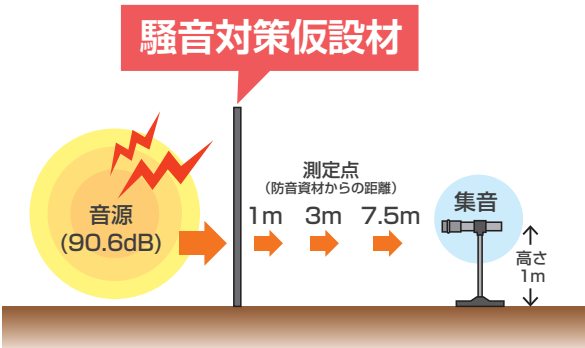
・防音アドフラット・防音シート・採光防音シートは、地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 測定値による
・防音アフィラウォール・防音パネル・防音シート縦横兼用・採光防音パネルは、財団法人 小林理学研究所 測定値による（測定方法 JIS A 1416）

音響試験実証テスト比較データ

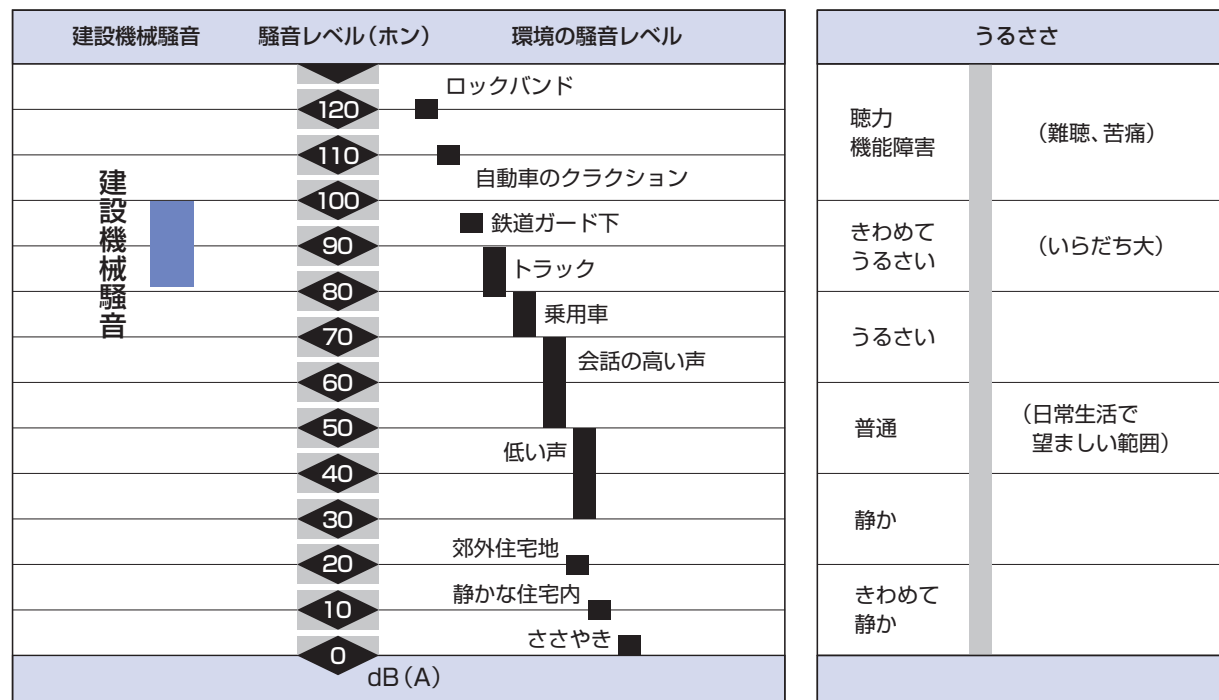
製品名	測定距離 (単位: dB)		
	1m	3m	7.5m
● 防音アフィラウォール	62.2	54.0	50.9
● 防音パネル	66.3	56.4	53.9
● 防音シート	67.0	60.5	55.5
● 防音シート縦横兼用	68.7	60.8	57.8
● 防音アドフラット	64.5	56.9	52.8

屋内の音響試験場にて行った社内試験結果になります。
※保証値ではありません。設置条件、音源、立地等により変動します。

測定イメージ

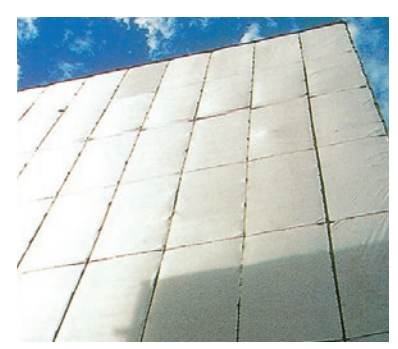


建設機械騒音と環境騒音の比較



防災シート（2類）

塩化ビニル樹脂で防災加工したシートを使用しています。工事現場の安全を確保します。



規格寸法

規格サイズ(m)	重量(kg)
1.82 × 5.1	3.5
1.8 × 5.1	3.5
1.5 × 5.1	2.9
1.2 × 5.1	2.3
0.9 × 5.1	1.8
0.6 × 5.1	1.2

規格物性

項目	内容
引張強度(N/3cm)	タテ512 × ヨコ534
伸び(%)	タテ34 × ヨコ40
厚み(mm)	0.30

シートロープ



規格物性

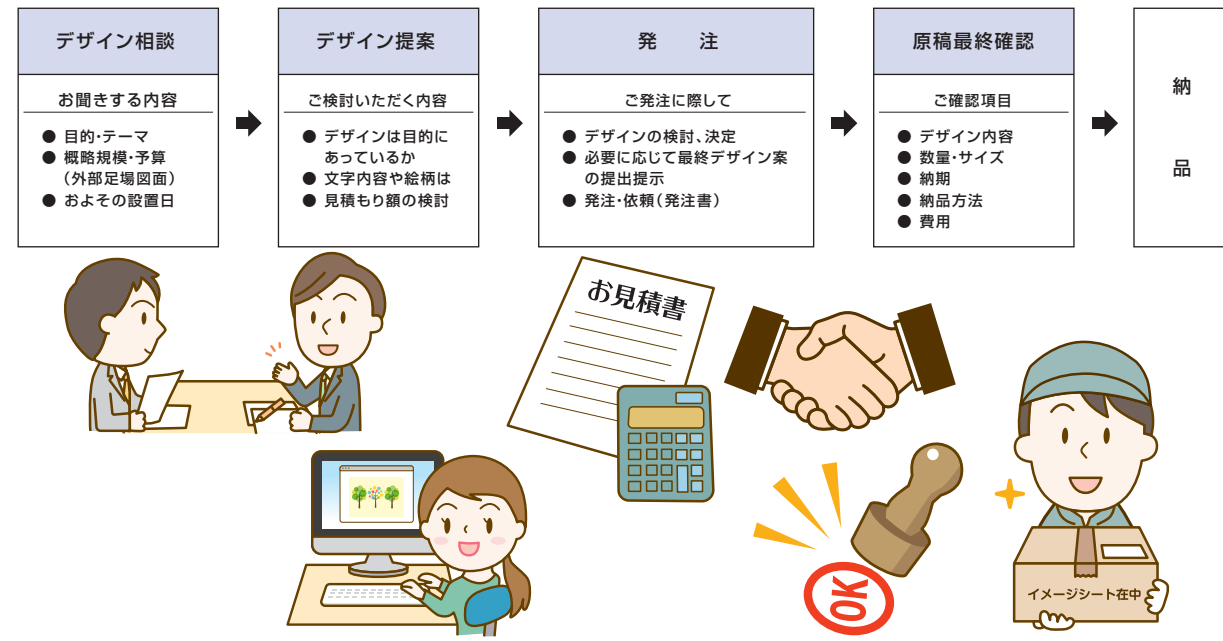
材質	ポリエチレン	数量	1束100本
寸法	600mm	色	白

【使用上の注意】

防災製品ですが、「防災」とは「不燃」とは異なり、あくまでも「燃えにくい」という性能を示す用語であり、小さな火源に接しても容易に燃え上らず、もし着火しても際限なく燃え広がらないことを意味しています。したがって、溶接火花の防止等、火の近くでの使用はできません。

イメージシート

ビジュアルシートや現場環境美観デザインの制作行程



設置イメージ

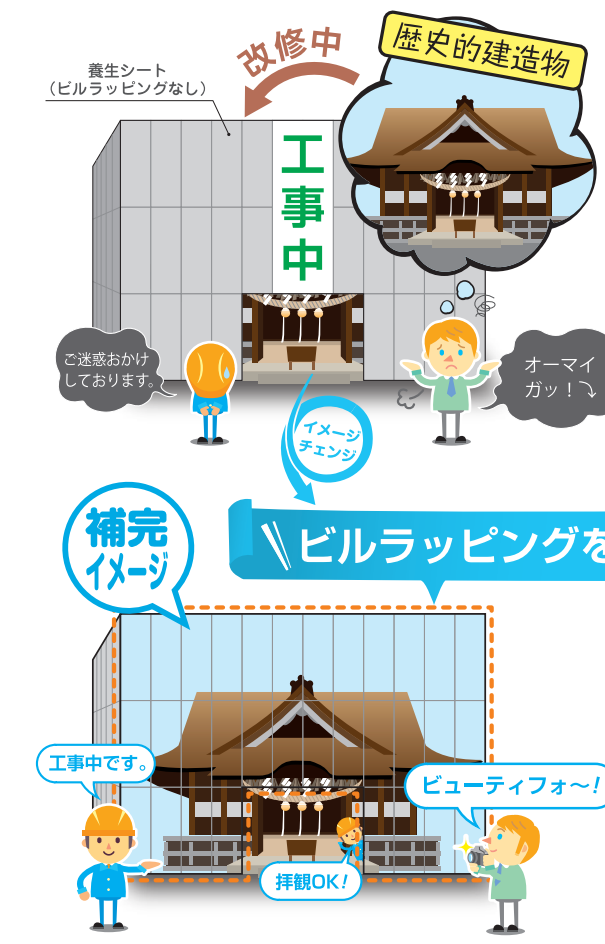


ビルラッピング（改修工事向け景観対策養生シート）

工事中なのにそのまま既存建築物の様に見える外観カモフラージュです。

景観対策

地域、施設の一部でも養生シートで覆われているだけでは景観が損なわれてしまいます。既存の建物があるべきところに存在することで、景観全体のイメージが保たれます。

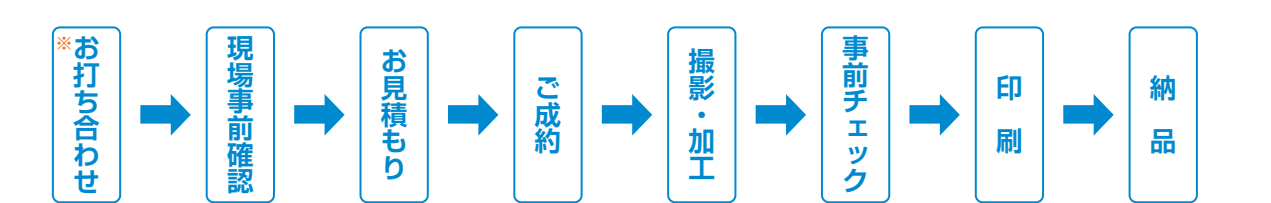


おもてなし（サービス）

工事中は、オーナー・観光客等、双方にとって景観的に、大変残念な期間になります。あるべき建造物がシートで存在するだけで、来られる方への景観によるサービスとなり集客につながります。

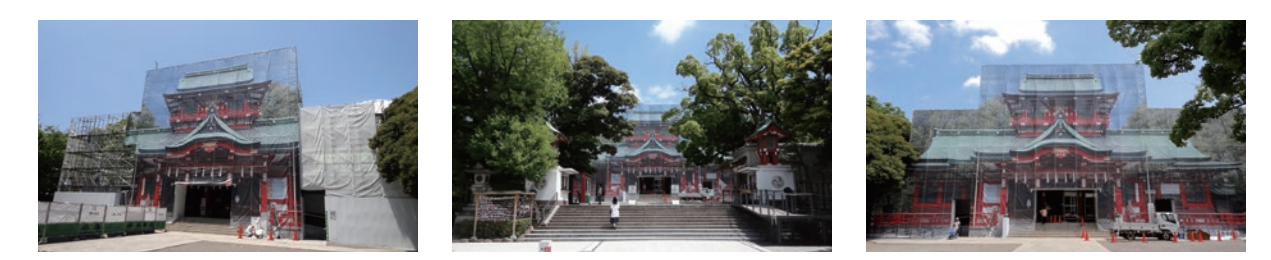


制作の流れ



※ 対象となる建築物の写真、パース画等がございましたら、事前にご提示ください。撮影を省き、ご対応出来る場合もあります。写真、パース画等が無い場合は、カメラマンが撮影を承ります。

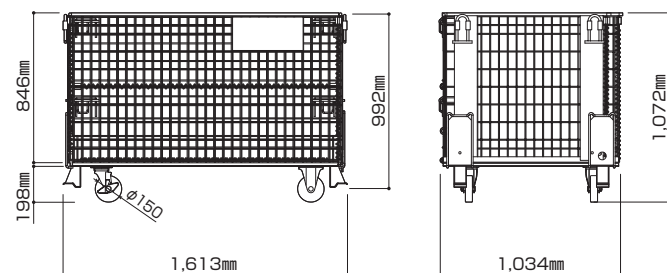
実績



吊りパレット キャスター付



製品図 (L)

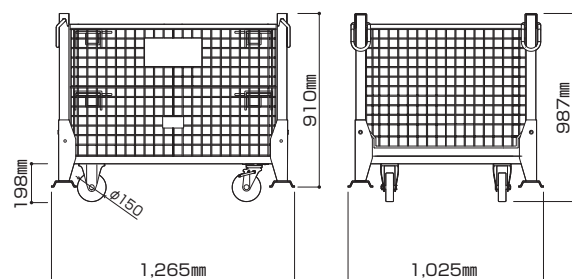


規格物性 (L)

キャスター	外寸法 (mm)			内寸法 (mm)		
	間口	奥行	全高	間口	奥行	全高
あり	1,613	1,034	1,072	1,517	987	846

網目			積載重量 (kg)	吊り重量 (kg)	段積	自重 (kg)
線径 (mm)	正面・側面ピッチ (mm)	ベースピッチ (mm)				
6	100×50	50×50	800	800	4	132

製品図 (S)

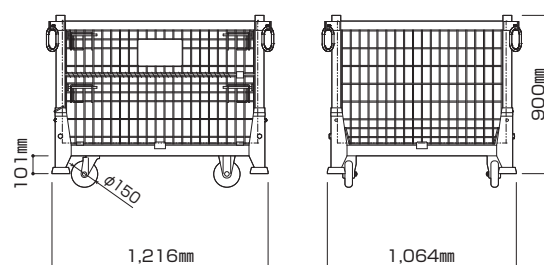


規格物性 (S)

キャスター	外寸法 (mm)			内寸法 (mm)		
	間口	奥行	全高	間口	奥行	全高
あり	1,265	1,025	987	1,130	874	703

網目			積載重量 (kg)	吊り重量 (kg)	段積	自重 (kg)
線径 (mm)	ピッチ (mm)					
6	50×50		800	800	4	105

製品図 (コンボキシー)



規格物性 (コンボキシー)

キャスター	外寸法 (mm)			内寸法 (mm)		
	間口	奥行	全高	間口	奥行	全高
あり	1,216	1,013	900	1,116	949	698

網目			積載重量 (kg)	吊り重量 (kg)	段積	自重 (kg)
線径 (mm)	正面・側面ピッチ (mm)	ベースピッチ (mm)				
6	100×50	50×50	1,000	1,000	4	108

【使用上の注意】

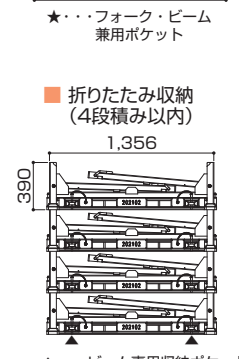
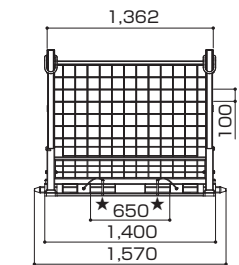
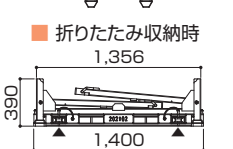
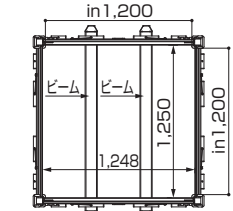
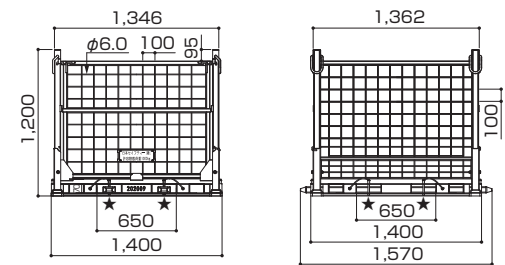
- 1) 吊上げは必ず4点吊りで行ってください。2点吊りは落下の恐れがありますので絶対にしないでください。
- 2) 吊上げの際は、十分にロックがかかっていることを確認のうえ、行ってください。
- 3) 吊上げの際は、荷物の下に人が侵入しないよう、立ち入り禁止などの処置を行ってください。
- 4) ワイヤーは吊り重量800kg以上で対応するものを使用してください。
- 5) ワイヤーは2m以上の長さの物を使用し、ワイヤーの吊り元角度は60°以下で使用してください。
- 6) 吊輪以外の場所にワイヤーやフックを掛けての吊上げはしないでください。
- 7) 扉を開けたまま (全開・半開とも) 吊上げないでください。
- 8) 吊上げの際は、荷物が偏ったまま吊上げないでください。
- 9) 使用時の段積は4段まで折り畳み時の段積は8段までとしてください。
- 10) 使用時に段積する時は必ず扉を閉じてください。

平パレット用吊り枠

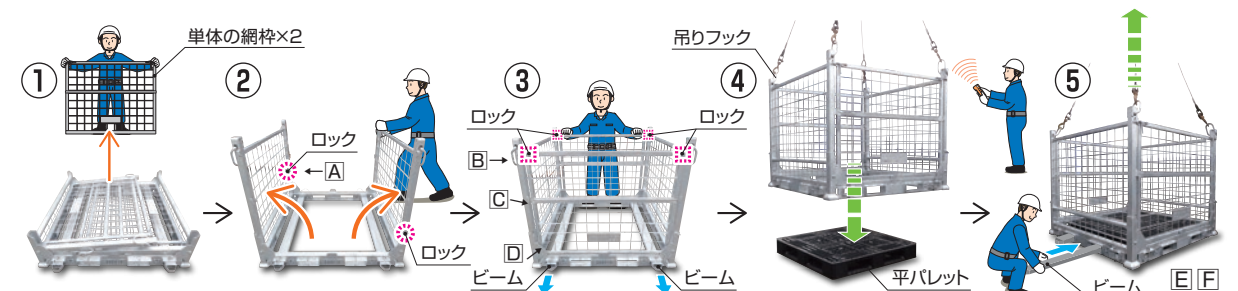
パレット吊り上げ時の荷崩れによる事故を防止します。



■ 組立て時 (段積み禁止)



設置方法

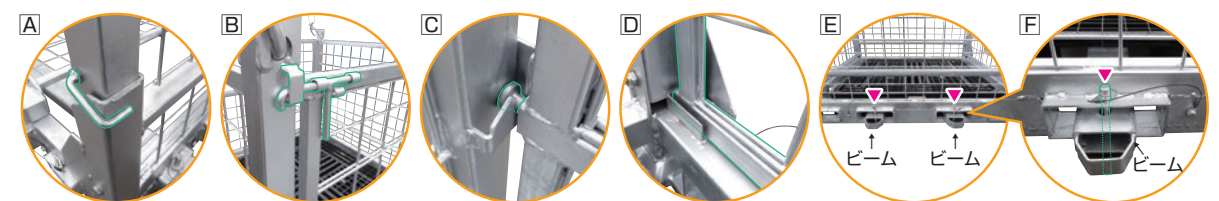


付属単体の網枠を外しながら、本体両サイドの網枠を立上げロック(※)してください。

付属網枠を両サイドに取付けて上部をロック(※)してください。両サイドの網枠を外してください。

吊りフック4点にワイヤー等で吊り上げ、平パレットにかぶせてください。吊りフックを内側の差込み口に2本差込み、ロックピン(▼)で4ヶ所必ず固定してから吊り上げてください。

■ 部分拡大



■ 規格物性

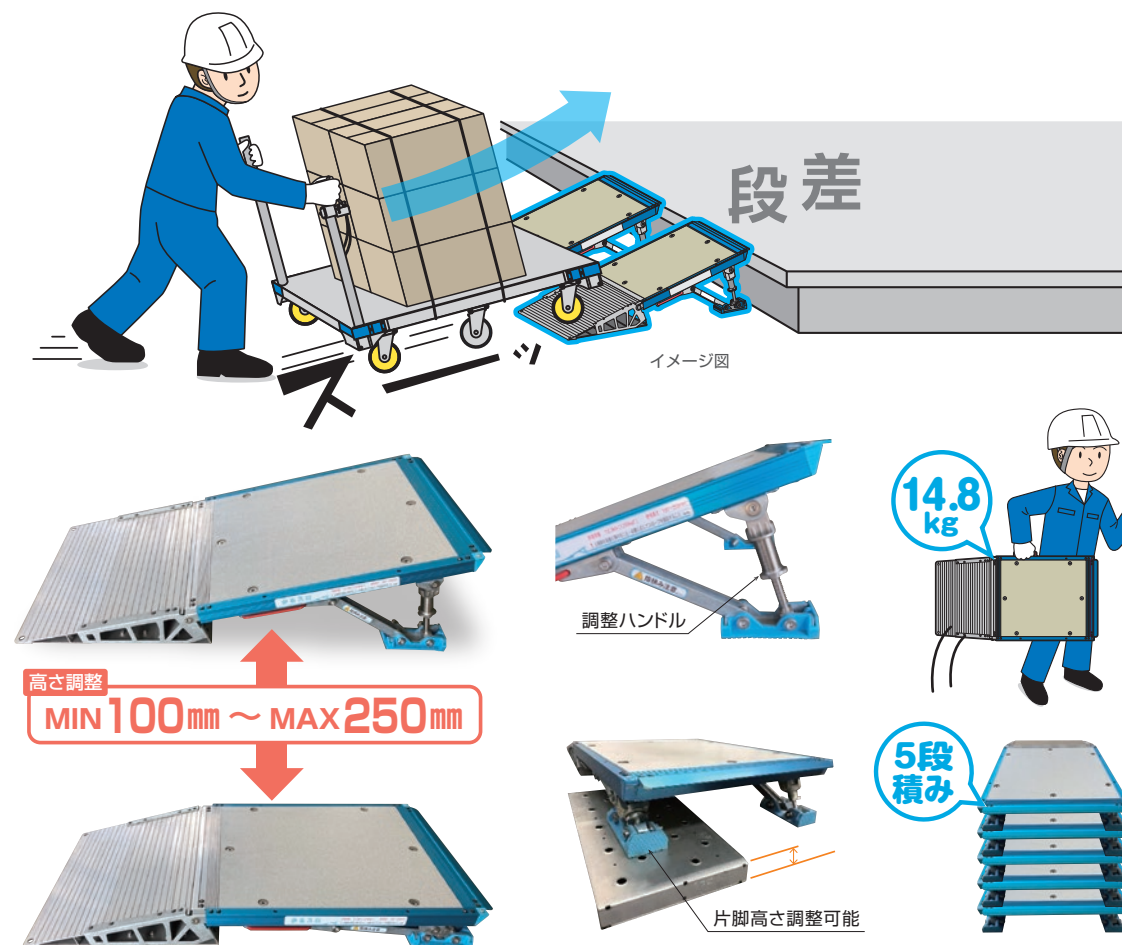
使用平パレット寸法 (mm)	外寸法 (mm)	内寸法 (mm)	自重 (kg)	最大積載荷重 (kg)	処理
1,100×1,100 (JIS規格品)	1,400×1,400×H1,200	1,200×1,200×H1,200	166	1,000	溶融亜鉛めっき

【使用上の注意】

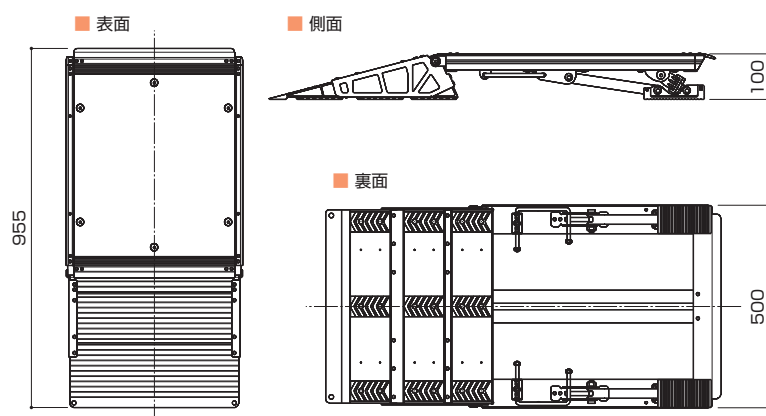
- 1) 許容吊り荷重・積荷高さを超えての使用及び偏荷重での使用はしないでください。
- 2) 変形、破損、腐食したパレットは使用しないでください。
- 3) ワイヤー等で吊るときは、必ず吊り部で4点吊りをしてください。
- 4) ワイヤー等による吊り角度は、60°以内で使用してください。
- 5) 吊り荷の下には、入らないでください。
- 6) ロックピンで網枠をロックしているか必ず確認してください。
- 7) 組立て時は、段積みしないでください。
- 8) JIS規格品のパレットを使用してください。

アルミ合金製スロープ かるスロ (最大積載質量1.25t)

調整ハンドルを回して、高さを調整できます。片脚ずつ高さ調整できるので安定しない床でも対応可能です。1台あたりの耐荷重は1.25tで、2台で2.5tの通過が可能です。(均等に重量を分散した場合) 質量は14.8kg、片手で持ち運び可能です。



寸法図



規格物性

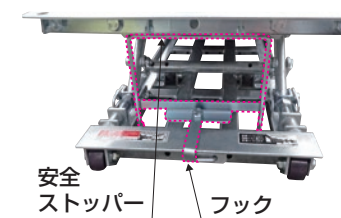
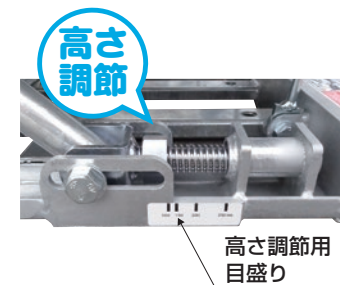
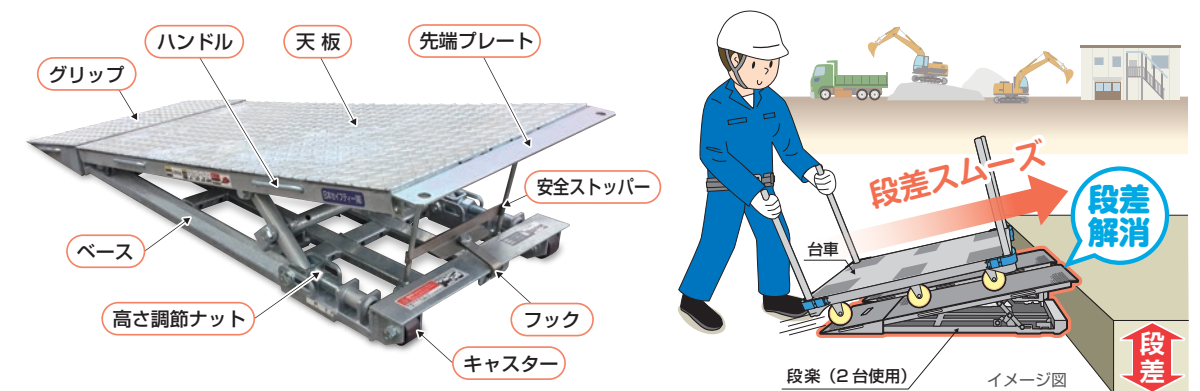
幅	500mm
長さ	955mm
高さ (調整幅)	100mm ~ 250mm
質量	14.8kg
耐荷重	1.25t

【使用上の注意】

- 用途以外での使用はしないでください。
- 必ず平らな場所に設置してください。
- 段差の上部に先端プレートが確実に乗った状態で使用してください。
- 先端プレートに曲がりや破損が生じた際は先端プレートを交換してから使用してください。
- 製品の設置、撤去、高さ調整時に手足を挟まないように注意してください。
- スロープを通る際は天板の中央を通るようにしてください。
- 駆動輪のある車両で使用する際は、製品のズレ防止のためアンカーボルトを使用してください。
- 使用前に各部の異常やガタツキがないことを確認してから使用してください。
- 定期的に点検を行い、ガタツキや緩みがないことを確認してください。
- 改造をしないでください。
- 破損する恐れがあるので、極端な集中荷重を与えないでください。
- 耐荷重を超える状態で使用しないでください。

段差解消スロープ 段楽

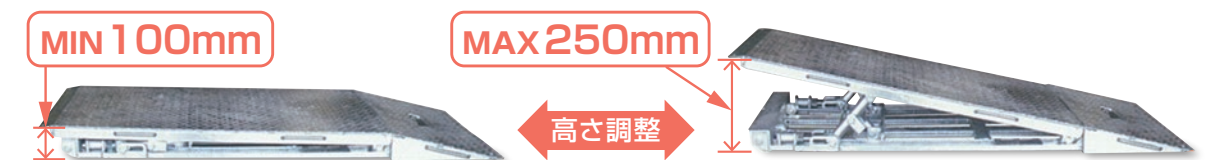
耐荷重1,000kg (1台) 段差を解消するスロープです。100~250mmの高さを無段階に自由調整できます。安全ストッパーがついているので、しっかり固定し使用ができ、安全・効率的な作業が可能です。2台使用で台車やバッテリー昇降リフトなどの段差移動をスムーズにできます。



規格物性

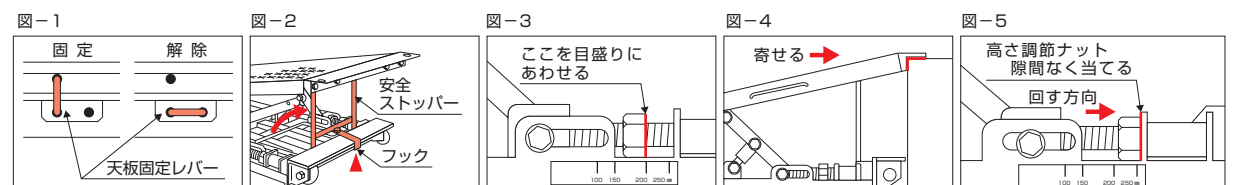
本体寸法	L1,235mm × W450mm
高さ	H100mm(MIN) ~ 250mm(MAX)
重量	53kg
耐荷重	1,000kg※1

※1.平面荷重になります。



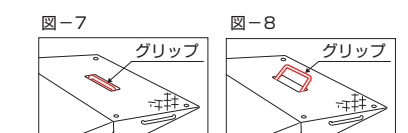
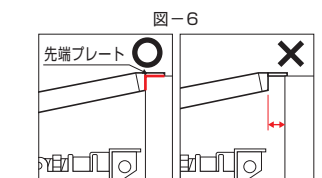
設置方法

- 段楽を平らな地面に置いてください。
- 天板固定レバーを解除してください。【図-1】
- 天板を上げて、必ず安全ストッパーを起こして手前にフックをかけてください。【図-2】
- 高さ調節ナットを段差の高さの目盛りにあわせてください。【図-3】
- ストッパーを外した時、先端プレートがおおよそ目盛りの高さになります。
- 段楽を段差に寄せてください。【図-4】
- 少し天板を持ち上げて、フックを外し必ず安全ストッパーを外して倒してください。
- 段差に先端プレートに乗せ、高さ調節ナットで高さの微調整をしてください。
- 高さ調節ナットは段差側に回して隙間なく締めてください。【図-5】



【使用上の注意】

- 必ず平らな場所に置いて使用してください。
- 設置場所が安定しない場合は、鉄板等を使用してください。
- 高さ調節をする際は、天板が落ちてこないように、フックをかけ必ず安全ストッパーを使用してください。【図-2】
- 段差の上部に、先端プレートが確実に乗った状態で使用してください。【図-6】
- 先端プレートに曲がりや破損が生じた際は、先端プレートを交換してから使用してください。
- 高さ調節ナットは2ヶ所共、必ず隙間がなくなるまで締めてから使用してください。
- 製品の設置、撤去、高さ調節時は、側面等の隙間に手や足を挟まないように注意してください。
- 使用時、グリップは必ず収納しておいてください。【図-7】
- 使用時、安全ストッパーを必ず外して倒してください。
- 上を通る際は、天板の中央を通るようにしてください。
- 駆動輪のある車両で使用する際は、製品のズレ防止のためアンカーボルトを使用してください。
- キャスト移動の際は、必ずグリップを持ってください。【図-8】
- 重量物につき、トラック荷台の積み下ろし時は、2人以上で行ってください。



バルコニー ラダー

バルコニー部仮設昇降はしこ

足場、躯体バルコニー部の相互移動を安全でスムーズに行えるので作業効率もアップします。取付け高さは6段階調整、設置も1人でできます。両サイドに手すりを取付けることで昇り降りが安全で楽になります。

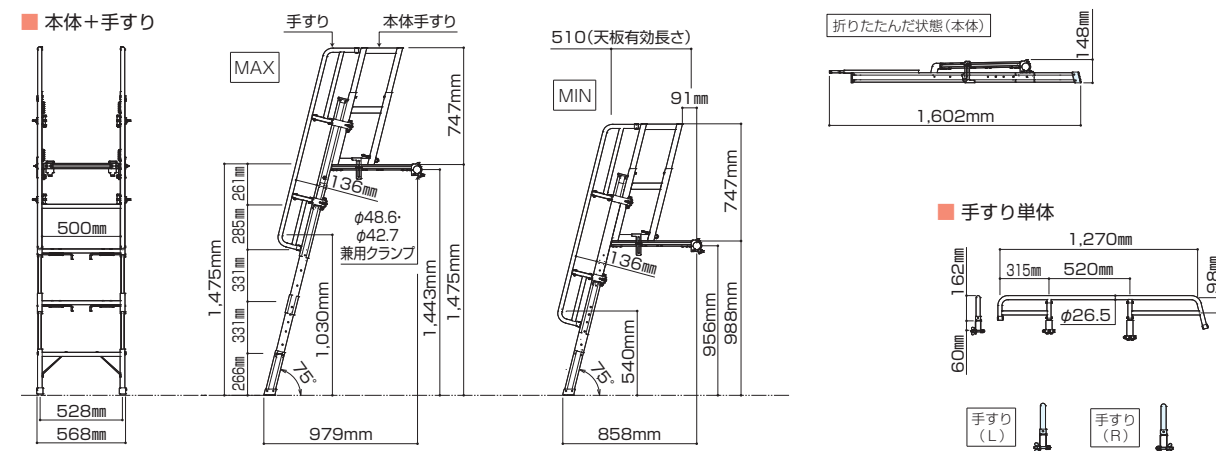
■ 設置例



取付高さ (mm)		天板 (mm)	収納寸法 (mm)			材質	質量 (kg)		許容荷重 (kg)
クランプ芯	天板高		W	D	H		本体	手すり (単体)	
1,443 ~ 956	1,475 ~ 988	500 × 510	568	148	1,602	アルミ合金	18	2	120



寸法図



【使用上の注意】

- 1) 本製品は、バルコニー部仮設昇降はしこです。目的以外の用途で使用しないでください。
- 2) 使用前に、踏板・手すりのロックが掛かっているか確認してください。
- 3) クランプが単管にしっかりと設置しているか確認して使用してください。
- 4) バルコニーラダーにねじれ、反り、曲り等の傷みがあった場合は、使用を中止してください。
- 5) 洗剤を使用する際は、中性洗剤を使用して洗浄してください。
- 6) 手すりを取付けて使用する時は、本体の手すりをMAX迄、上げてください。
- 7) 収納時は、本体手すりを畳んでください。
- 8) 伸縮部の動作不良に対し注油しないでください。
- 9) 必ず踏板が水平になるように設置してください。
- 10) 改造は絶対に止めてください。
- 11) 傾斜地では、使用しないでください。
- 12) 手すりにぶら下らないでください。

クラレスドア W600・W900

くさび式足場でも枠組足場でも取付けが可能。避難経路の確保や侵入防止対策に！ 暗証番号錠オートロック機能付仮設扉

建築現場の入退場セキュリティを高める暗証番号錠付仮設扉を提供しています。オートロック機能付なので閉扉後の施錠も不要。作業後の施錠確認も容易になります。また、万が一の際には内側から開扉して非常口にも利用できるので、現場のセキュリティを高めるとともに、御施主様の安全確保とニーズにも応えます。



※写真は600mm幅タイプ ※実際の施工とは異なる場合があります。

表側には「作業員通用口」裏側には「非常口」を表示しています。

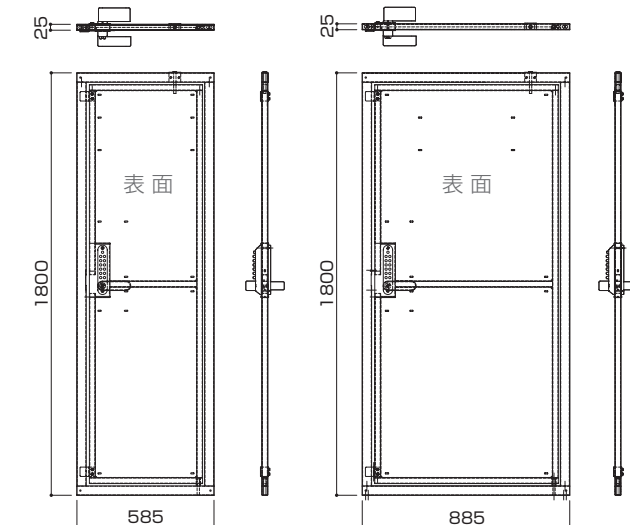
作業員通用口



寸法図

単位(mm)

■ クラレスドア (W=600) ■ クラレスドア (W=900)

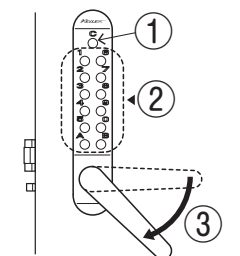


タイプ	600mm幅	900mm幅
サイズ	W585mm × H1800mm	W885mm × H1800mm
重量	20.2kg	25.4kg
取付け	養生クランプ (オプション)	

扉の開閉方法



外側から解錠

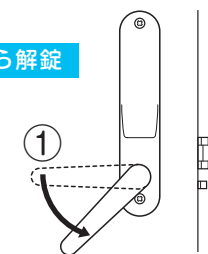


施錠 ① 扉を閉めると、自動で施錠されます

解錠 ① Cボタンを押します。誤操作の記憶番号が解除されます
② 正しい記憶番号を押します
③ レバーハンドル操作で、解錠できます



内側から解錠



施錠 ① 扉を閉めると、自動で施錠されます

解錠 ① レバーハンドル操作で、解錠できます

※クラレスドアは、侵入防止を保証するものではありません。

トラップボード （仮設工業会認定品）

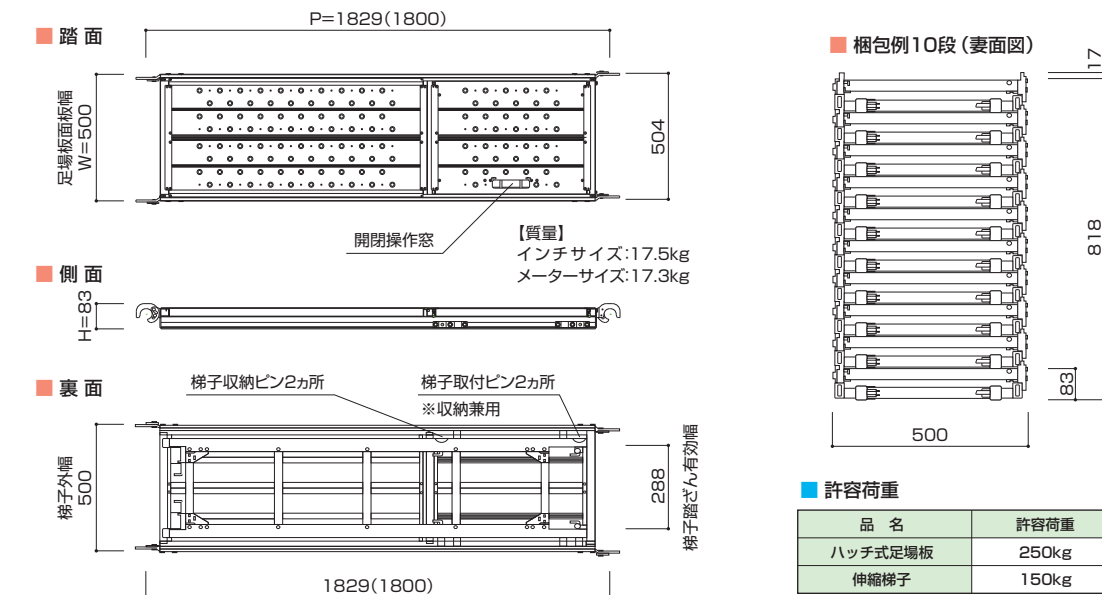
階段枠が設置出来ない600枠に最適、アルミ部分開閉ハッチ式足場板

片手でハッチのシャフトを操作するだけで、容易に開閉の解除・ロックが行え、伸縮梯子は現場の状況に合わせて、4方向のいずれにも設置することができ、最下段のジャッキベースの高さに左右されず、確実に設置します。安全性が確保された安心の上下移動が行えます。運搬・保管時など梯子は布板の裏面に収納でき、セット品でも17.5kg、設置・解体・移動作業に負担をかけません。



寸法図

※単位はmm ※（ ）内は、メートルサイズ



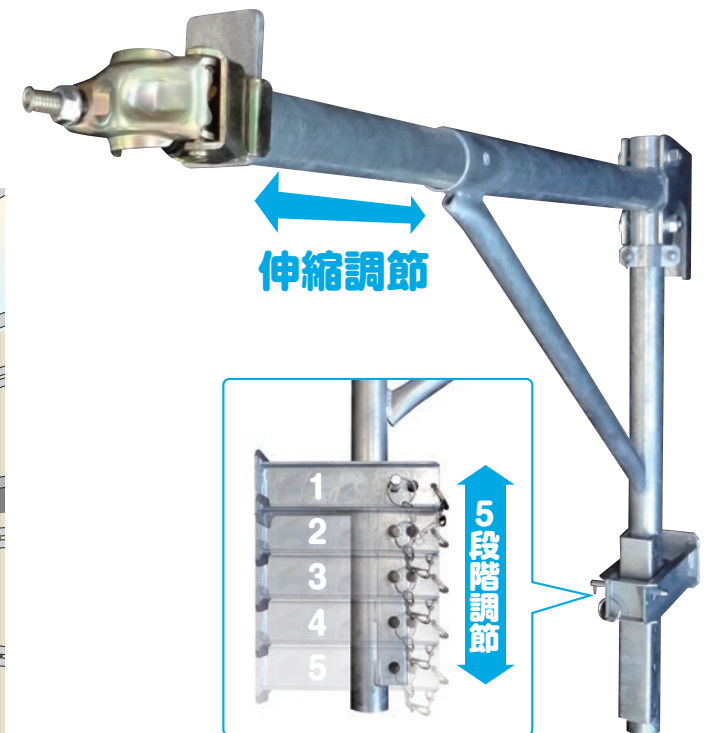
【使用上の注意】

- 足場へ取付ける際、全てのフックを確実にかけてください。
- 昇降時以外、ハッチは確実に閉め、ロックしてください。
- 許容荷重以上では使用しないで下さい。
- 梯子をハッチ式足場板へ取付ける際、梯子取付ピンを確実に梯子取付金具の穴に挿入してください。
- 梯子の脚部は下部の足場板や地面へ確実に接地させ使用してください。
- 梯子脚部の長さ調整の際、伸縮ロックピン先端を確実に突き出してください。
- 製品を取扱う際は、落としたりぶつけたりしないでください。
- 梯子を収納状態から引き出す際、梯子収納ピンを確実に解除してください。
- ハッチ部を開けている時は、倒れ止めの措置を施してください。
- ハッチ部を手掛かりにして昇降しないでください。
- ハッチ部を閉める時は、倒れ止めを解除してください。（強引に閉めないでください。）

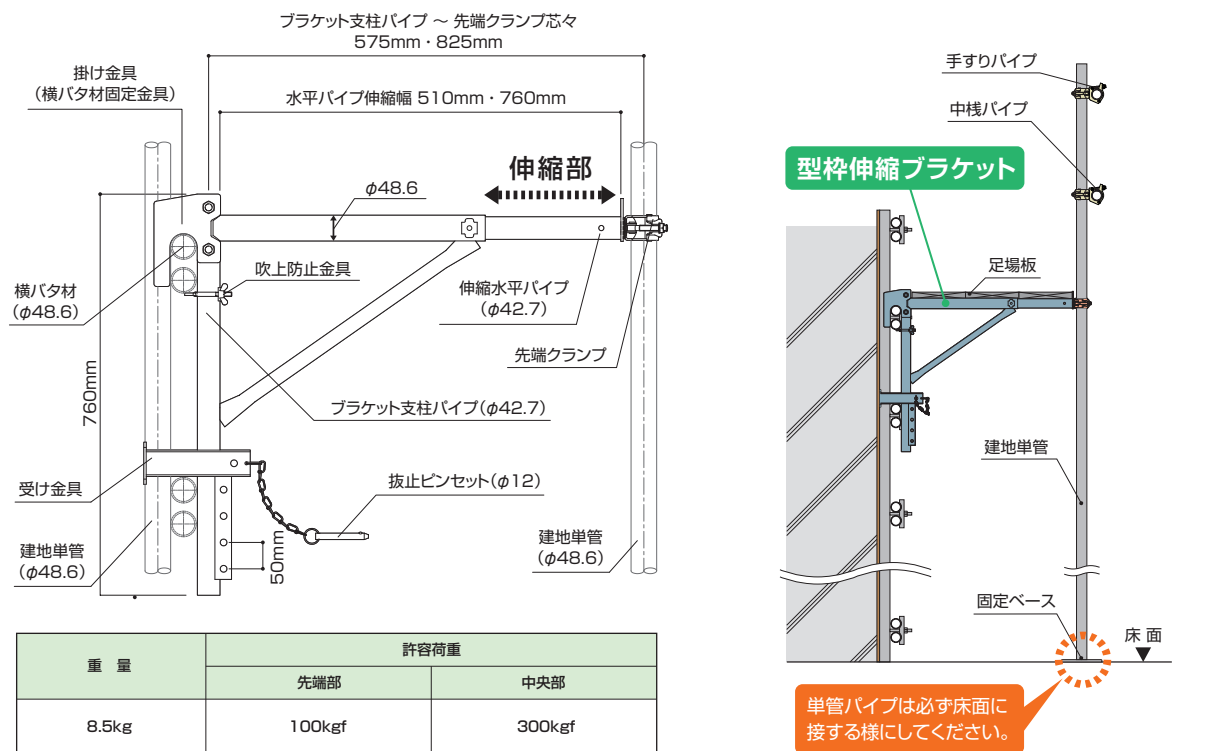
型枠伸縮ブラケット 丸型

型枠足場取付け支持具（横バタ材単管用）

コンクリート打設用の足場や通路が確保できます。水平パイプの長さを調整して足場板を2枚敷または3枚敷にできます。設置、撤去が簡単で先端クランプの建地単管に横地単管を固定して、手すりも設置できます。



設置例（断面）



【使用上の注意】

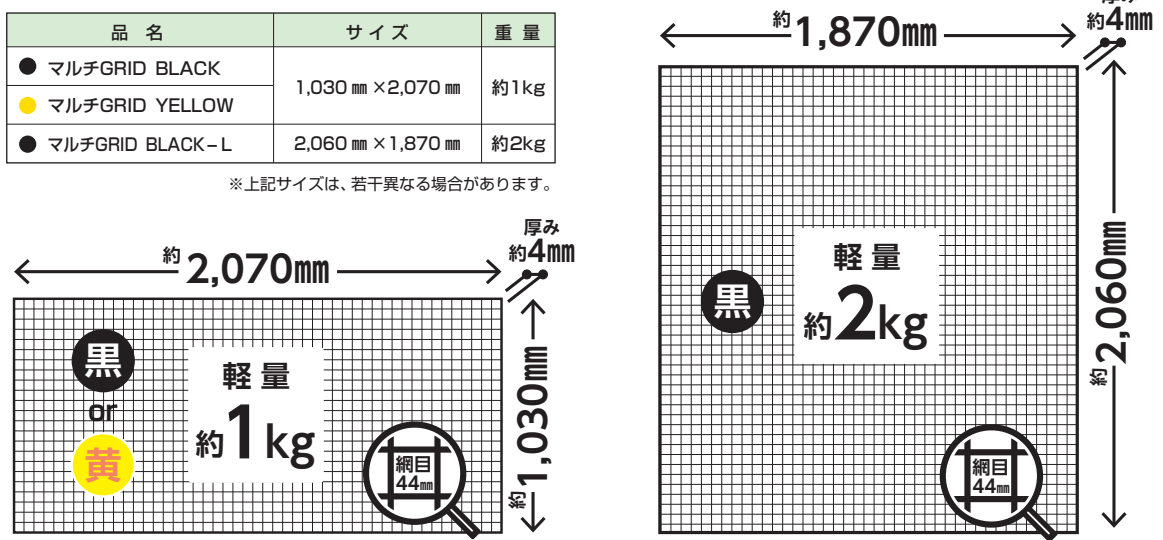
- 受け金具を横バタ材のピッチに合わせて、抜止ピンセットで固定してください。
- 必ずブラケット先端のクランプに建地単管を固定し床に接するようにセットしてください。ブラケット単体での使用はしないでください。
- 掛け金具（フック）のタイプは単管パイプ用（φ48.6）のみです。
- クランプの締付力は3.43kN・cmで行ってください。
- ボルトの締めすぎ、締め忘れにご注意ください。
- 桧木に型枠ブラケットを取り付けないでください。
- ブラケットの取り付け間隔は1.8m以内とってください。

マルチGRID

軽量1kg、厚み4mm、耐候性20年以上、曲げても折っても大丈夫、網目44mmの難燃ポリエステル養生網。

改修工事などの際、出入口周辺の足場には養生枠が使用されます。この代替としてマルチGRIDを使用することにより、現場内への侵入防止や材料置場の防犯対策、通行人への安全対策の効果を保持しながら軽量でフレキシブルなので設置作業をとて楽に行うことができます。軽くて、錆びず、難燃で約20年以上の耐候性があり再使用ができます。

寸法図



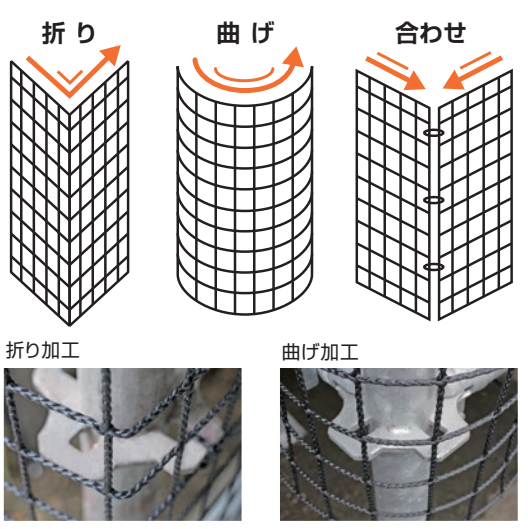
カラーバリエーション ※2,060mm×1,870mmのサイズは●BLACKのみです。

■ YELLOW部分拡大

■ 設置イメージ

■ BLACK部分拡大

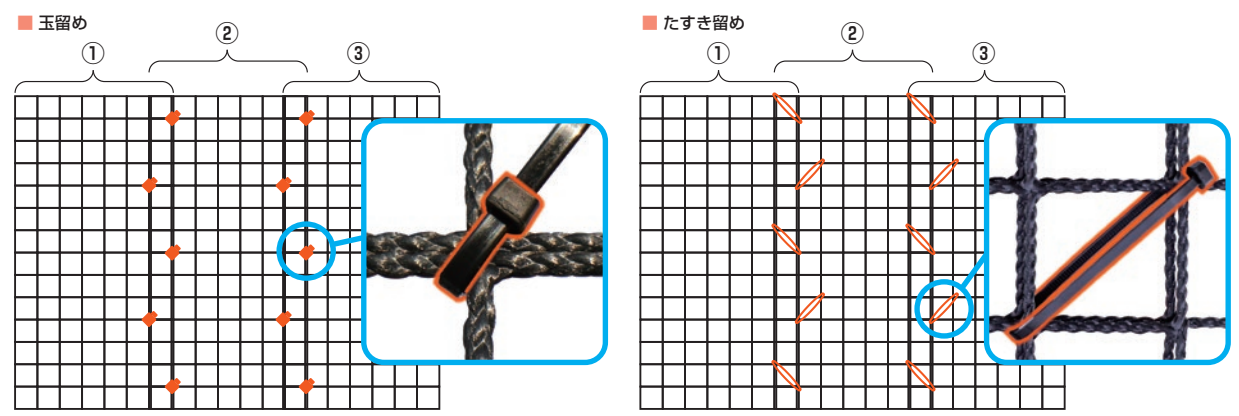
コーナー部の作り方



比較（金網とマルチGRID）

	金網	マルチ GRID
重量	重い	軽い
体積	フレームの厚みあり	厚み4mm
角度調整	できない	できる
カーブ	できない	できる
重ねてサイズ調整	段付きで重ねて可能	重ねて可能
美観	綺麗に張れない現場が多い	綺麗に張れる可能性あり
危険性（通行人の怪我）	破損した部分が危ない	ほぼ良好
耐候性	20年～30年	20年～30年
防火	燃えない	難燃性

連結方法（結束バンド使用例） 連結には「結束バンド(耐候性)」「ロープ」「被覆番線」等をご使用ください。



足場設置方法（次世代シートクランプ使用例）

■ 次世代シートクランプ

次世代足場のポケットやフランジに干渉しないでマルチGRIDを容易に取り付けできます。従来の枠組足場にも使用する事ができます。φ48.6・φ42.7兼用クランプです。

■ 設置方法

メッシュシートと同様に上下をシートクランプの爪に引っ掛け、シートクランプを緊張させます。2～3コマをラップさせて取付けると隙間なく設置できます。出隅・入隅に使用する際は、事前に折り曲げてから設置してください。

■ 足場設置方法比較

ポケットタイプ（従来のクサビ足場）

フランジタイプ

（上部）

（下部）

■ 防犯対策

【使用上の注意】

- 1) カッター等で切断しないでください。 2) 玉留めで結束した場合、結束部を工具等で外す際、網を傷つける場合があるのでご注意ください。

ルーフキャッチャー 特許第6856949号 NETIS登録番号 KT-210066-A

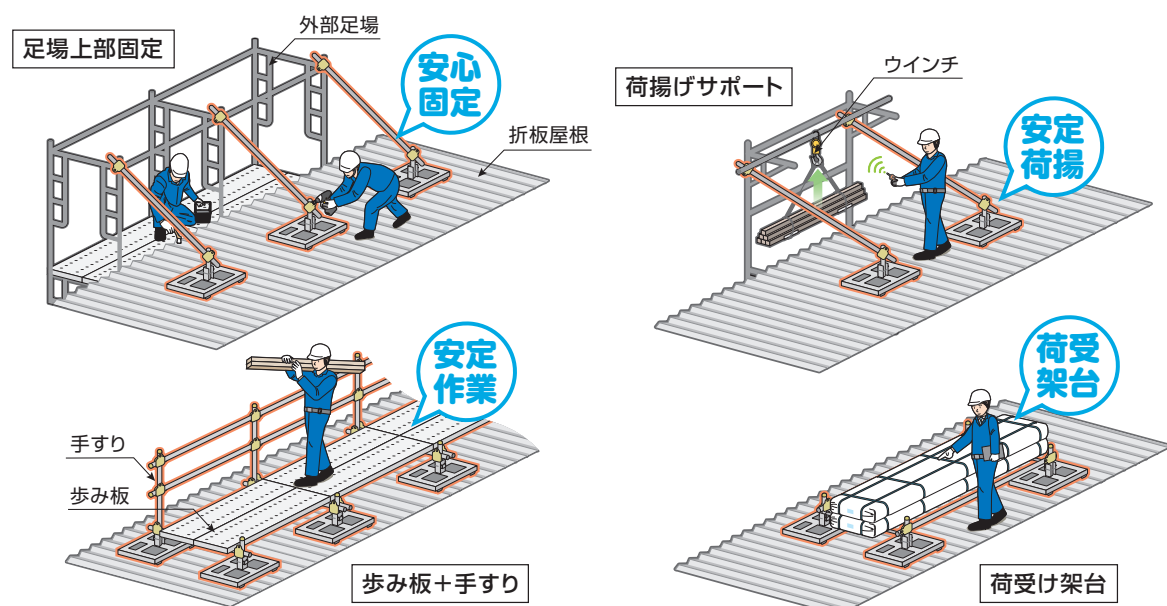
歩み板、手すり、足場固定繋ぎ、荷揚げ、荷受け架台、屋根上看板の補強等、さまざまな用途でご使用いただけ、折板屋根の作業を安全に支持します。



ハゼ金具で挟み込んで固定し、屋根面への負荷が少なく、取付けは、インパクトレンチで簡単に設置できます。丸ハゼ、角ハゼ、重ね式、様々なタイプの折板屋根に取付けることができます。正面用と側面用の2タイプあります。屋根方向、用途に合わせてご利用いただけます。



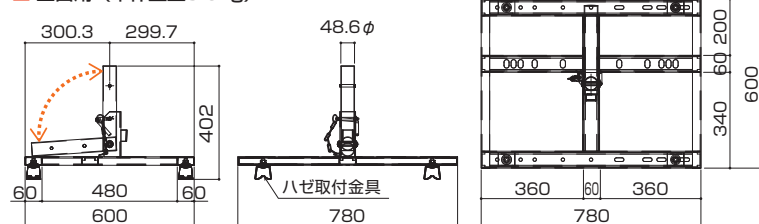
活用方法



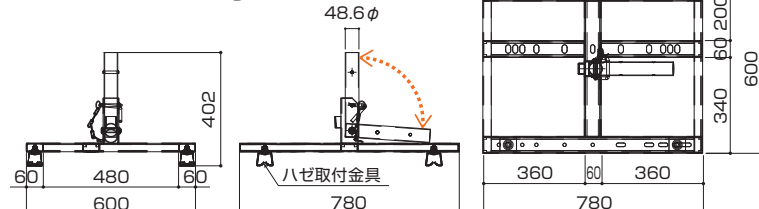
寸法図

(単位mm)

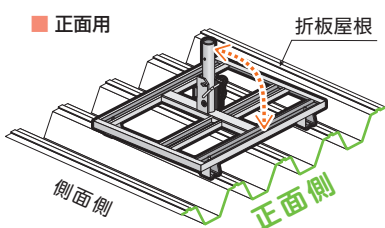
■ 正面用 (本体重量9.6kg)



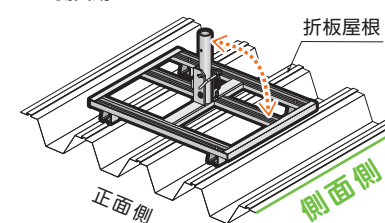
■ 側面用 (本体重量9.6kg)



使用方向



■ 側面用



ハゼ取付金具は、必ず返却してください。

使用条件

【設置可能ハゼ式折板屋根形状 及び 屋根材メーカー】

対応メーカー：稲垣商事(株)、片山鉄建(株)、(株)協和、三晃金属(株)、(株)セキノ興産、月星商事(株)、日鉄住金鋼板(株)、ビルトマテリアル(株)、(株)淀川製鋼所
対応サイズ：@250、@300、@333、@364、@418、@455、@500、@550、@600、@650 (mm)
※丸ハゼ、角ハゼともに設置可能です。

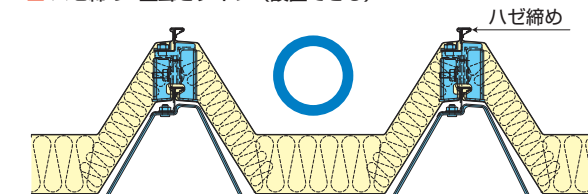
■ ハゼ締めタイプ (設置できる)



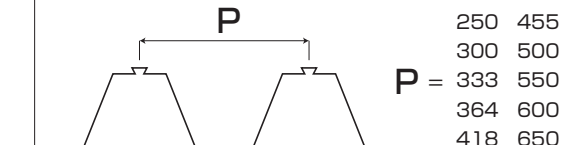
設置できるハゼ締めの種類



■ ハゼ締め2重葺きタイプ (設置できる)



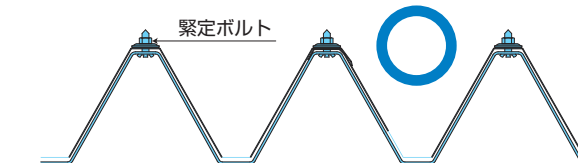
使用できるハゼ間ピッチ



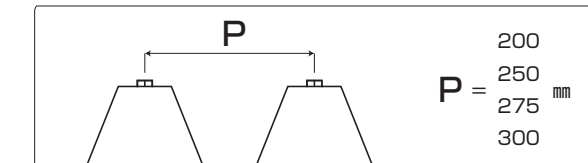
【設置可能かさね式折板 (ボルトタイプ) 屋根形状 及び 屋根材メーカー】

対応メーカー：稲垣商事(株)、片山鉄建(株)、(株)協和、三晃金属(株)、(株)セキノ興産、月星商事(株)、日鉄住金鋼板(株)、ビルトマテリアル(株)、(株)淀川製鋼所
対応サイズ：@200、@250、@275、@300 (mm)

■ 重ねタイプ (設置できる)

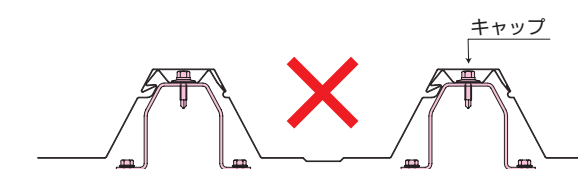


使用できるボルトピッチ

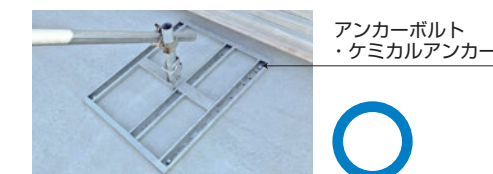


1. なお、かさね式折板 (ボルトタイプ) に設置する場合は、設置済みタイトフレームのナットセットからパッキン材のみを剣先に残しルーフキャッチャーを設置後、ナットを締付けてください。
2. ルーフキャッチャー撤去後使用したパッキン材は新しい物に変更することを推奨します。
3. ルーフキャッチャー本体の設置面 (取付面) の強度については、当社責任の範囲外となります。強度確認の上ご使用ください。
※参考値：ハゼ取付金具1か所当たり引張許容荷重：4.99kN
4. キズやへこみ、錆による腐食等、強度の劣化が見込まれる金属折板屋根及びコンクリート面には設置する事は出来ません。
5. ハゼ式折板屋根に設置する場合、ハゼ締めが未完了のときは使用しないでください。
6. 薬品や蒸気等が絶えず噴出している場所に関しては、腐食や劣化状況の確認をして適切な対応 (交換等) を行ってください。

■ 嵌合 (かんごう) タイプ (設置できない)



■ コンクリートスラブ (設置できる)



【使用上の注意】

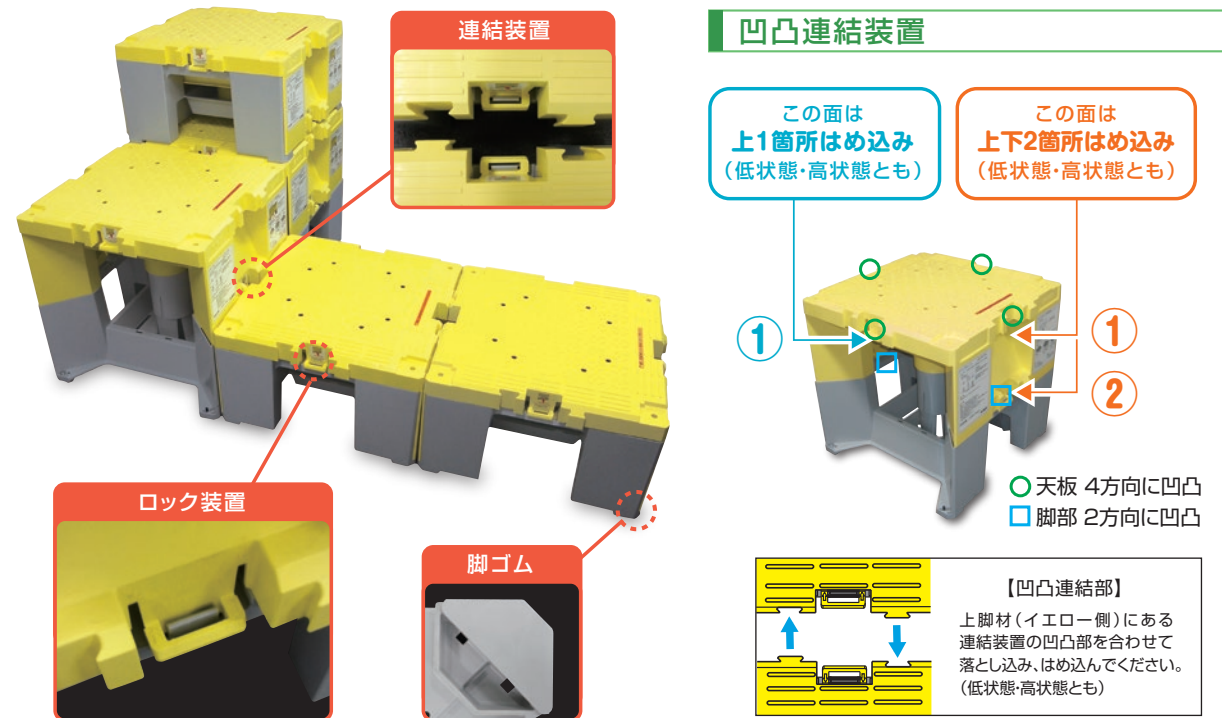
- 1) 身体が下記の状態のときは転倒や怪我の恐れがあるため使用しないでください。
・疲れているとき・薬やお酒を飲んだとき・病氣や妊娠しているとき・身体に異常を感じるとき
- 2) ご使用前には必ず「ご使用前の点検」を行い、異常のないことを確認してください。
- 3) 持ち運ぶときは、周囲にご注意ください。本製品がぶつかることによる傷害事故・物損事故を起こす恐れがあります。
- 4) 本製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。
- 5) 本製品を固定するとき、確実にナットを締めつけてください。固定が不十分だと固定箇所から外れて傷害事故・物損事故を起こす恐れがあります。
- 6) 本製品を固定する前に上に物を置かないでください。本製品ごと滑り落ちて重大な事故を起こす恐れがあります。
- 7) パイプを回動するとき、可動部に手をはさまないように注意してください。怪我をする恐れがあります。
- 8) 乱暴に扱わないでください。変形や破損により重大な事故につながる恐れがあります。
- 9) 本製品を加工や改造しないでください。重大な事故をおこす恐れがあります。
- 10) 作業時は必ず安全帯を使用してください。

(関連商品：折板屋根用親網支柱がP7～8にございます。)

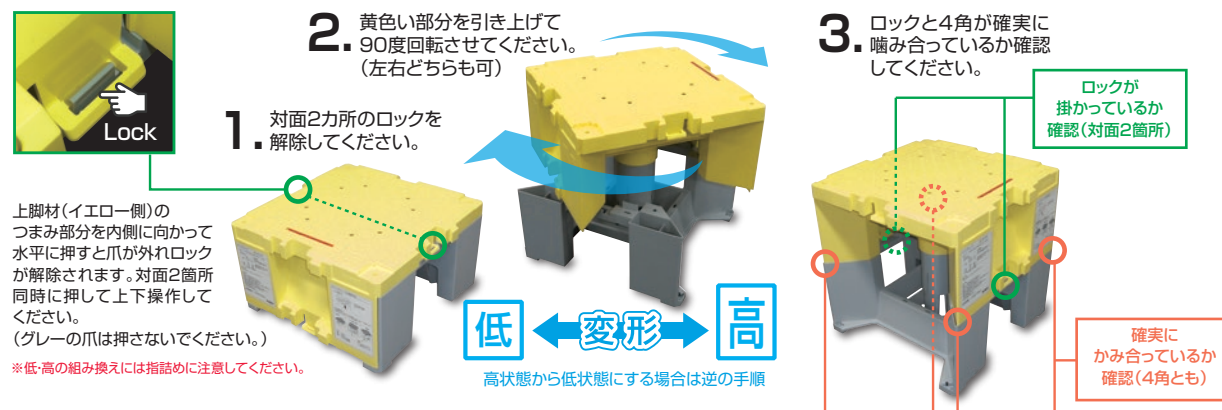
ステップキューブ

軽作業をサポートする樹脂製作業台。

ポリプロピレン製の為、軽量で持ち運び簡単です。用途に応じて、積み重ねや連結して使用が出来、高所で手元の届きにくい軽作業をサポートします。連結部を凹凸型にすることでしっかり連結し、下部にゴム製パッドを装着しズレを防止するので、安心して作業を行います。絶縁体のため、電気・通信工事にも最適です。



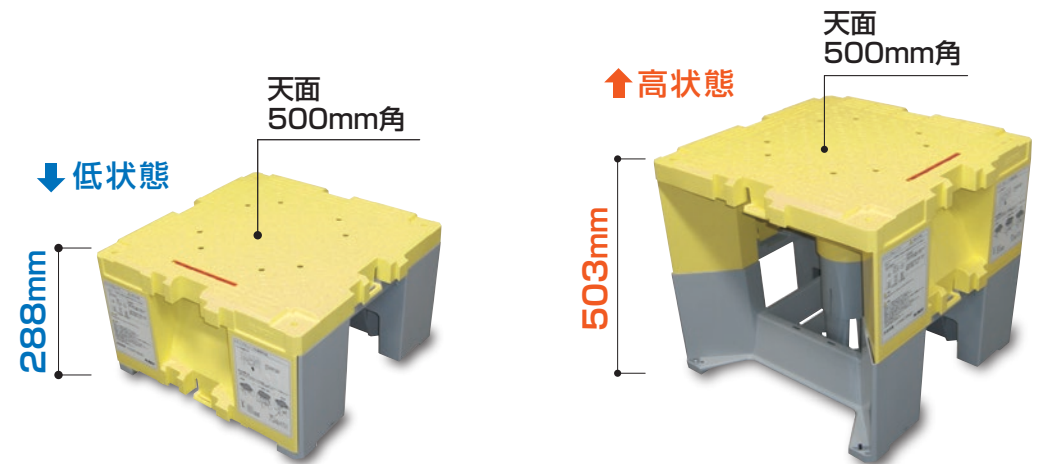
高低組み換え



規格物性

型 式	寸法 (mm)						質量 (kg)			許容荷重 (kN)
	低状態			高状態			総 量	上部パーツ	下部パーツ	
	W	D	H	W	D	H				
SC50	500	500	288	500	500	503	6.6	4.4	1.7	1.47

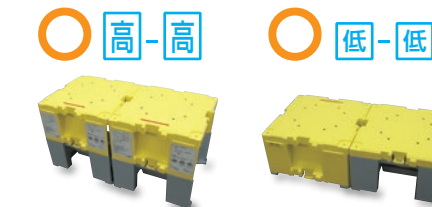
電気特性	体積抵抗値（単位：Ω・cm）			表面抵抗値（単位：Ω／□）		
	n1	n2	n3	n1	n2	n3
	1.1×10 ¹⁶	1.2×10 ¹⁶	3.2×10 ¹⁶	1.2×10 ¹⁶	2.1×10 ¹⁶	3.9×10 ¹⁵
	※一般的に表面抵抗値が10の13乗以上の領域を絶縁と呼んでいます。					
測定条件						
温度：23℃						
湿度：50%						



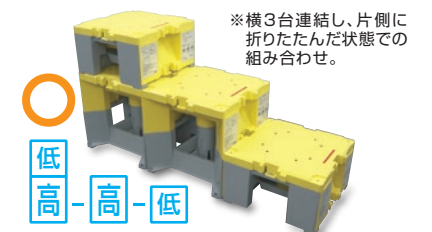
連結システム

使用可能 ○

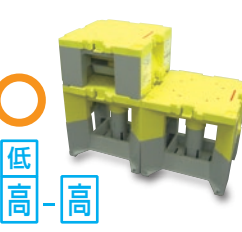
【本体同士の横連結】



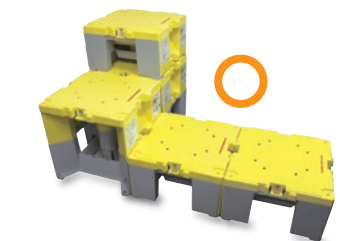
【下段横連結の片側に上段を配置】



【上下連結、横連結】



【上下連結】【横連結(高-高)(高-低)(低-低)】



※ 上下連結する際は、以下の点に従ってください。

- ・積み重ねは2段までにしてください。
- ・安全に昇降するために、下段は2台以上並べて階段状にしてください。
- ・上段は、必ず低状態としてください。

※ ステップキューブを1段で水平連結する場合は、高・低いずれの組み合わせでも可能です。

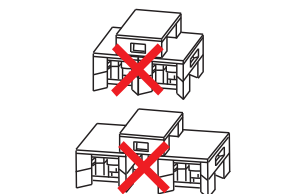
使用不可 ×

【上下連結、上下・横連結】
(階段状にしない場合の使用不可)

【上下(高-低)(高-高)・3段以上の上下連結】



【下段横連結の中央に上段を配置】



【足場板架け渡し】

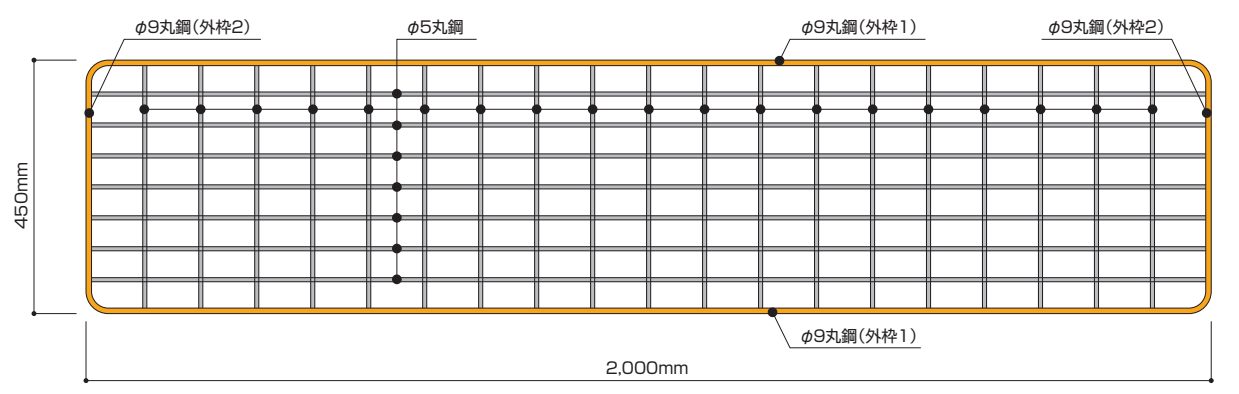


【使用上の注意】

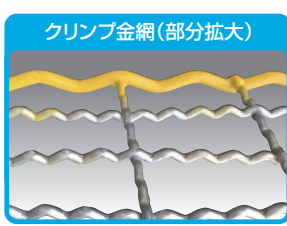
- 1) 1台に2名以上は乗らないでください。
- 2) 作業時に天板から身体を乗り出さないでください。
- 3) 脚材を延長したり、脚材の下に物を挟まないでください。
- 4) 重量物等の架台に使用しないでください。
- 5) 加工・改造等を行わないでください。
- 6) 釘やビス等を打たないでください。
- 7) 昇降時に天板以外の部分に足を掛けないでください。
- 8) 火気を扱う場所や高温になる機器の近くでは使用しないでください。
- 9) 作業台に工具等の物を乗せたまま移動しないでください。
- 10) 作業台に足場板等を架け渡して使用しないでください。
- 11) 作業台を投げたり落としたり乱暴に扱わないでください。
- 12) 使用する前に各部を点検し、異常の無いことを確認してください。
- 13) 各部に曲り、損傷、割れ、劣化等の異常のあるものは使用しないでください。
- 14) 使用中にきしみや異音が出た場合は使用を中止してください。
- 15) 高音多湿、直接日光のあたる場所を避けて保管してください。
- 16) 火気を扱う場所に保管しないでください。
- 17) コンクリート・モルタル等が付着した場合は水洗いし、充分に乾かしてから使用してください。
- 18) 積重ねて保管する場合は荷崩れしないように注意してください。
- 19) 保管時は上に貴重品を載せないでください。

SGメッシュウォーク

スラブ配筋上の足場敷き網



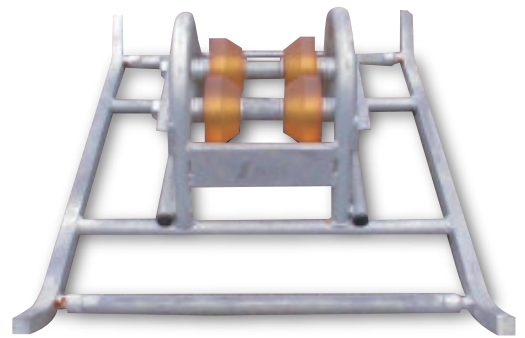
寸法 (mm)			重量 (kg)
全体	網目寸法	線径	
450 × 2,000	55 × 100	φ9 × φ5	6.52



- 【使用上の注意】
- 1) コンクリート付着時は、水洗いにて取り除いてください。
 - 2) コンクリート及び油の付着にはご注意ください。別途クレン費用が発生する可能性があります。
 - 3) 配筋上の通路以外の用途で使用しないでください。
 - 4) 開口部では絶対に使用しないでください。
 - 5) コンクリート打設時の埋殺しに注意してください。

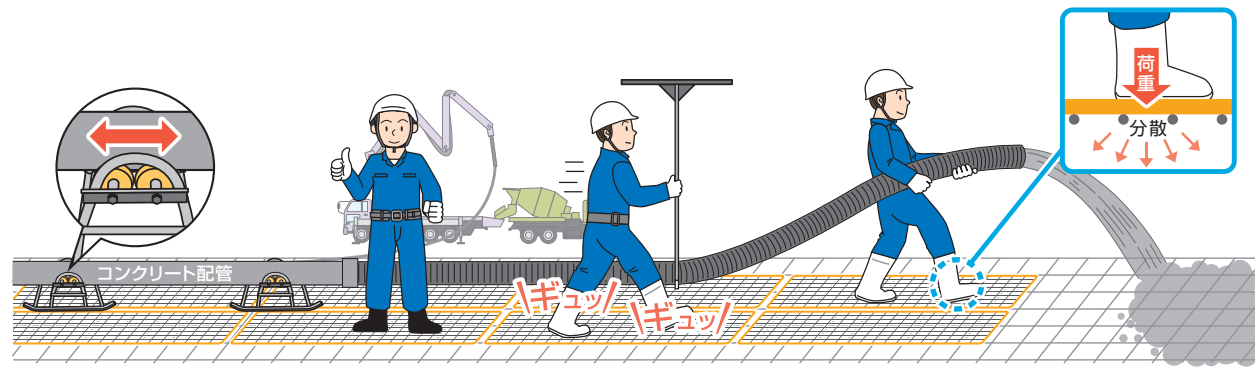
スパイダー (Wローラー式)

鉄筋乱れを軽減するコンクリート配管架台



寸法 (mm)	質量 (kg)
W470 × D610 × H240 (ローラー高)	約7.5

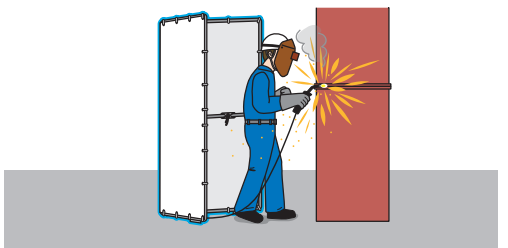
- 【使用上の注意】
- 1) 取り付けは3m以内をお願いします。
 - 2) 配管の強い圧力については、配筋を乱す恐れがあります。
 - 3) コンクリート付着時は、水洗いにて取り除いてください。
 - 4) コンクリート及び油の付着にはご注意ください。
 - 5) 別途クレン費用が発生する可能性があります。



風防ユニット

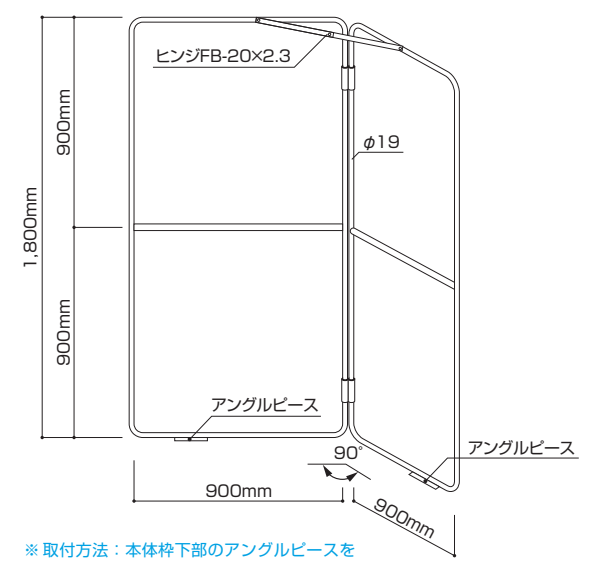
風養生・溶接火花の飛散防止用パーテーション

溶接作業に支障のある風をさえぎることができます。また溶接火花の飛散防止も向上し、作業場の安全性を高めます。折り畳み出来るので、搬出入しやすく作業していない場合でもコンパクトに収納場所をとりません。



寸法図

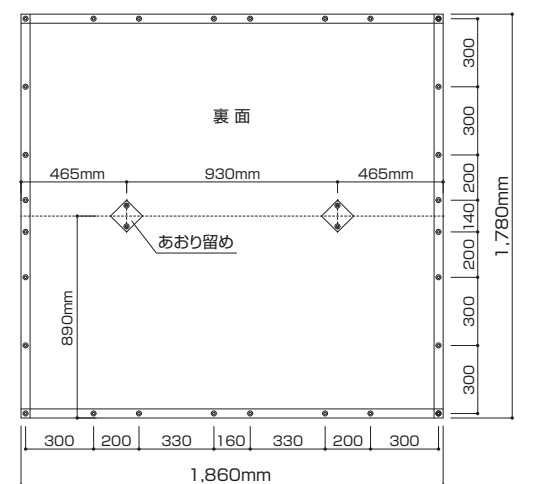
■ 風防ユニット 本体 **レンタル品・販売品**



※ 取付方法：本体枠下部のアングルピースを梁、デッキプレート等にスポット溶接し、固定してください。

重量 (本体・1台)	10kg
------------	------

■ 風防ユニット用 養生 (防災2類) シート **販売品**



※ 養生シート、結束ひもは、販売品です。

重量 (養生シート・1枚)	約1.3kg
---------------	--------

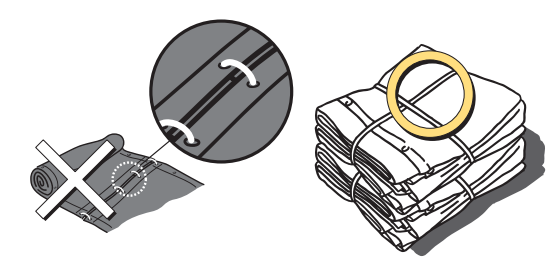
- 【使用上の注意】
- 1) 強風等により転倒又は落下しないように控え等の措置をしてください。
 - 2) 寄りかからないでください。
 - 3) シートと枠はヒモで確実に緊結してください。
 - 4) 改造は、しないでください。
 - 5) ヒンジは伸ばして使用してください。
 - 6) 平坦な場所でご使用ください。
 - 7) 設置時、収納時に手を挟まないよう、ご注意ください。

資材返却時のお願い

この度は弊社資材をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
ご返却の際、荷姿はできるだけ納入時と同様に、種類ごとに分けてお返しいただきますようお願い致します。

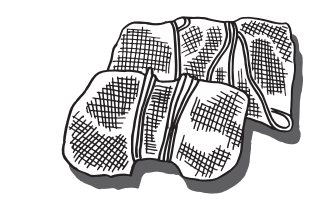
シート類

- ・ヒモや番線は取り除き、一枚ずつ折りたたんでください。
- ・ロール状でのご返却はご遠慮ください。必ず1枚1枚ばらしてください。



ネット類

- ・ヒモや番線は取り除き、一枚ずつ折りたたんでください。
- ・ゴミなどの異物は取り除いてください。
- ・金物、親網などと混入しないよう仕分けしてください。
- ・付着したコンクリートなどはできるだけ落としてください。



親網類

- ・親網と緊張器はばらしてください。

